

徳島県感染症発生動向調査事業年報

Annual Report of The Tokushima Infectious Diseases Surveillance

【2024（令和6）年版】

徳島県立保健製薬環境センター
(徳島県感染症情報センター)

はじめに

感染症発生動向調査事業は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症法」）」に基づき、感染症発生状況を把握・分析し、情報提供することにより、感染症の発生及びまん延防止を図ることを目的に実施しています。

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月に定点把握の5類感染症に位置づけられましたが夏と冬に流行が見られており、当センターでは、次世代シーケンサーによるゲノム解析を実施し、県内での変異株の発生状況を継続的に監視しています。

また、本年4月7日より、急性呼吸器感染症（ARI）が新たに定点把握の5類感染症へと位置づけられ、定点サーベイランスが開始されました。このサーベイランスは、流行しやすい呼吸器感染症の流行を把握するとともに、未知の呼吸器感染症が発生、増加し始めた場合に迅速に探知できるよう開始されました。新型コロナウイルス感染症での経験をもとに、次なるパンデミックへの対策が進められています。

感染症発生動向調査事業は、有効な感染症対策を的確に講じるための重要なエビデンスとなります。そのため、事業の実施主体である保健製薬環境センターの役割と責任は、ますます重要になると考えております。

今後も、感染症対策の一層の強化と充実を図るため、国内外からの様々な情報の収集に取り組んでまいります。また、疫学情報部門と検査部門が連携し、状況の変化に応じて迅速かつ的確な調査と情報提供を行うことで、効果的な感染症対策に寄与できるよう努めてまいります。

このたび、2024（令和6）年における徳島県の感染症情報を整理し、年報を作成しましたので、感染症対策の資料として御活用いただければ幸いです。

なお、この事業の実施にあたり、御尽力をいただきました県内各医師会、定点医療機関、保健所等の関係者の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、今後も本事業の推進になお一層の御支援と御協力をよろしくお願ひいたします。

令和7年11月

徳島県立保健製薬環境センター
(徳島県感染症情報センター)

所長 相原 文枝

目 次

1. 感染症発生動向調査について	1
2. 全数把握対象感染症患者届出状況	
(1) 全数把握対象感染症の過去5年間の届出状況	5
(2) 各疾病の届出状況	
① 結核	6
② 腸管出血性大腸菌感染症	7
③ A型肝炎	8
④ 日本紅斑熱	9
⑤ レジオネラ症	9
⑥ アメーバ赤痢	10
⑦ ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	10
⑧ カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	11
⑨ 急性脳炎（ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	11
⑩ クロイツフェルト・ヤコブ病	12
⑪ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12
⑫ 後天性免疫不全症候群	12
⑬ 侵襲性インフルエンザ菌感染症	13
⑭ 侵襲性肺炎球菌感染症	13
⑮ 梅毒	14
⑯ 播種性クリプトコックス症	15
⑰ 百日咳	16
3. 定点把握対象感染症患者報告状況（週報）	
(1) 過去5年間の報告状況	17
(2) 各疾病の報告状況	
① インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）	18
② 新型コロナウイルス感染症	19
③ RSウイルス感染症	20
④ 咽頭結膜熱	21

⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22
⑥ 感染性胃腸炎	23
⑦ 水痘	24
⑧ 手足口病	25
⑨ 伝染性紅斑	26
⑩ 突発性発しん	27
⑪ ヘルパンギーナ	28
⑫ 流行性耳下腺炎	29
⑬ 急性出血性結膜炎	30
⑭ 流行性角結膜炎	30
⑮ 細菌性齶膜炎（齶膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く）	31
⑯ 無菌性齶膜炎	31
⑰ マycoplasma肺炎	32
⑱ クラミジア肺炎（オウム病を除く）	32
⑲ 感染性胃腸炎（ロタウイルス）	33

4. 定点把握対象感染症患者報告状況（月報）

(1) 過去5年間の報告状況	34
(2) 性感染症患者報告状況	
① 性器クラミジア感染症	34
② 性器ヘルペスウイルス感染症	35
③ 尖圭コンジローマ	35
④ 淋菌感染症	36
(3) 薬剤耐性菌感染症患者報告状況	
① メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	36
② ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	37
③ 薬剤耐性緑膿菌感染症	37

5. 病原体検査検出結果

(1) ウイルス検査結果	38
(2) 細菌検査結果	42

6. 資料 45

（1）全数把握対象疾患の患者数

付表1：令和6年 全数把握対象疾患の月別患者数

付表2：令和6年 全数把握対象疾患の保健所別患者数

(2) 定点把握対象疾患（週報）の患者数

付表3：令和6年 定点把握対象疾患（週）の週別患者報告数

付表4：令和6年 定点把握対象疾患（週）の週別定点あたり患者報告数

付表5：令和6年 定点把握対象疾患（調）の保健所別患者報告数

付表6：令和6年 定点把握対象疾患（週）の保健所別定点あたり患者報告数

付表7：令和6年 定点把握対象疾患（週）の年齢階級別報告数

(3) 定点把握対象疾患(月報)の患者数

付表8：令和6年 定点把握対象疾患（月）の月別患者報告数

付表9：令和6年 定点把握対象疾患（月）の年齢階級・性別報告数

(4) 警報・注意報発生システムについて

(参考資料) 徳島県感染症発生動向調査事業要綱

1. 感染症発生動向調査について

(1) 概略

感染症発生動向調査事業は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号。以下「感染症法」という。）」により、事前対応型感染症対策の一つとして位置づけられています。患者発生状況や病原体検索から流行を早期に把握し、適切な対応をとることによって社会的影響の大きい感染症の蔓延を未然に防止することを目的とし実施されています。

徳島県では、保健製薬環境センター内に徳島県感染症情報センターを設置し、「徳島県感染症発生動向調査事業実施要綱」に基づき関係医療機関等の協力を得て当事業を実施しています。

(2) 調査対象疾患について

感染症法により指定されている全数把握対象疾患及び五類定点把握対象疾患を調査対象疾患として実施しています。また、厚生労働省で定める疑似症も対象にしています（別表）。

(3) 定点医療機関（指定届出・提出機関）

患者定点となる医療機関数は、小児科定点が23、内科定点が14、眼科定点が4、性感染症（STD）を対象とする定点が6、基幹定点が7設定されており、このうち12医療機関が病原体定点を兼ねています。なお、小児科定点はインフルエンザ／新型コロナウイルス感染症定点としての機能も果たしています。

保健所別定点医療機関数 (令和6年12月31日現在)

		患者定点					疑似症 定点	計
		小児科	内科	眼科	性感染症	基幹		
（管轄保健所）	徳島	13	7	2	4	2	5	33
	阿南	2	2	1	1	1	—	7
	美波	1	1	1	—	1	1	5
	吉野川	3	2	—	1	1	—	7
	美馬	2	1	—	—	1	—	4
	三好	2	1	—	—	1	1	5
計		23	14	4	6	7	7	61

(4) 運営方法（図1）

患者情報の収集：一類から五類の全数把握対象感染症、新型インフルエンザ等感染症では、診断した医師が保健所に届出を行うことにより、また、五類の定点把握対象感染症、疑似症では、定点医療機関を受診した患者数を把握することにより流行状況を調査しています。

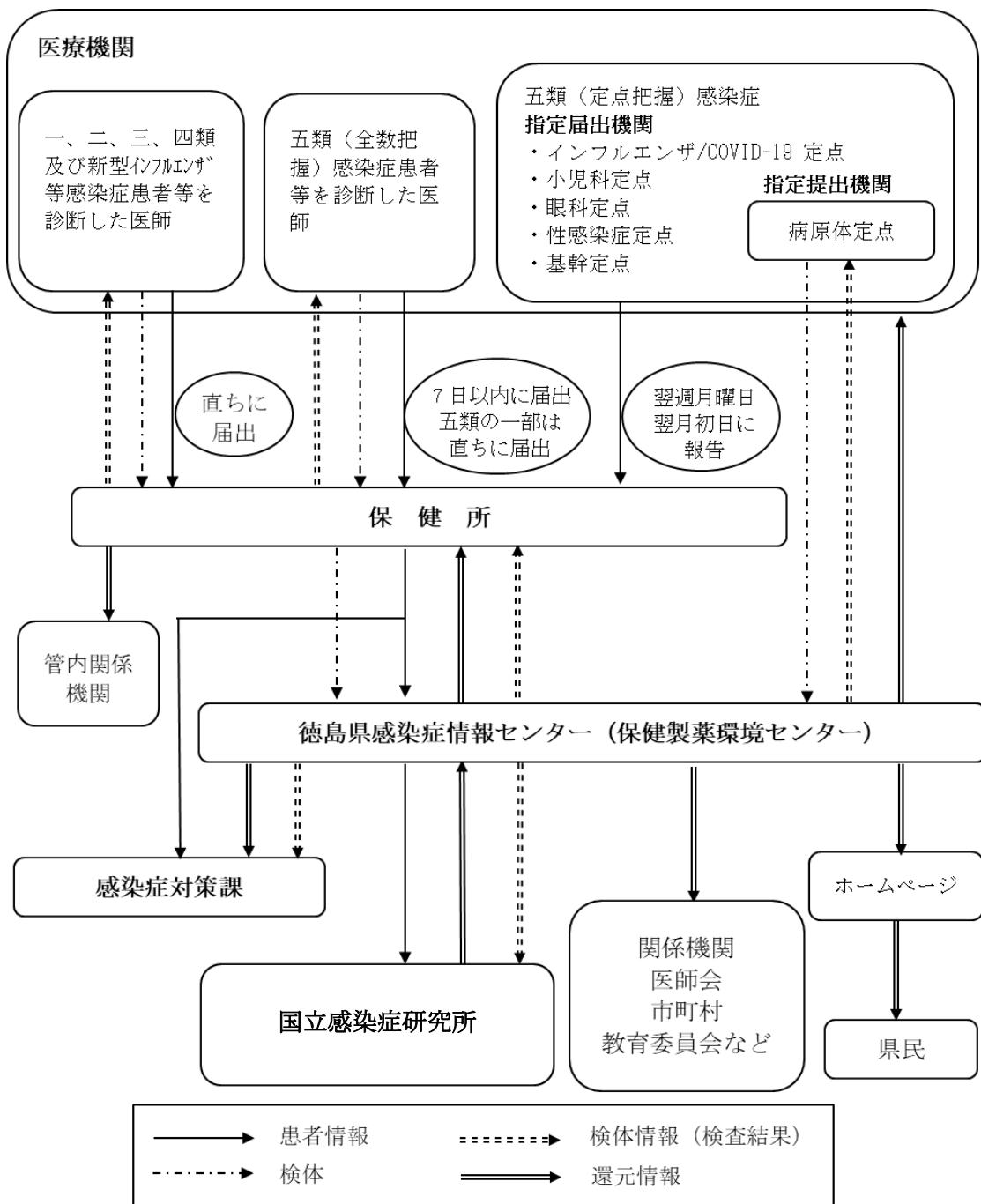
小児科定点、インフルエンザ／新型コロナウイルス感染症定点、眼科定点及び基幹定点からは週単位で、性感染症定点からは月単位で報告されています。ただし基幹定点から報告される一部の疾患については月単位となっています。

医療機関からの保健所への報告は原則として、感染症サーベイランスシステムへの入力により行われ

(令和5年4月1日より、医師が届出を行う場合には、本システムによる報告が努力義務化（厚生労働省令で定める感染症指定医療機関は義務化）)、感染症情報センターは、保健所からの情報を確認し、国へ報告します。

解析及び情報発信： 徳島県感染症情報センターでは、定点及び各医療機関から報告された情報を週報（月単位の場合は月報）とし、県内の医療機関・市町村・教育委員会等の関係機関に情報を提供しています。また、これらの情報はホームページ上で公開し、広く情報還元を図っています。

図1 徳島県感染症発生動向調査事業 フローチャート



別表 感染症の分類

(令和5年9月25日施行)

類型	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似患者	無症状 病原体 保有者	届出 種別	時期
一類 感染 症	1 エボラ出血熱	○	○	○	全数	直ちに
	2 クリミア・コンゴ出血熱					
	3 痢そう					
	4 南米出血熱					
	5 ペスト					
	6 マールブルグ病					
	7 ラッサ熱					
二類 感染 症	8 急性灰白髄炎	○	—	○	全数	直ちに
	9 結核	○	○	○		
	10 ジフテリア	○	—	○		
	11 重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	○	○	○		
	12 中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	○	○	○		
	13 鳥インフルエンザ (H5N1)	○	○	○		
	14 鳥インフルエンザ (H7N9)	○	○	○		
三類 感染 症	15 コレラ	○	—	○	全数	直ちに
	16 細菌性赤痢	○	—	○		
	17 腸管出血性大腸菌感染症	○	—	○		
	18 腸チフス	○	—	○		
	19 パラチフス	○	—	○		
	20 E型肝炎	○	—	○		
	21 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	○	—	○		
全数 把握 感染症	22 A型肝炎	○	—	○	全数	直ちに
	23 エキノコックス症	○	—	○		
	24 エムポックス	○	—	○		
	25 黄熱	○	—	○		
	26 オウム病	○	—	○		
	27 オムスク出血熱	○	—	○		
	28 回帰熱	○	—	○		
四類 感染 症	29 キャサヌル森林病	○	—	○	全数	直ちに
	30 Q熱	○	—	○		
	31 狂犬病	○	—	○		
	32 コクシジオイデス症	○	—	○		
	33 ジカウイルス感染症	○	—	○		
	34 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	○	—	○		
	35 腎症候性出血熱	○	—	○		
全数 把握 感染症	36 西部ウマ脳炎	○	—	○	全数	直ちに
	37 ダニ媒介脳炎	○	—	○		
	38 炭疽	○	—	○		
	39 チクングニア熱	○	—	○		
	40 つつが虫病	○	—	○		
	41 デング熱	○	—	○		
	42 東部ウマ脳炎	○	—	○		
全数 把握 感染症	43 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。)	○	—	○	全数	直ちに
	44 ニパウイルス感染症	○	—	○		
	45 日本紅斑熱	○	—	○		
	46 日本脳炎	○	—	○		
	47 ハンタウイルス肺症候群	○	—	○		
	48 Bウイルス病	○	—	○		
	49 鼻疽	○	—	○		
全数 把握 感染症	50 ブルセラ症	○	—	○	全数	直ちに
	51 ベネズエラウマ脳炎	○	—	○		
	52 ヘンドラウイルス感染症	○	—	○		
	53 発しんチフス	○	—	○		
	54 ボツリヌス症	○	—	○		
	55 マラリア	○	—	○		
	56 野兎病	○	—	○		
全数 把握 感染症	57 ライム病	○	—	○	全数	直ちに
	58 リッサウイルス感染症	○	—	○		
	59 リフトバレー熱	○	—	○		
	60 類鼻疽	○	—	○		

類型		疾患名	届出対象者			届出方法	
			患者	疑似患者	無症状 病原体 保有者	届出 種別	時期
全数把握感染症	感四類症	61 レジオネラ症	○	—	○	全数	直ちに
		62 レプトスピラ症	○	—	○		
		63 ロッキー山紅斑熱	○	—	○		
	五類感染症	64 アメーバ赤痢	○	—	—	全数	7日以内
		65 ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	○	—	—		
		66 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	○	—	—		
		67 急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	○	—	—		
		68 急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトパレー熱を除く。)	○	—	—		
		69 クリプトスボリジウム症	○	—	—		
		70 クロイツフェルト・ヤコブ病	○	—	—		
		71 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○	—	—		
		72 後天性免疫不全症候群	○	—	○		
		73 ジアルジア症	○	—	—		
		74 侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	—	—		
		75 侵襲性髄膜炎菌感染症	○	—	—		
		76 侵襲性肺炎球菌感染症	○	—	—		
		77 水痘 (入院例に限る。)	○	—	—		
		78 先天性風しん症候群	○	—	—		
		79 梅毒	○	—	○		
		80 播種性クリプトコックス症	○	—	—		
		81 破傷風	○	—	—		
		82 パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	—	—		
		83 パンコマイシン耐性腸球菌感染症	○	—	—		
		84 百日咳	○	—	—		
		85 風しん	○	—	—		
		86 麻しん	○	—	—		
		87 薬剤耐性アシネットバクター感染症	○	—	—		7日以内
定点把握感染症（五類感染症）	小児科	88 RSウイルス感染症	○	—	—	週単位	週単位
		89 咽頭結膜熱	○	—	—		
		91 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	—	—		
		92 感染性胃腸炎	○	—	—		
		97 水痘	○	—	—		
		101 手足口病	○	—	—		
		102 伝染性紅斑	○	—	—		
		103 突発性発しん	○	—	—		
		105 ヘルパンギーナ	○	—	—		
		111 流行性耳下腺炎	○	—	—		
	新型インフルエンザ 感コロナウイルス 症ウニイザル／	90 インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	○	—	—		
		96 新型コロナウイルス感染症 (病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。)	○	—	—		
	眼科	93 急性出血性結膜炎	○	—	—	月単位	月単位
		110 流行性角結膜炎	○	—	—		
		98 性器クラミジア感染症	○	—	—		
		99 性器ヘルペスウイルス感染症	○	—	—		
	性感染症	100 尖圭コンジローマ	○	—	—	週単位	週単位
		112 淋菌感染症	○	—	—		
		92 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	○	—	—		
基幹	基幹	94 クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	○	—	—	月単位	月単位
		95 細菌性髄膜炎 (インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)	○	—	—		
		104 ペニシリリン耐性肺炎球菌感染症	○	—	—		
		106 マイコプラズマ肺炎	○	—	—		
		107 無菌性髄膜炎	○	—	—		
		108 メチシリリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	—	—		
		109 薬剤耐性綠膿菌感染症	○	—	—		
		法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症	117	発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。	全数	直ちに	

2. 全数把握対象感染症患者届出状況

(1) 全数把握対象感染症の過去5年間の届出状況

疾患名	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
二類 結核	123	131	95	80	117
三類 腸管出血性大腸菌感染症	17	19	19	11	19
四類	A型肝炎	1	0	1	0
	重症熱性血小板減少症候群	0	3	1	4
	つつが虫病	3	0	2	2
	日本紅斑熱	7	10	13	7
	ライム病	0	0	0	1
	レジオネラ症	21	23	17	14
五類	アメーバ赤痢	1	2	2	1
	ウイルス性肝炎 (E型、A型を除く)	1	0	1	2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	7	13	11	1
	急性脳炎	0	1	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	3	0	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	0	2	5
	後天性免疫不全症候群	3	4	4	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	3	2	1
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	6	5	2
	水痘 (入院例)	3	4	1	0
	梅毒	23	21	67	78
	播種性クリプトコックス症	2	4	2	0
	破傷風	1	4	1	2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	0	0	0
	百日咳 ¹⁾	3	43	67	78
△	新型コロナウイルス感染症 ²⁾	199	3,092	130,116	34,779

1) 平成30年1月1日から定点把握対象疾患（五類感染症）から全数把握対象疾患感染症へ変更された。

2) 令和2年2月1日から指定感染症に追加指定、令和3年2月13日から新型インフルエンザ等感染症に変更、令和5年5月8日から定点把握対象疾患感染症（五類感染症）へ指定された。

(2) 各疾病の届出状況

《一類感染症》

一類感染症の届出はなかった。

《二類感染症》

① 結核

年間届出数は 117 件で、前年（80 件）から増加した。

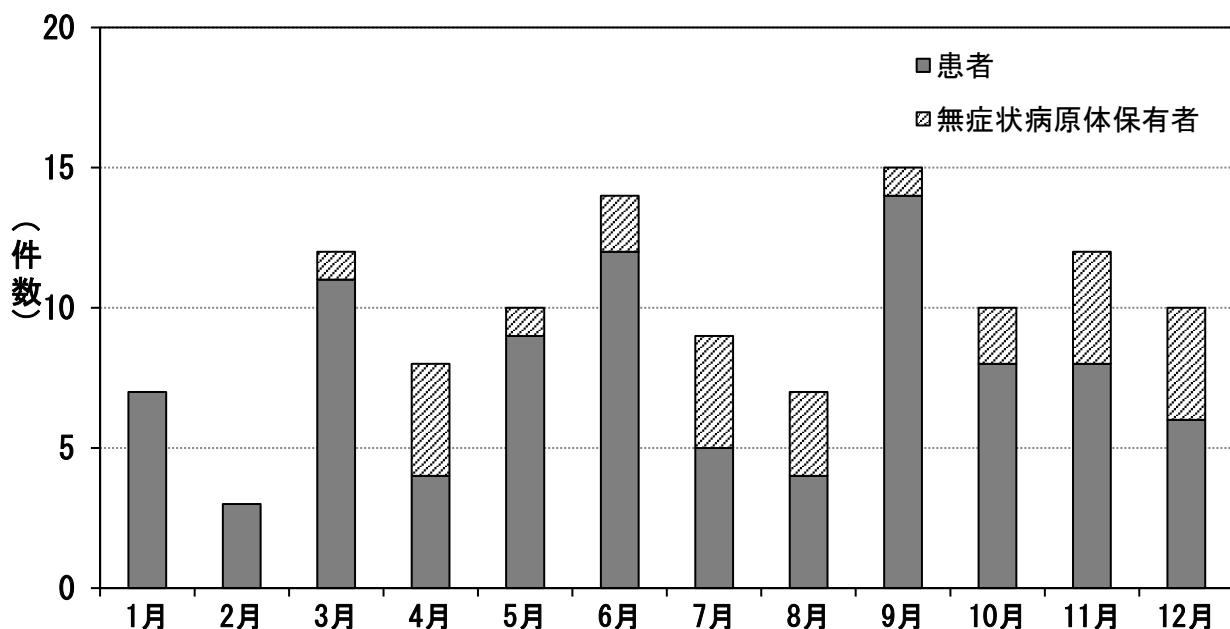
診断の類型では、「患者」が 91 件（内訳：肺結核 58 件、その他の結核 26 件、肺結核及びその他の結核 7 件）、「無症状病原体保有者」は 26 件であった。

年齢別にみると、70 歳代（25 件）、80 歳代（26 件）、90 歳以上（26 件）と、70 歳以上の届出が合計 77 件となり、全体の約 66% を占めた。20 歳代は昨年（2 件）から 12 件に増加しているが、このうち 8 件は国外（インドネシア、ネパール、ベトナム、西スマトラ）での感染が推定された。国内感染は 3 件、不明が 1 件であった。

性別では、男性 55 件、女性 62 件と女性が多かった。

職業別では、医療・介護などの施設関係者や会社員等、集団感染に繋がる環境で従事する者も見られたことから、感染拡大防止のため施設関係者等に対し、感染予防啓発や施設内感染対策の徹底が不可欠と考えられた。

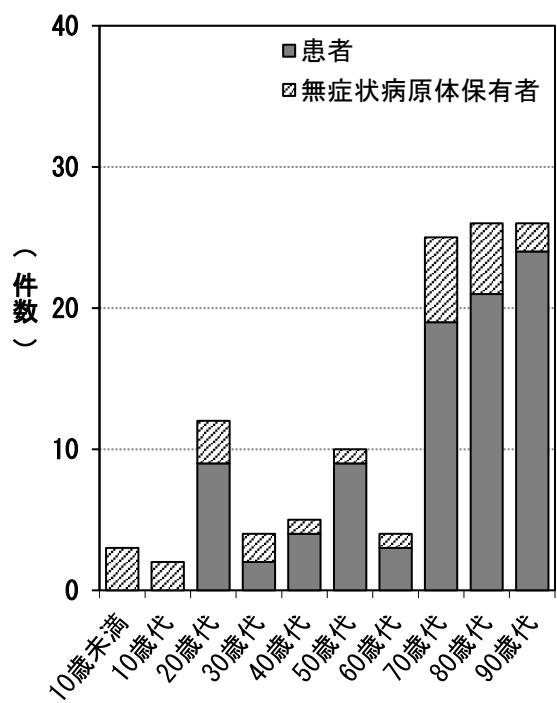
【結核の月別届出数】



【年齢・性別構成】

	男	女	計
10歳未満	1	2	3
10歳代	0	2	2
20歳代	7	5	12
30歳代	1	3	4
40歳代	0	5	5
50歳代	7	3	10
60歳代	0	4	4
70歳代	14	11	25
80歳代	14	12	26
90歳以上	11	15	26
計	55	62	117

【年齢・症状別届出数】



《三類感染症》

② 腸管出血性大腸菌感染症

年間届出数は19件で、前年（11件）から増加した。月別の届出数推移では、7月から9月にかけて14件と全体の約74%を占めた。

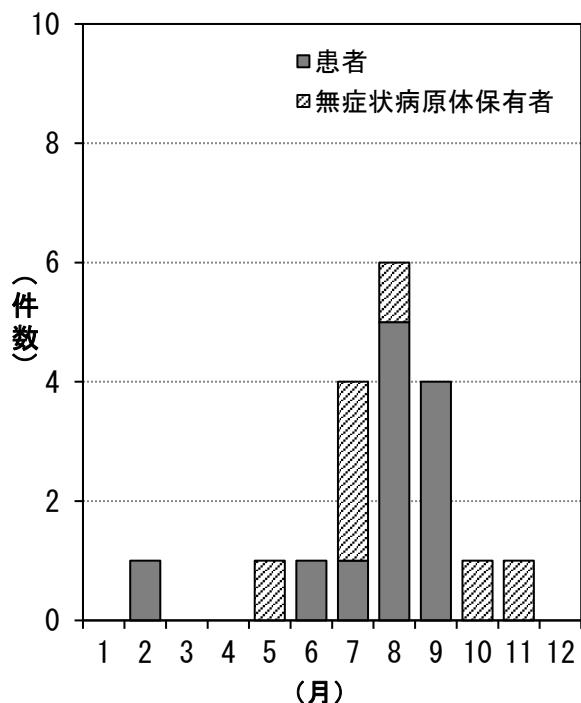
年齢別では、10歳未満から70歳代まで幅広い年齢層で届出があり、性別では、男性6件、女性13件であった。診断類型では「患者」が12件、「無症状病原体保有者」が7件と、「患者」が多く、症状は腹痛、水様性下痢、血便、発熱など複数にわたっていた。血清型別は、最も多いO157が11件、O111が5件、O103が2件、O121が1件であった。

推定感染経路は、経口感染9件、接触感染1件、経口感染又は接触感染2件、不明7件で、推定感染地域は、国内14件、不明5件であった。

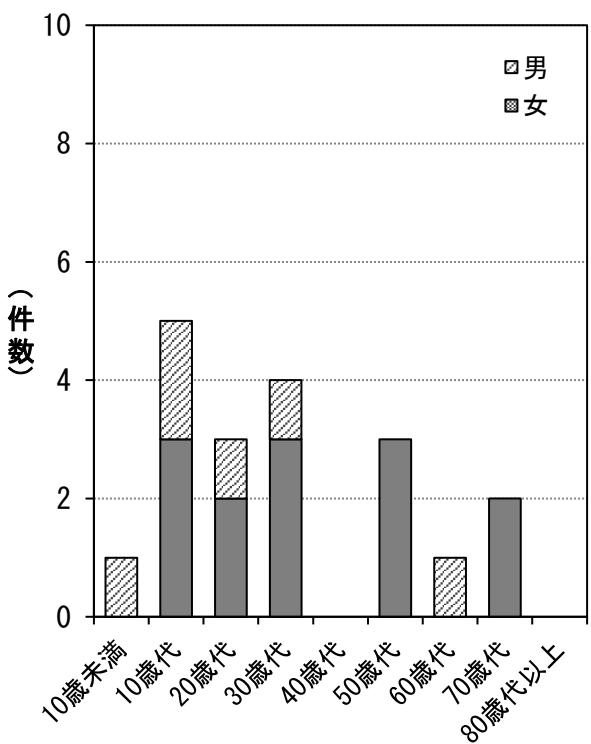
診断月	性別	年齢	症状	型別	推定感染地域
2月	男	10歳代	腹痛、水様性下痢	O157(VT1VT2)	国内
5月	女	50歳代	なし	O111(VT1)	国内
6月	女	10歳代	腹痛、水様性下痢、血便	O157(VT2)	国内
7月	女	30歳代	なし	O111(VT1)	不明
7月	女	50歳代	なし	O111(VT1)	不明
7月	女	30歳代	なし	O103(VT1)	不明
7月	女	10歳代	腹痛、水様性下痢、血便、発熱	O157(VT1VT2)	国内
8月	男	20歳代	腹痛、水様性下痢、血便、発熱	O111(VT1VT2)	国内

8月	男	30歳代	腹痛、水様性下痢	O157(VT2)	国内
8月	女	20歳代	腹痛、水様性下痢、嘔吐	O157(VT2)	国内
8月	女	70歳代	なし	O157(VT2)	国内
8月	女	10歳代	腹痛、水様性下痢、血便、発熱	O157(VT1VT2)	国内
8月	女	70歳代	腹痛、水様性下痢	O157(VT2)	国内
9月	男	10歳未満	水様性下痢、血便	O157(VT1VT2)	不明
9月	女	50歳代	腹痛、軟便	O157(VT1VT2)	国内
9月	女	30歳代	腹痛、水様性下痢、血便、発熱	O121(VT2)	国内
9月	男	10歳代	腹痛、水様性下痢、血便	O157(VT1VT2)	国内
10月	男	60歳代	なし	O103(VT1)	不明
11月	女	20歳代	なし	O111(VT1)	国内

【腸管出血性大腸菌感染症の月別・症状別届出数】



【腸管出血性大腸菌感染症の年齢・性別届出数】



《四類感染症》

③ A型肝炎

年間届出数は1件であった。推定感染地域は国外（パキスタン）で、推定感染経路は不明であった。

診断月	性別	年齢	症 状	推定感染経路	推定感染地域
8月	女	10歳代	肝機能異常	不明	国外

④ 日本紅斑熱

年間届出数は8件で、前年(7件)から増加した。届出月は8から11月と、マダニの活動時期と一致していた。年齢別は60歳代2件、70歳代6件で、性別は男性4件、女性4件であった。推定感染経路はマダニ等の動物・蚊・昆虫からの感染で、推定感染地域は県内であった。

診断月	性別	年齢	症 状	推定感染経路	推定感染地域
8月	男	70歳代	発熱、刺し口、発疹	マダニからの感染	県内
9月	女	60歳代	発熱、頭痛、刺し口、発疹	マダニからの感染	県内
9月	男	70歳代	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	マダニからの感染	県内
9月	女	70歳代	発熱、刺し口、発疹、全身倦怠感	マダニからの感染	県内
10月	男	70歳代	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常、消化器症状(嘔吐、下痢)	マダニからの感染	県内
10月	女	60歳代	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	マダニからの感染	県内
10月	男	70歳代	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内
11月	女	70歳代	発熱、頭痛、刺し口、発疹、息苦しさ、倦怠感	動物・蚊・昆虫等からの感染	県内

⑤ レジオネラ症

年間届出数は23件で、前年(14件)から増加した。内訳は、病型では肺炎型20件、ポンティアック熱型2件、無症状病原体保有者1件であった。年齢別では30歳代1件、40歳代1件、50歳代3件、60歳代4件、70歳代5件、80歳代4件、90歳代5件であり、性別は男性13件、女性10件であった。

推定感染経路は水系感染6件、塵埃感染3件、水系又は塵埃感染1件、その他4件、不明9件であり、推定感染地域は国内22件、不明1件であった。

診断月	性別	年齢	症 状	推定感染経路	推定感染地域
1月	女	60歳代	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎、低Na血症、CK上昇	水系感染	国内
1月	女	80歳代	発熱、呼吸困難、下痢、意識障害、肺炎	その他	国内
1月	女	80歳代	発熱、呼吸困難、肺炎	不明	国内
3月	男	50歳代	発熱、咳嗽、意識障害、肺炎、多臓器不全	不明	国内
5月	男	60歳代	発熱、咳嗽、呼吸困難	塵埃感染	国内
5月	男	60歳代	発熱、咳嗽、呼吸困難、下痢、肺炎	水系感染	国内
5月	女	70歳代	なし	不明	不明
5月	男	90歳代	発熱、肺炎	不明	国内

6月	男	50歳代	発熱、咳嗽、下痢、肺炎	不明	国内
6月	男	70歳代	発熱、咳嗽、肺炎	その他	国内
7月	男	40歳代	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎	水系又は塵埃感染	国内
7月	男	70歳代	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎、多臓器不全	塵埃感染	国内
7月	男	70歳代	発熱、咳嗽、呼吸困難、多臓器不全	水系感染	国内
7月	女	80歳代	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎	その他	国内
9月	女	30歳代	発熱、関節痛	水系感染	国内
9月	男	60歳代	発熱、肺炎	塵埃感染	国内
9月	女	80歳代	発熱、呼吸困難、肺炎	不明	国内
9月	女	90歳代	呼吸困難、肺炎、痰	不明	国内
9月	女	90歳代	発熱、多臓器不全	不明	国内
10月	男	50歳代	発熱、咳嗽、肺炎	その他	国内
10月	女	90歳代	発熱	水系感染	国内
11月	男	70歳代	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎	不明	国内
11月	男	90歳代	発熱、咳嗽、意識障害、肺炎	水系感染	国内

《五類感染症》

⑥ アメーバ赤痢

年間届出数は3件であった。内訳は、病型では腸管アメーバ症2件、腸管外アメーバ症1件であった。年齢別は50歳代1件、60歳代2件で、性別はすべて男性であった。推定感染経路は性的接触1件、その他2件で、推定感染地域は国内2件、国外（シンガポール）1件であった。

診断月	性別	年齢	症 状	推定感染経路	推定感染地域
6月	男	50歳代	下痢	その他	国内
7月	男	60歳代	発熱、肝膿瘍	その他	国外
11月	男	60歳代	下痢、大腸粘膜異常所見	性的接触	国内

⑦ ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）

年間届出数は1件で、過去10年間の届出数は0から2件で推移している。年齢は10歳未満で、性別は女性であった。病原体はコロナウイルスOC43及びヒトライノ/エンテロウイルスが検出されており、推定感染経路は不明で、推定感染地域は国内であった。

診断月	性別	年齢	症 状	推定感染経路	推定感染地域
1月	女	10歳未満	発熱、肝機能異常	不明	国内

⑧ カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

年間届出数は 10 件であり、前年（1 件）から増加した。内訳は、性別では、男性 7 件、女性 3 件で、年齢別では、50 歳代 3 件、60 歳代 1 件、70 歳代 1 件、80 歳代 2 件、90 歳代 3 件であった。推定感染経路は手術部位感染 2 件、以前からの保菌 1 件、医療器具関連感染又は手術部位感染又はその他 1 件、その他 2 件、不明 4 件で、推定感染地域はすべて国内であった。

分離された菌種は、*Klebsiella aerogenes* 3 件、*Escherichia coli* 4 件、*Yokenella regensburgei* 1 件、*Klebsiella pneumoniae* 1 件、*Enterobacter cloacae complex* 1 件であった。

診断月	性別	年齢	症 状	推定感染経路	推定感染地域
2 月	男	60 歳代	腹膜炎	手術部位感染	国内
2 月	男	80 歳代	肺炎	その他	国内
4 月	女	90 歳代	発熱	不明	国内
5 月	男	80 歳代	発熱	不明	国内
6 月	男	50 歳代	尿路感染症	不明	国内
7 月	女	90 歳代	中耳炎	その他	国内
11 月	女	50 歳代	尿路感染症	不明	国内
11 月	男	70 歳代	腹腔内膿瘍	手術部位感染	国内
11 月	男	90 歳代	なし	以前からの保菌	国内
12 月	男	50 歳代	菌血症、敗血症	医療器具関連感染、手術部位感染、その他	国内

⑨ 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）

年間届出数は 5 件であった。内訳は、性別では男性 2 件、女性 3 件であり、年齢別では 10 歳未満 2 件、40 歳代 2 件、60 歳代 1 件であった。

推定感染地域は、国内 4 件、不明 1 件で、推定感染経路は、その他 1 件、不明 4 件であった。検出された病原体では、Varicella-zoster virus（水痘-帯状疱疹ウイルス）1 件、不明 4 件であった。

診断月	性別	年齢	症 状	推定感染経路	推定感染地域
3 月	女	10 歳未満	発熱、嘔吐、けいれん、意識障害、髄液細胞数増加	その他	国内
5 月	女	10 歳未満	発熱、嘔吐、意識障害、けいれん	不明	不明
8 月	男	40 歳代	発熱、頭痛、嘔吐、項部硬直、意識障害、髄液細胞数増加、片麻痺・しびれ	不明	国内
8 月	男	60 歳代	発熱、けいれん、意識障害、髄液細胞数増加	不明	国内
12 月	女	40 歳代	発熱、頭痛、嘔吐、意識障害、髄液細胞数増加	不明	国内

⑩ クロイツフェルト・ヤコブ病

年間届出数は1件で、年齢は70歳代で、性別は女性であった。

病型は、古典型クロイツフェルト・ヤコブ病で、推定感染経路及び推定感染地域は不明であった。

診断月	性別	年齢	症 状	推定感染経路	推定感染地域
10月	女	70歳代	進行性認知症、錐体路症状、錐体外路症状、小脳症状、視覚異常	不明	不明

⑪ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

年間届出数は8件で、過去10年間で最も多かった。内訳は、性別では、男性7件、女性1件であり、年齢別では40歳代1件、50歳代1件、70歳代2件、80歳代2件、90歳代2件であった。

推定感染経路は、創傷感染3件、その他4件、不明1件で、推定感染地域はいずれも国内であった。血清群は、A群4件、G群4件であった。

診断月	性別	年齢	症 状	推定感染経路	推定感染地域
2月	男	50歳代	ショック、肝不全、腎不全、DIC	不明	国内
3月	男	70歳代	ショック、腎不全、軟部組織炎	創傷感染	国内
3月	男	40歳代	ショック、肝不全、腎不全、DIC、軟部組織炎、中枢神経症状	創傷感染	国内
6月	男	80歳代	ショック、DIC、軟部組織炎	創傷感染	国内
7月	女	80歳代	ショック、DIC、軟部組織炎	その他	国内
7月	男	70歳代	ショック、DIC、軟部組織炎	不明	国内
8月	男	90歳代	ショック、腎不全、軟部組織炎、左人工膝関節感染	その他	国内
8月	男	90歳代	ショック、腎不全、DIC	その他	国内

⑫ 後天性免疫不全症候群

年間届出数は5件で前年（2件）から増加した。内訳では、性別はいずれも男性であり、年齢別では10歳代1件、20歳代3件、40歳代1件であった。

病型はAIDS2件、無症候性キャリア2件、その他（早期梅毒合併）1件であった。AIDS患者の指標疾患は、サイトメガロウイルス感染症1件、非ホジキンリンパ腫及びHIV消耗性症候群（全身衰弱又はスリム病）1件であった。

推定感染経路は性的接触（異性間2件、同性間2件、不明1件）で、推定感染地域は国内4件、不明1件であった。

診断月	性別	年齢	症 状	推定感染経路	推定感染地域
1月	男	10歳代	なし	性的接触（異性間）	国内
6月	男	20歳代	早期梅毒、発熱	性的接触（異性間）	国内

7月	男	20歳代	発熱、体重減少	性的接触（同性間）	国内
12月	男	40歳代	左眼の視力低下	性的接触（同性間）	不明
12月	男	20歳代	なし	性的接触（不明）	国内

⑬ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

年間届出数は3件であった。内訳は、性別では、男性2件、女性1件、年齢別では10歳未満2件、70歳代1件であった。

推定感染経路は、3件すべてが飛沫・飛沫核感染（経気道感染）であり、推定感染地域もすべて国内であった。

ワクチン接種歴は、4回接種2件、不明1件であった。

診断月	性別	年齢	症 状	推定感染経路	推定感染地域
1月	男	10歳未満	発熱、肺炎、菌血症、脳膜炎	飛沫・飛沫核感染	国内
6月	男	10歳未満	発熱、肺炎、菌血症	飛沫・飛沫核感染	国内
7月	女	70歳代	肺炎、菌血症	飛沫・飛沫核感染	国内

⑭ 侵襲性肺炎球菌感染症

年間届出数は13件であった。内訳は、性別では男性9件、女性4件であり、年齢別では10歳未満1件、50歳代2件、60歳代2件、70歳代3件、80歳代3件、90歳代2件であった。

推定感染経路は飛沫・飛沫核感染2件、その他2件、不明9件で、推定感染地域はいずれも国内であった。ワクチン接種歴は3回接種1件、1回接種3件、接種なし4件、不明5件であった。

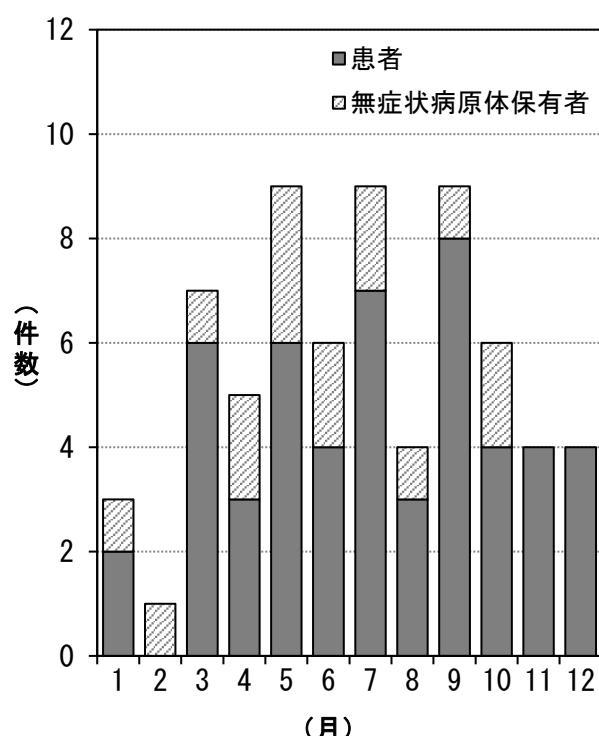
診断月	性別	年齢	症 状	推定感染経路	推定感染地域
1月	女	60歳代	発熱	その他	国内
1月	男	50歳代	発熱、肺炎、菌血症	不明	国内
1月	女	70歳代	発熱、咳、肺炎、菌血症	不明	国内
2月	男	70歳代	発熱、咳、全身倦怠感、嘔吐、肺炎、菌血症	不明	国内
3月	男	90歳代	発熱、咳、肺炎	不明	国内
4月	女	90歳代	発熱、肺炎	飛沫・飛沫核感染	国内
5月	男	80歳代	腹痛	不明	国内
5月	男	80歳代	肺炎	不明	国内
7月	男	10歳未満	発熱、意識障害、大泉門膨隆、髄膜炎、菌血症	不明	国内
7月	女	60歳代	発熱、咳、全身倦怠感	不明	国内
11月	男	80歳代	咳、腹痛	不明	国内
11月	男	50歳代	発熱	その他	国内
12月	男	70歳代	発熱、咳、全身倦怠感、肺炎	飛沫・飛沫核感染	国内

⑯ 梅毒

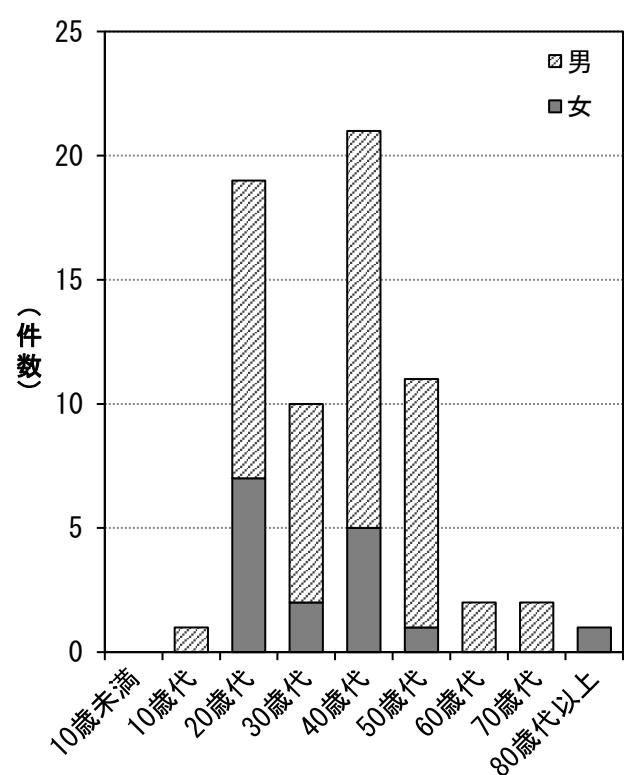
年間届出数は67件で、前年（78件）から減少した。内訳では、病型は早期顕症梅毒Ⅰ期25件、早期顕症梅毒Ⅱ期25件、晚期顕症梅毒1件、無症候16件であった。年齢別では10歳代1件、20歳代19件、30歳代10件、40歳代21件、50歳代11件、60歳代2件、70歳代2件、80歳以上1件であった。性別では男性51件、女性16件であり、性別で症状を比較した場合、「患者」の割合は、男性では約86%、女性では約44%であった。

推定感染地域は国内が59件、不明8件であった。推定感染経路は、性的接触57件（同性間2件、異性間45件、性別不明10件）、不明10件であった。

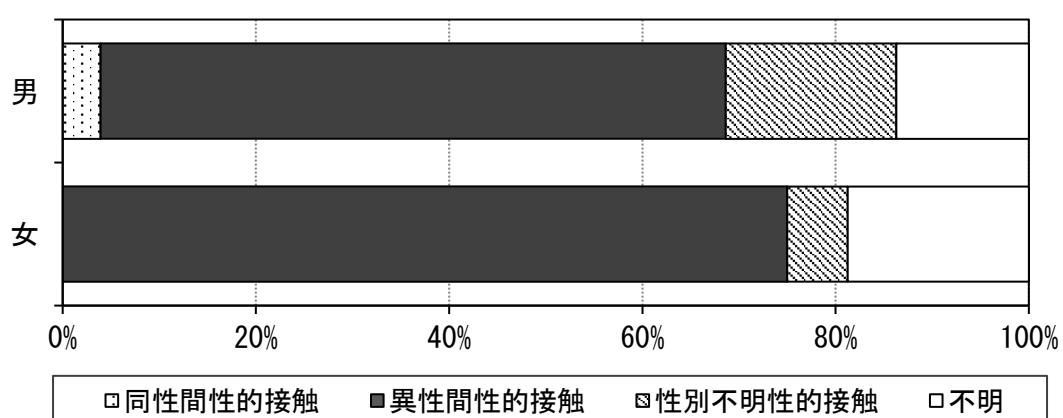
【梅毒の月別届出数】



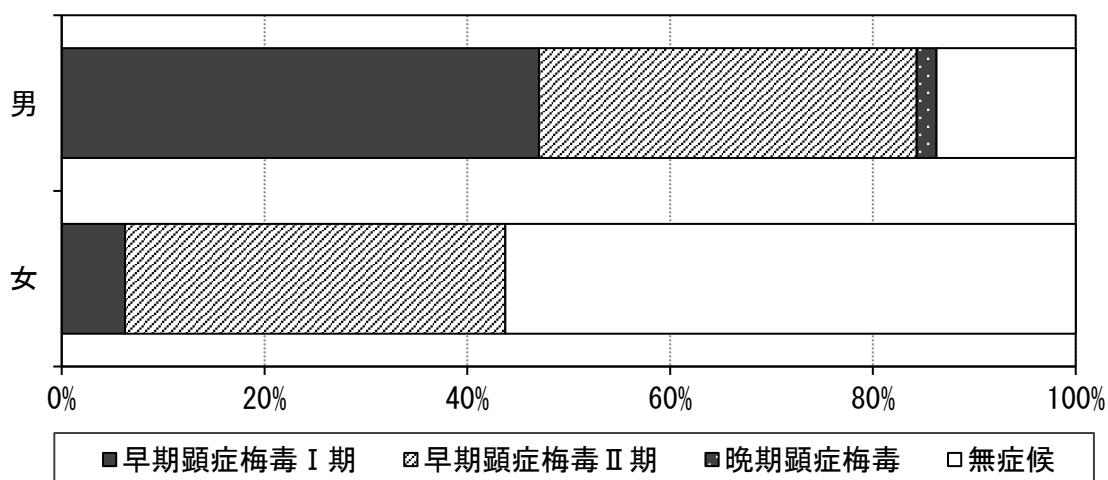
【梅毒の年齢・性別届出数】



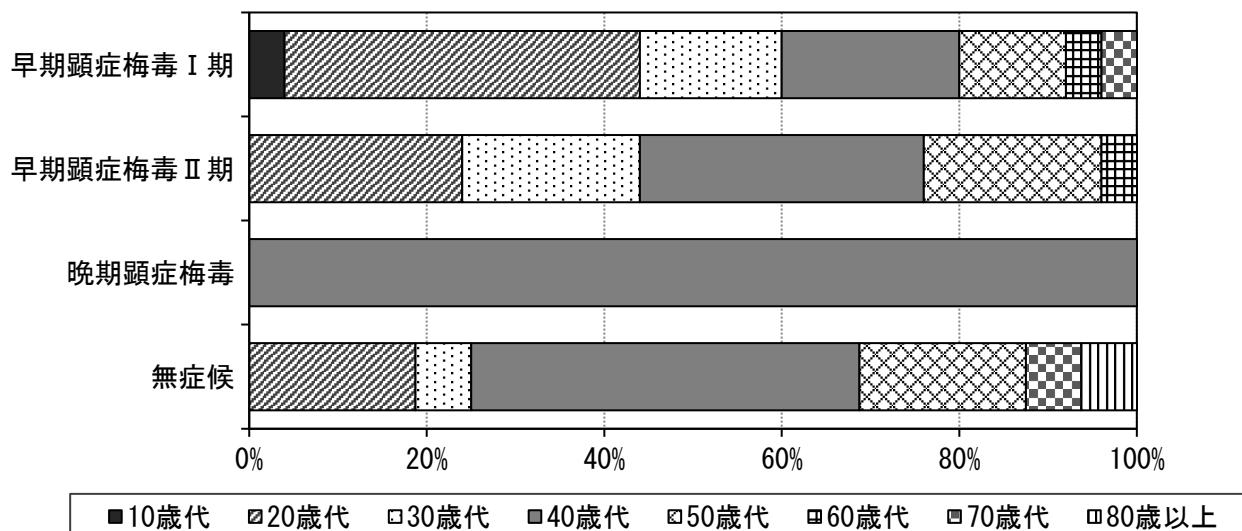
【梅毒の感染経路・性別】



【梅毒の病型・性別届出数】



【梅毒の病型・年齢別届出数】



⑯ 播種性クリプトコックス症

年間届出数は5件であった。内訳は、性別ではいずれも男性であり、年齢別では50歳代1件、70歳代3件、90歳代1件であった。推定感染経路は、免疫不全5件であり、そのうち4件はステロイドの投与があった。推定感染地域はいずれも国内であった。

診断月	性別	年齢	症 状	推定感染経路	推定感染地域
2月	男	50歳代	頭痛、発熱、意識障害、中枢神経系病変、真菌血症	免疫不全	国内
2月	男	90歳代	呼吸器症状、真菌血症	免疫不全	国内
5月	男	70歳代	発熱、意識障害、呼吸器症状、真菌血症	免疫不全	国内
8月	男	70歳代	頭痛、発熱	免疫不全	国内
10月	男	70歳代	頭痛、発熱、左人工膝関節感染	免疫不全	国内

⑯ 百日咳

年間届出数は42件で、前年(78件)から減少した。内訳は、性別では男性23件、女性19件であり、年齢別では10歳未満24件、10歳代16件、20歳代1件、60歳代1件であった。

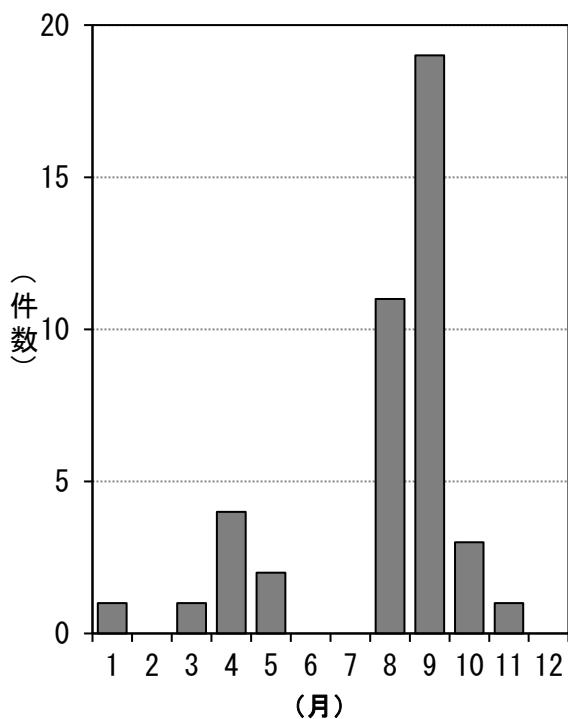
症状では、持続する咳42件、夜間の咳き込み29件、呼吸苦9件、嘔吐2件であった(重複あり)。

推定感染経路は家族内感染33件、不明9件で、推定感染地域はすべて国内であった。

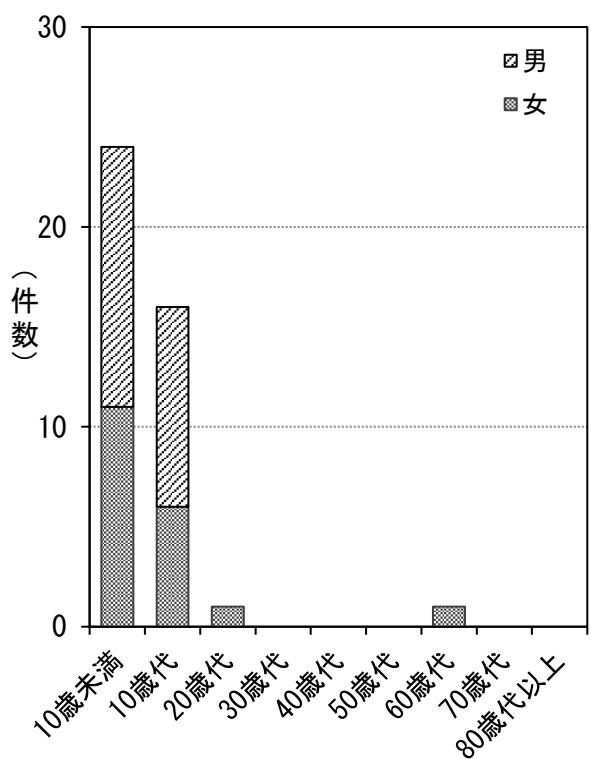
百日咳含有ワクチン接種歴は、4回接種20件、3回接種1件、不明21件であった。

診断方法は、抗原検査41件、遺伝子検査1件であった。

【百日咳の月別届出数】



【百日咳の年齢・性別届出数】



3. 定点把握対象感染症患者報告状況（週報）

（1）過去5年間の報告状況

疾患名	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
インフルエンザ	3,095	4	42	13,896	11,080
新型コロナウイルス感染症 ¹⁾				10,061	12,829
RSウイルス感染症	140	2,912	1,214	1,591	1,143
咽頭結膜熱	222	242	205	1,117	424
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	475	254	109	544	1,506
感染性胃腸炎	3,365	4,397	4,006	5,193	4,700
水痘	192	128	70	68	127
手足口病	71	678	410	530	3,608
伝染性紅斑	115	6	4	7	43
突発性発しん	514	502	399	346	347
ヘルパンギーナ	170	411	66	1,107	303
流行性耳下腺炎	50	30	19	22	13
急性出血性結膜炎	-	-	-	2	4
流行性角結膜炎	29	21	11	26	15
細菌性髄膜炎	3	1	4	5	6
無菌性髄膜炎	4	3	6	12	9
マイコプラズマ肺炎	43	7	2	1	57
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	1	-	-	-

1) 令和2年2月1日から指定感染症に追加指定、令和3年2月13日から新型インフルエンザ等感染症に変更、令和5年5月8日から定点把握対象疾患感染症（五類感染症）へ指定された。

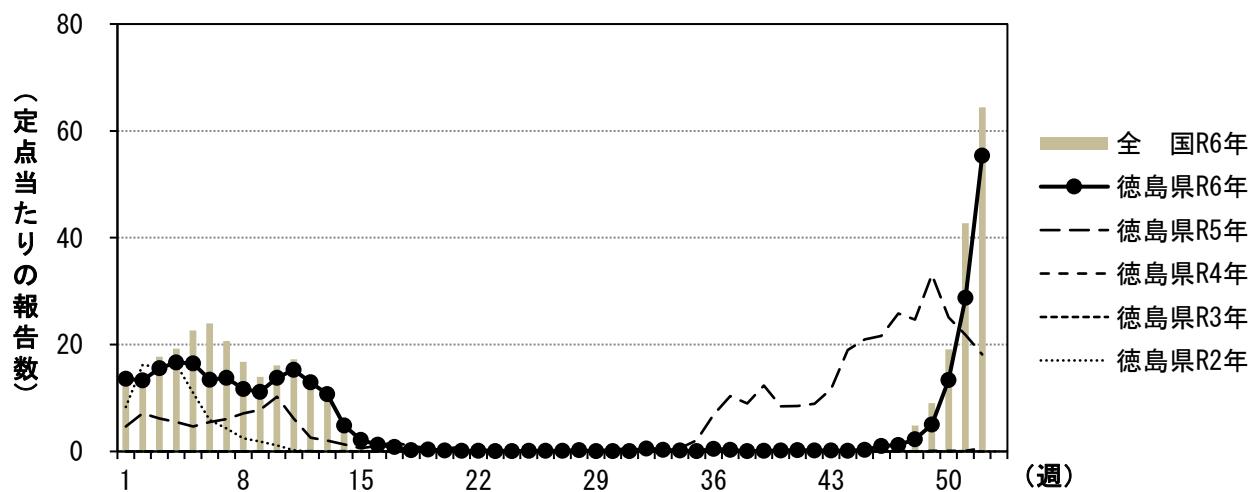
(2) 各疾病の報告状況

① インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）

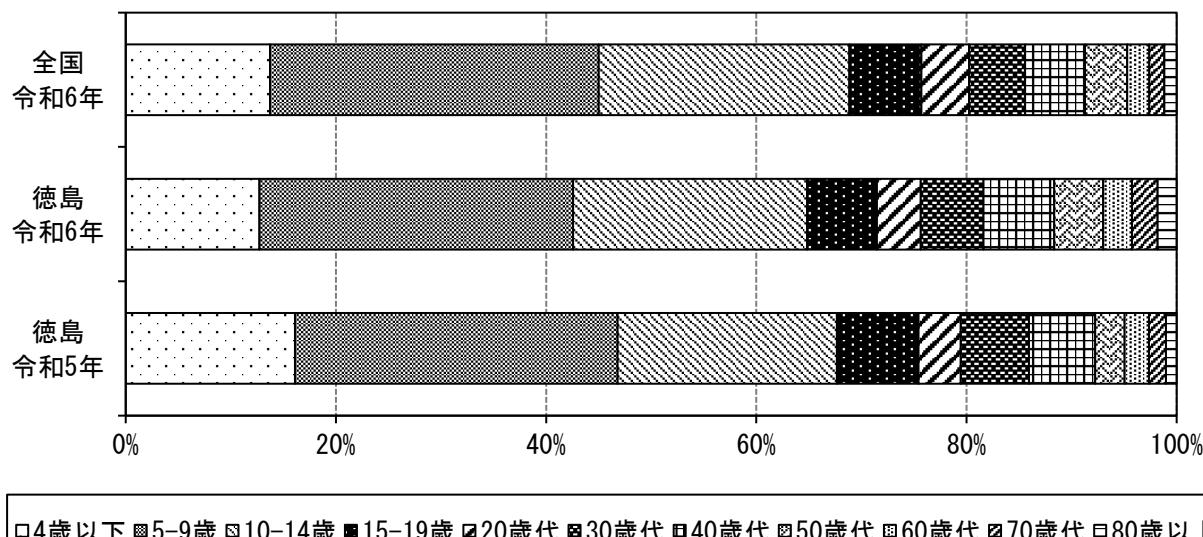
年間報告数は 11,080 人であり、前年（13,896 人）から減少した。しかし、報告数が少なかった令和2年（3,095 人）、令和3年（4 人）、令和4年（42 人）と比較すると多い水準であった。

本年は、前年の流行が持続したまま始まり、第1週は 13.59 人／定点であった。その後、第13週まで 10 人／定点を越える状況で推移したが、以降は減少傾向となった。第17週には 1.0 人／定点を下回り、それ以降は 1.0 人／定点未満の低い水準で推移した。2024/2025 シーズンに入り、第46週に 1.03 人／定点となり、1.0 人／定点を超えたため流行期に入ったと判断された。その後、報告数は急増し、第50週には 13.35 人／定点と注意報発令基準を超えた。第52週には 55.35 人／定点となり、警報発令基準を超えると、定点あたりの患者報告数としては過去最多となった。年齢別報告数では、4歳以下 12.7%、5～9歳 29.8%、10～14歳 22.3%、15～19歳 6.7%、20歳以上 28.5% であり、5～14歳の割合が高かった。

【インフルエンザの週別患者報告状況】



【インフルエンザの年齢別報告数】



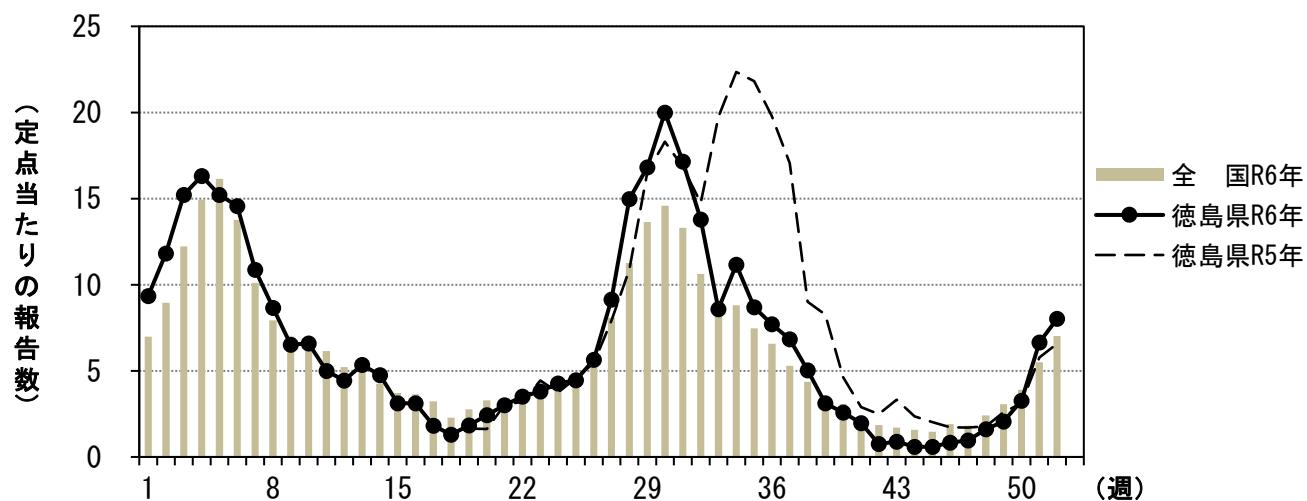
② 新型コロナウイルス感染症

年間報告数は12,829人であった。本疾患は、令和5年5月8日から定点把握対象疾患となってからの報告数であることを考慮すると、前年（10,061人）から減少したと考えられる。

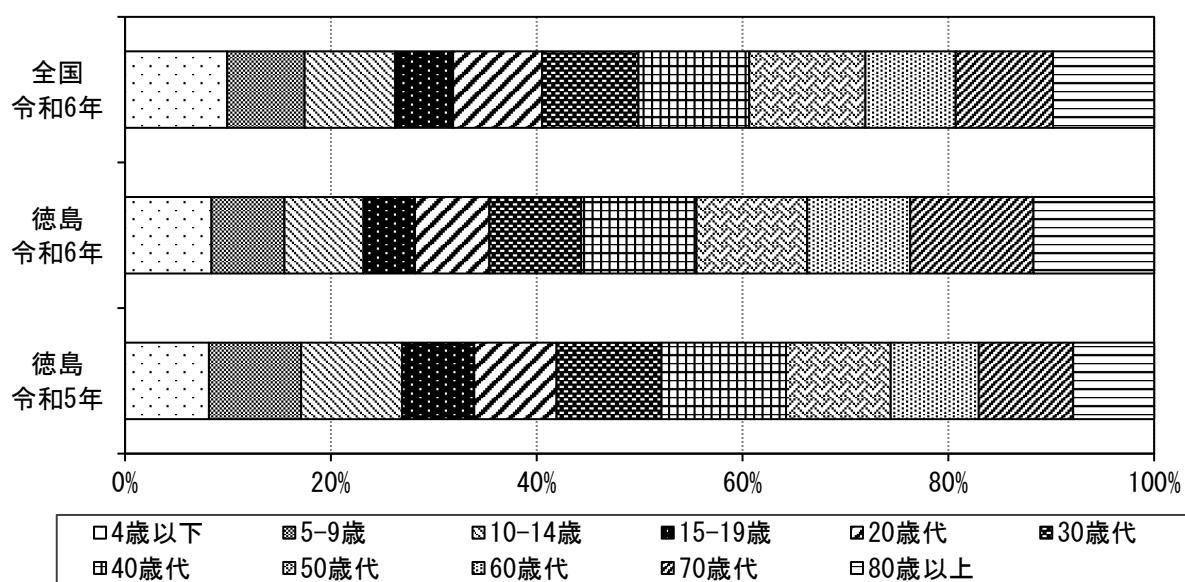
本年の報告数では、第2週に10人／定点を越え、第4週に最初のピーク（16.32人／定点）となった後、第8週には10人／定点を下回った。その後、第18週に1.30人／定点まで減少したが、再び増加へ転じた。第30週に2度目のピーク（20.00人／定点）を示した後、第44週に0.59人／定点まで減少した。しかし、年末にかけて再び増加傾向となり第52週には8.03人／定点となった。

年齢別報告数は、4歳以下8.4%、5～9歳7.1%、10～14歳7.7%、15～19歳5.0%、20歳代7.2%、30歳代8.9%、40歳代11.2%、50歳代10.8%、60歳代10.0%、70歳代12.0%、80歳以上11.7%であった。

【新型コロナウイルス感染症の週別患者報告状況】



【新型コロナウイルス感染症の年齢別報告数】



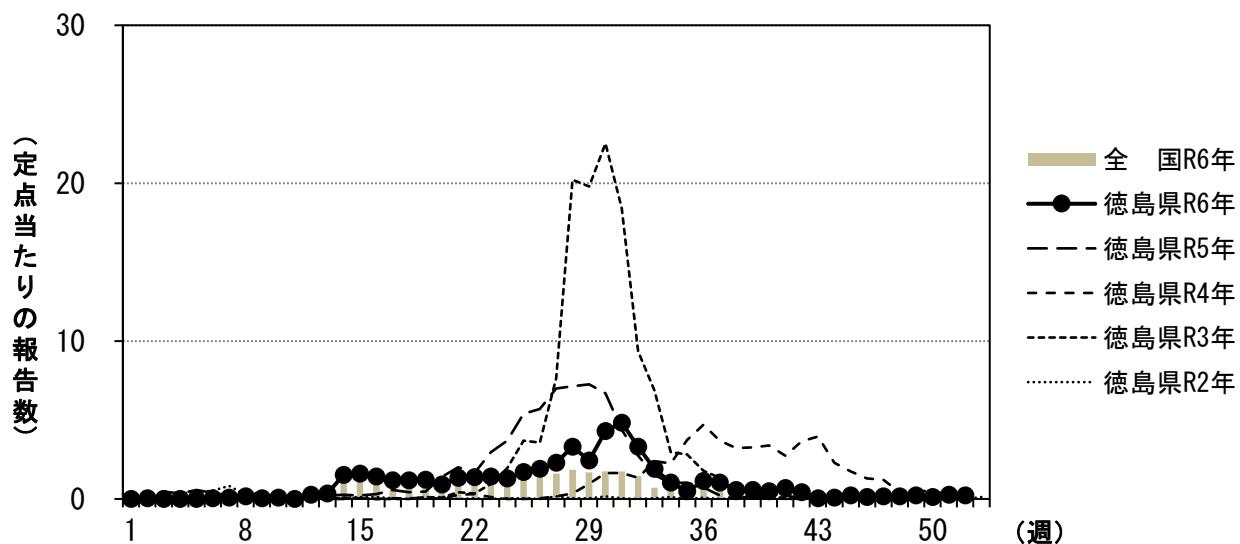
③ RS ウイルス感染症

年間報告数は1,143人と、前年（1,591人）から減少した。調査開始以降最も多い報告数であった令和3年以降減少しており、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行以前の報告数より、やや低い数値であった。

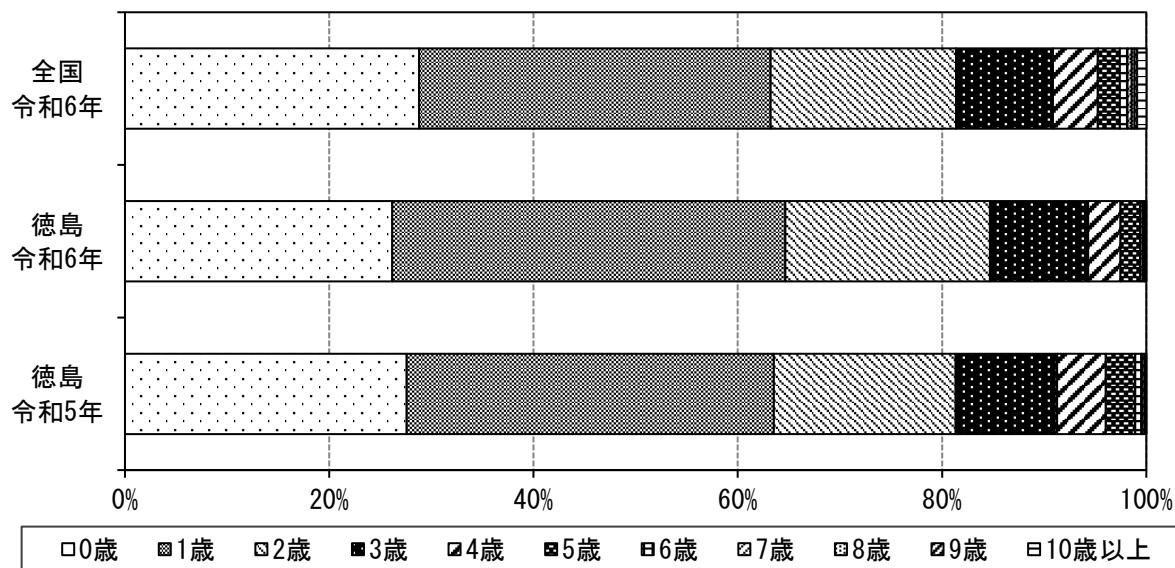
本年は4月初旬（第14週）に1.0人／定点を超えるやかに増加し、7月下旬（第31週）にピーク（4.83人／定点）を迎えた。その後減少し、第38週以降1.0人／定点より少なく推移した。

年齢別報告数は、0歳26.2%、1歳38.5%、2歳20.0%、3歳9.6%、4歳以上5.7%であり、2歳までの乳幼児からの報告が多かった。

【RS ウイルス感染症の週別患者報告状況】



【RS ウイルス感染症の年齢別報告数】



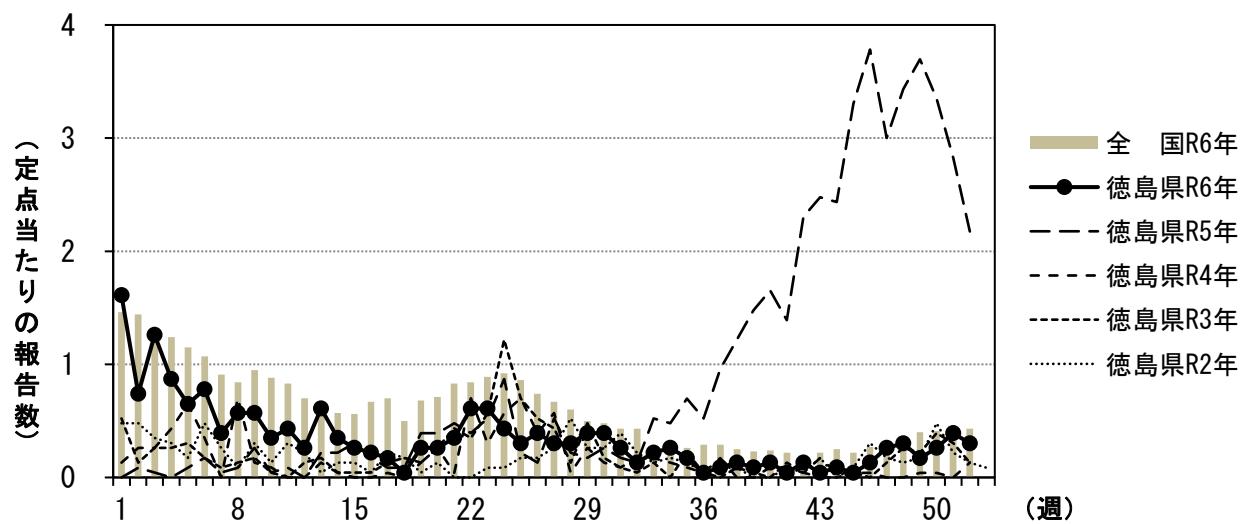
④ 咽頭結膜熱

年間報告数は424人と、大きな流行が見られた前年（1,117人）から減少した。

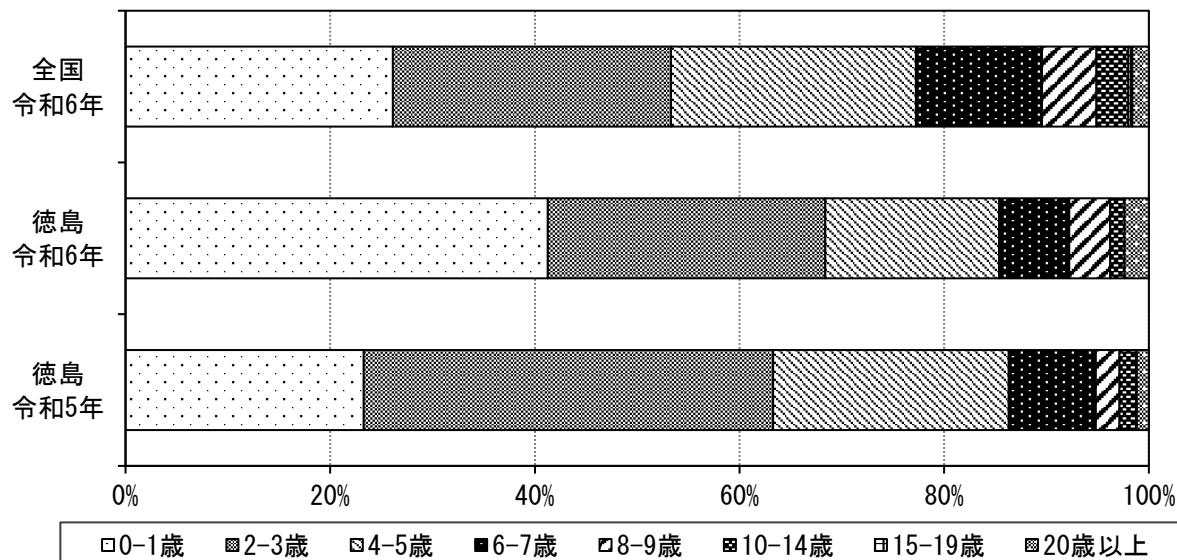
本年は、前年11月中旬（第46週）にピーク（3.78人／定点）を示した流行を受け、第1週に1.61人／定点から始まった。その後はゆるやかに減少し、第14週以降は、5月下旬（第22週、23週）に0.61人／定点とやや増加した時期を除き、0.5人／定点以下で推移した。

年齢別報告数は、0～1歳41.3%、2～3歳27.1%、4～5歳17.0%、6～7歳6.8%、8歳以上7.8%であり、5歳以下が約85%を占めた。

【咽頭結膜熱の週別患者報告状況】



【咽頭結膜熱の年齢別報告数】



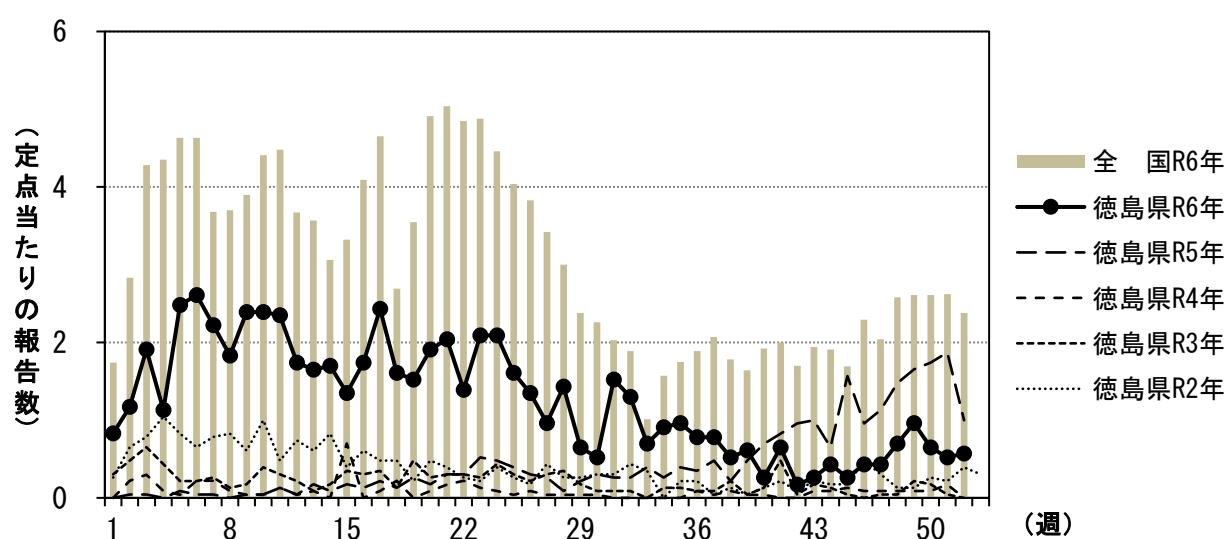
⑤ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

年間報告数は1,506人と、前年(544人)から増加し、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行以前の報告数と同程度の水準であった。

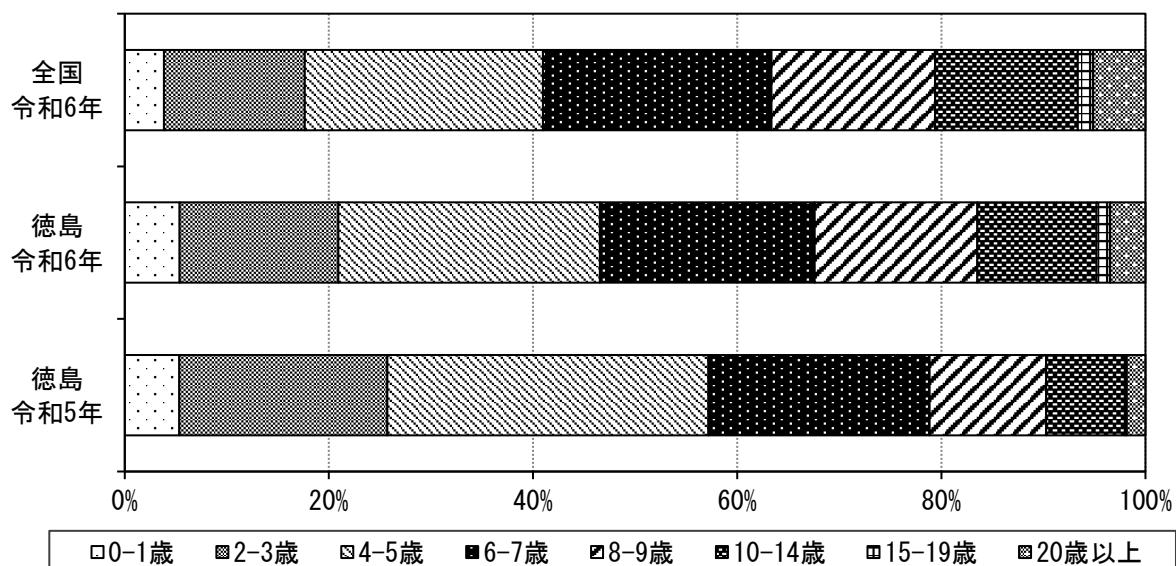
本年は、年前半は2.0人/定点前後で推移したが、第33週以降は、1.0人/定点未満の低い水準で推移した。

年齢別報告数は、0~1歳5.4%、2~3歳15.5%、4~5歳25.6%、6~7歳21.0%、8~9歳15.9%、10~14歳11.7%、15歳以上4.8%であり、2~9歳が全体の約8割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の週別患者報告状況】



【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の年齢別報告数】



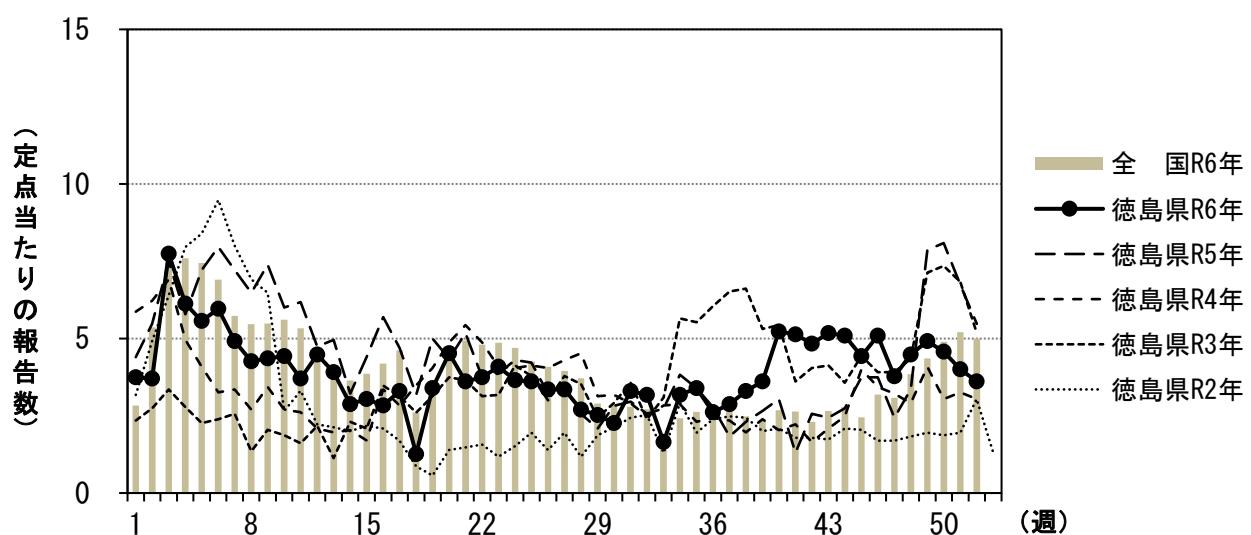
⑥ 感染性胃腸炎

年間報告数は4,700人と、前年(5,193人)から減少した。

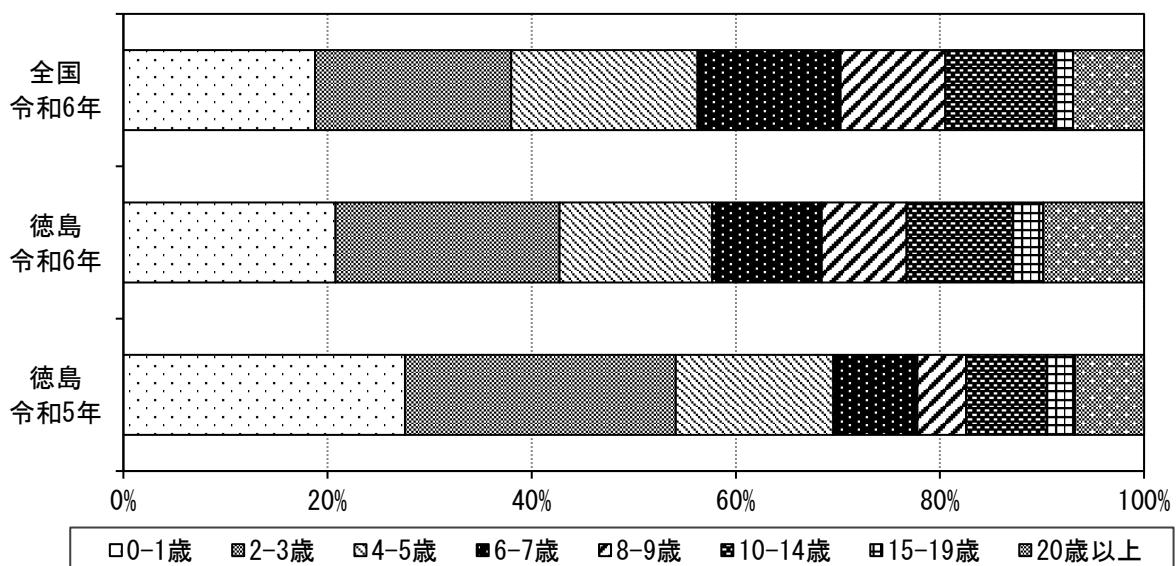
本疾患は、初冬から増加して12~1月頃に一度ピークが見られた後、春にもう一度なだらかなピークを形成し、初夏まで流行が続くパターンが多い。本年は、年初から第7週にかけて、第3週をピーク(7.74人/定点)とする山が見られた。その後は1.5~4.0人/定点前後で推移したが、第40週からやや増加し、年末にかけては5.0人/定点前後で推移した。

年齢別報告数は、0~1歳20.8%、2~3歳21.9%、4~5歳15.0%、6~7歳10.7%、8~9歳8.3%、10~14歳10.4%、15歳以上12.9%であった。5歳以下の乳幼児が全体の約6割を占めた。

【感染性胃腸炎の週別患者報告状況】



【感染性胃腸炎の年齢別報告数】



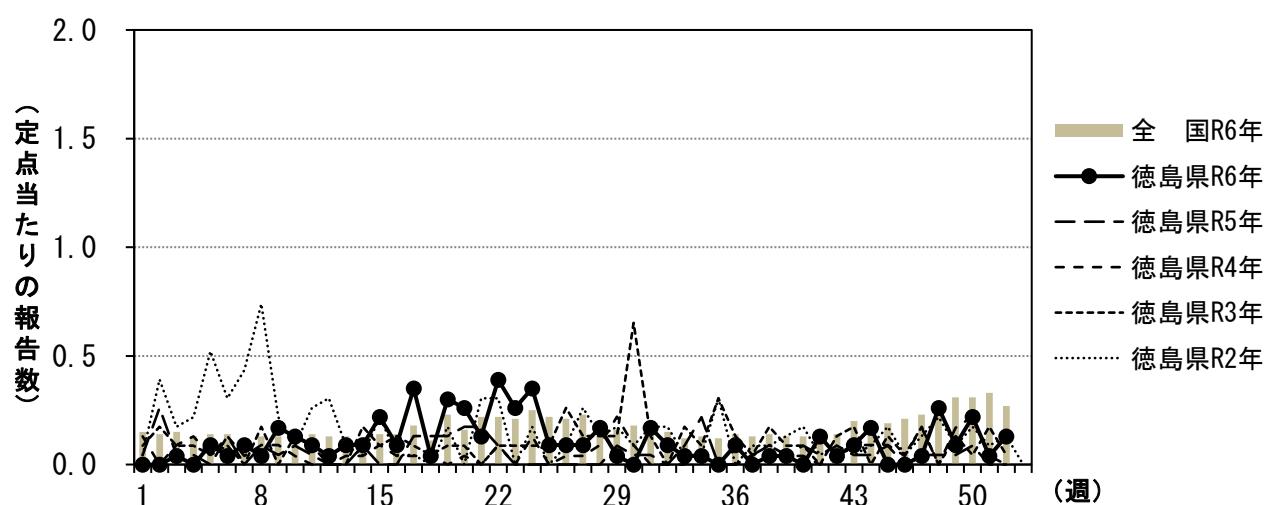
⑦ 水痘

年間報告数は127人であり、前年（68人）から増加した。

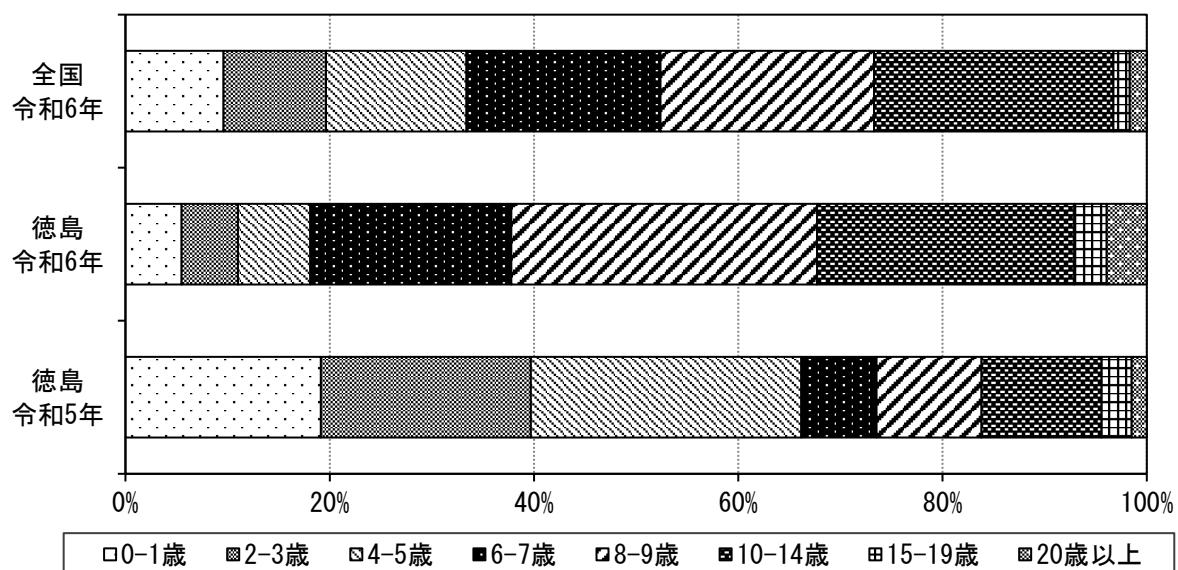
本年は大きなピークは見られず、年間を通じて低水準（0.40人／定点以下）で推移した。

年齢別報告数は、0～1歳5.5%、2～3歳5.5%、4～5歳7.1%、6～7歳19.7%、8～9歳29.9%であった。10歳未満で全体の67.7%を占めたが、10～14歳も25.2%を占めた。

【水痘の週別患者報告状況】



【水痘の年齢別報告数】



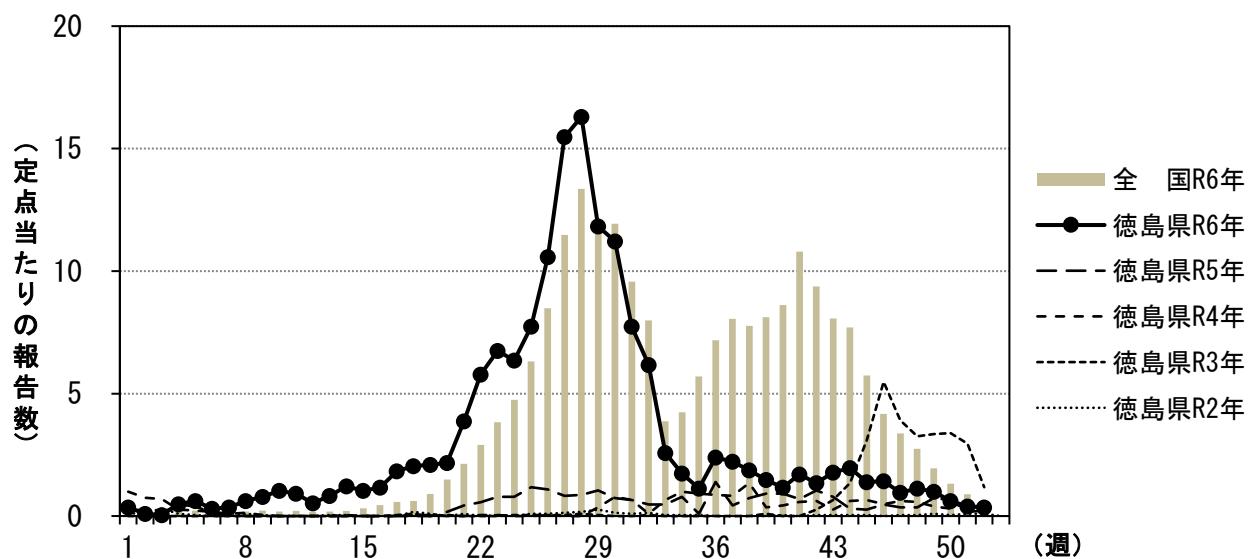
⑧ 手足口病

年間報告数は3,608人であり、前年（530人）から大きく増加し、過去10年間では平成27年に次いで多い報告数であった。

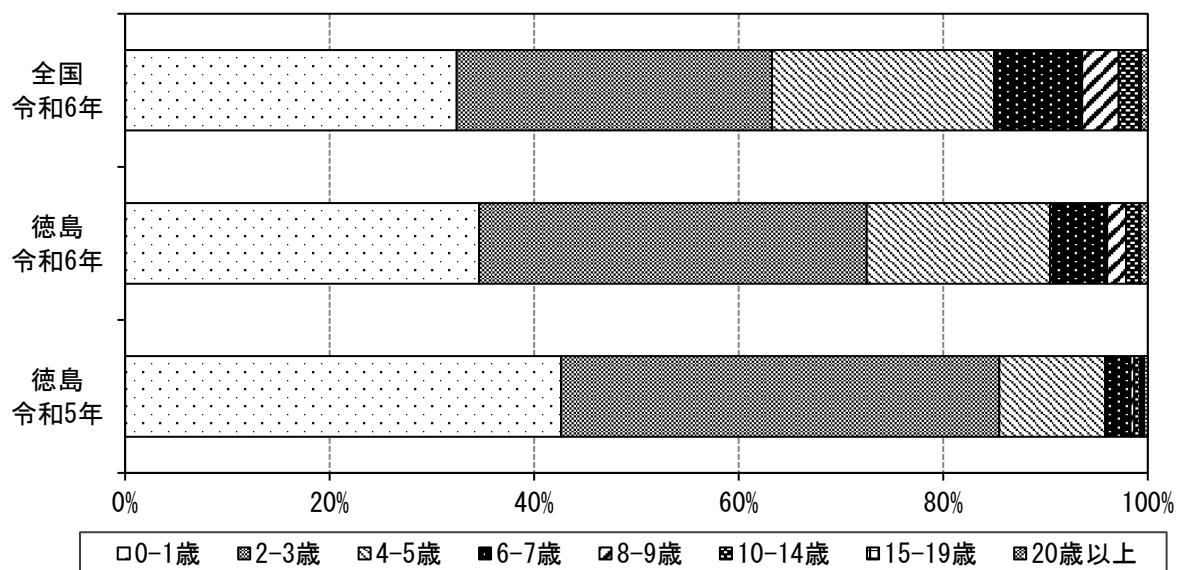
本年の報告数では、年初からゆるやかに増加していたが、第21週以降大きく増加し、第28週（16.30人／定点）にピークを示した。その後は減少し、第35週には1.13人／定点となった。以降もゆるやかな減少が続き、第52週には0.35人／定点となった。

年齢別報告数は、0～1歳34.6%、2～3歳37.9%、4～5歳17.9%、6～7歳5.6%、8歳以上4.0%であり、5歳以下が全体の約9割を占めた。

【手足口病の週別患者報告状況】



【手足口病の年齢別報告数】



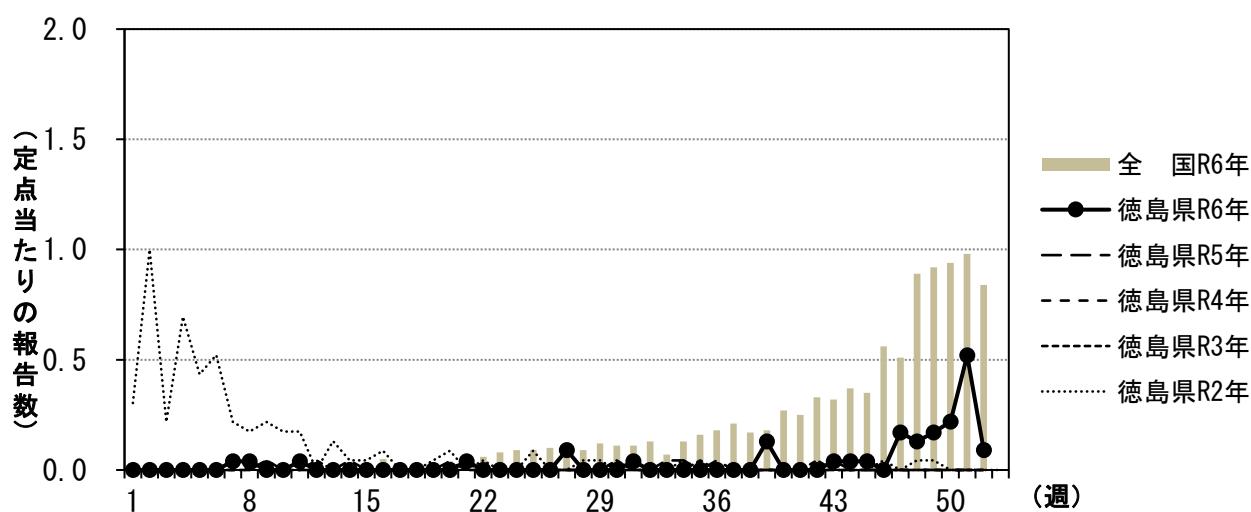
⑨ 伝染性紅斑

年間報告数は43人であり、前年（7人）から増加した。令和3年以降は10件未満の報告数で推移していたが、本年は4年ぶりの増加となった。

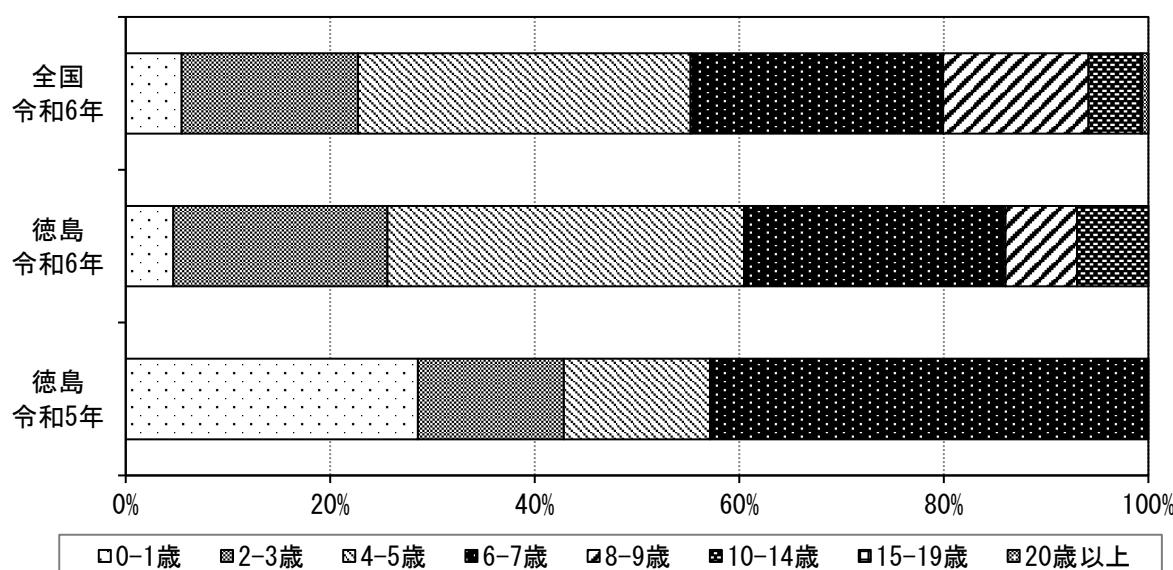
週別の患者報告数では、年初から0.1人／定点未満で推移していたが、第47週以降に報告が増加し、第51週に0.52人／定点となった。

年齢別報告数は、0～1歳4.7%、2～3歳20.9%、4～5歳34.9%、6～7歳25.6%、8歳以上14.0%であった。2～7歳が全体の約8割を占め、この年齢層からの報告が特に多かった。

【伝染性紅斑の週別患者報告状況】



【伝染性紅斑の年齢別報告数】



⑩ 突発性発しん

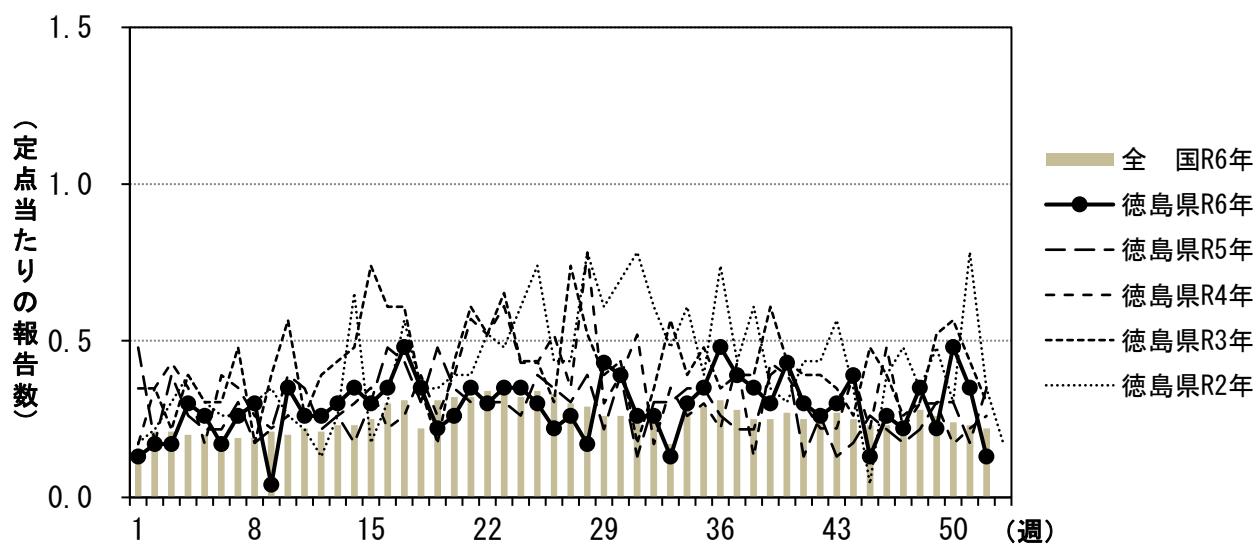
年間報告数は347人であり、過去10年間では、前年（346人）に次いで少ない報告数であった。

本疾患は、季節性も年次推移も認められず、年間を通じてほぼ一定の範囲内で推移するとされている。また、6か月～1歳の小児に好発し、ほとんどの子どもが3歳までに感染するといわれている。

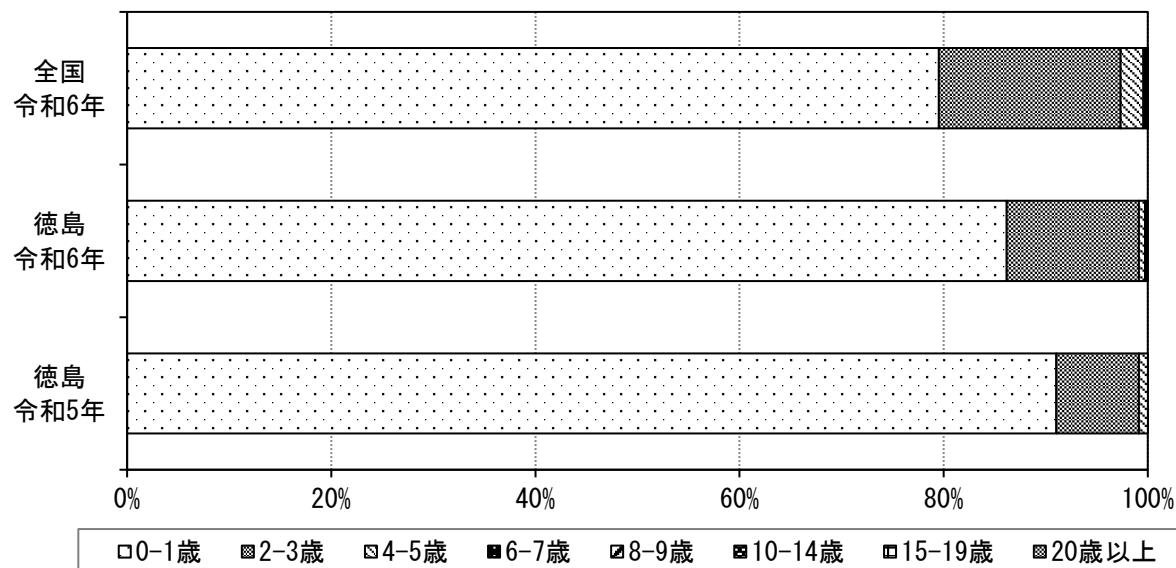
本年も、前述の一般的な傾向と一致し、明確なピークは示さず、大きな季節的変動も見られないまま、一定の範囲内（0.04～0.48人／定点）で推移した。

年齢別報告数は0～1歳86.2%、2～3歳13.0%、4～5歳0.6%であり、1歳以下が大半を占めた。これも、本疾患の好発年齢（6か月～1歳）を反映した結果であった。

【突発性発しんの週別患者報告状況】



【突発性発しんの年齢別報告数】



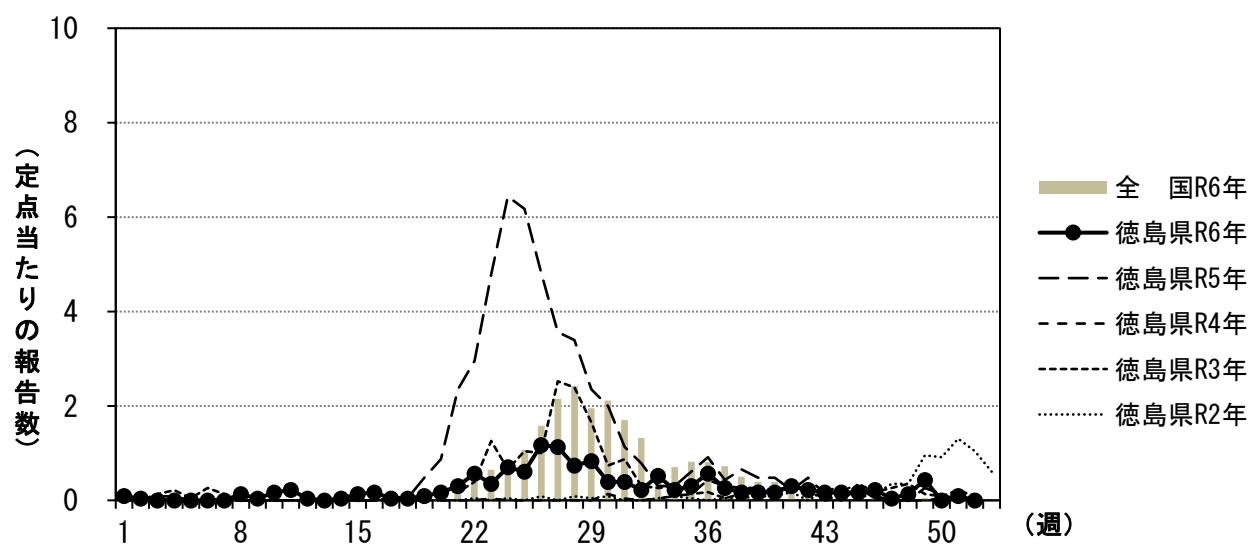
⑪ ヘルパンギーナ

年間報告数は303人であり、過去10年で最も多い報告数であった前年（1,107人）から大きく減少した。

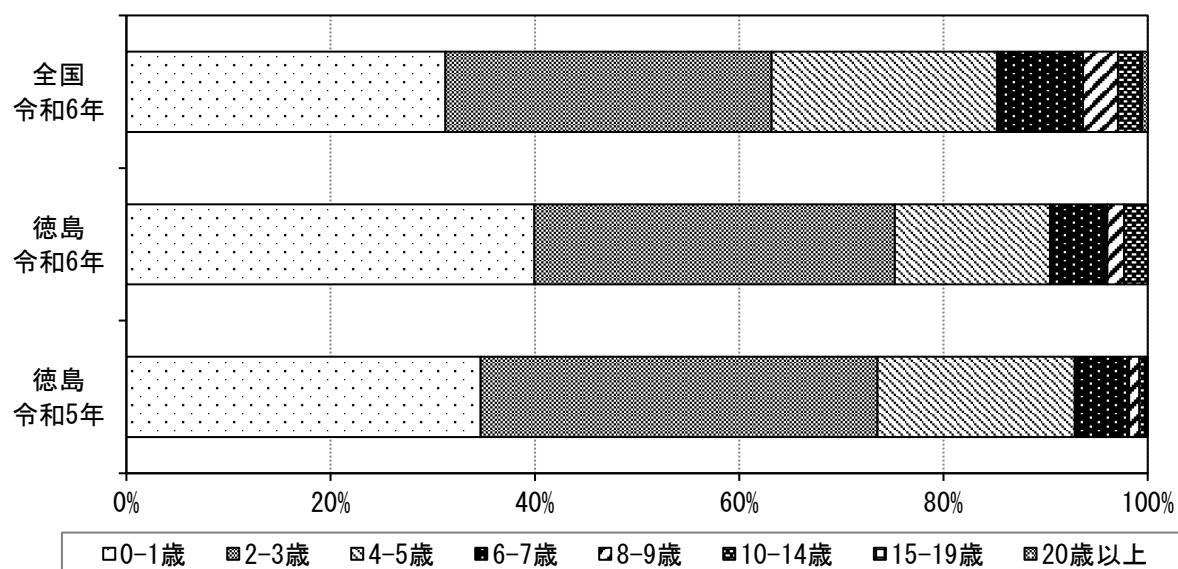
本疾患は、手足口病とともに主に乳幼児の間で流行する夏期の代表的な感染症である。本年は、5月下旬（第20週）から報告数が増加し始め、6月下旬（第26週）にピーク（1.17人／定点）を示した。その後は減少傾向となり低い値で推移した。

年齢別報告数では、0～1歳 39.9%、2～3歳 35.3%、4～5歳 15.2%、6～7歳 5.6%、8歳以上 4.0%であり、5歳以下の乳幼児が約9割を占めた。

【ヘルパンギーナの週別患者報告状況】



【ヘルパンギーナの年齢別報告数】



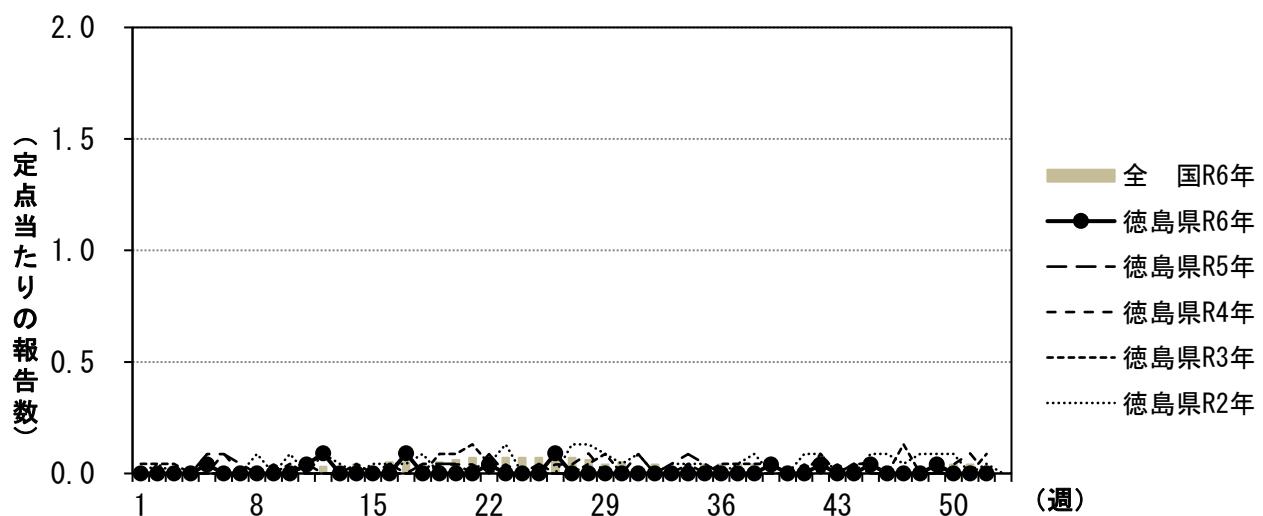
⑫ 流行性耳下腺炎

年間報告数は13人であり、前年(22人)から減少し、過去10年間では最も少ない報告数であった。

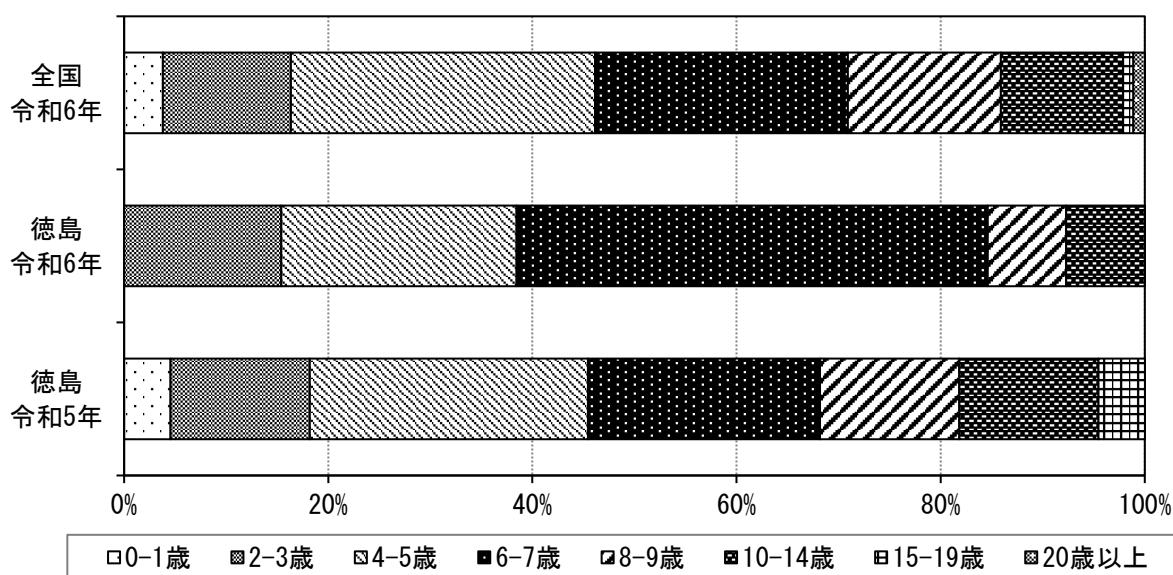
ここ10年では、平成28年から29年にかけて大きな流行があった。

年齢別報告数は、6歳が4人(30.8%)と最も多かった。

【流行性耳下腺炎の週別患者報告状況】



【流行性耳下腺炎の年齢別報告数】



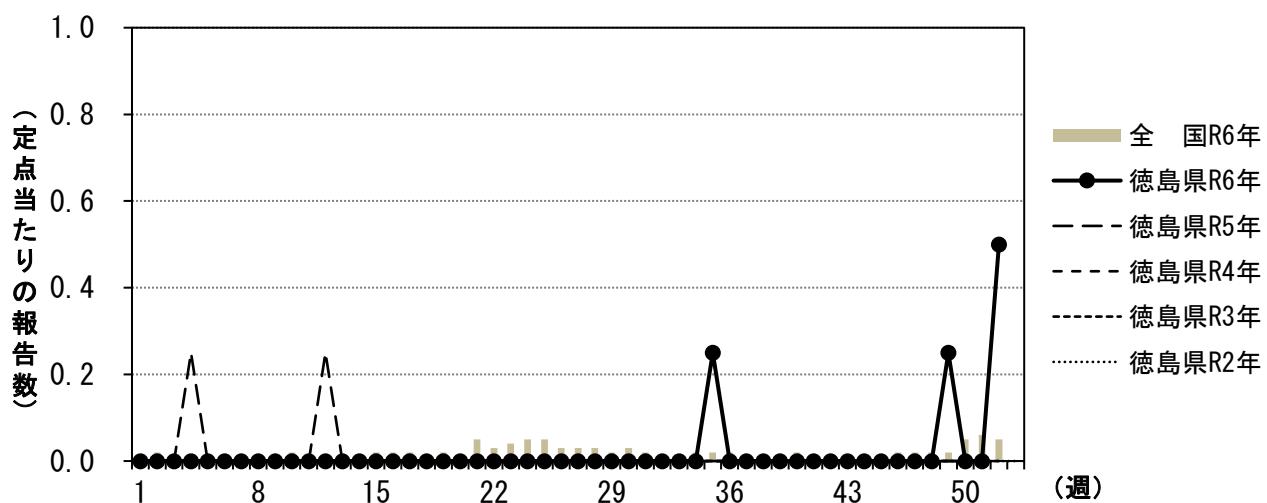
⑬ 急性出血性結膜炎

年間報告数は4人であり、前年（2人）から増加し、過去5年間では最多の報告数であった。

本疾患は局地的に流行することがあるが、流行のない年は季節性も見られず、報告数は低いまま微増微減を繰り返すとされている。

年齢別報告数は、10歳代2人、20歳代1人、40歳代1人であった。

【急性出血性結膜炎の週別患者報告状況】

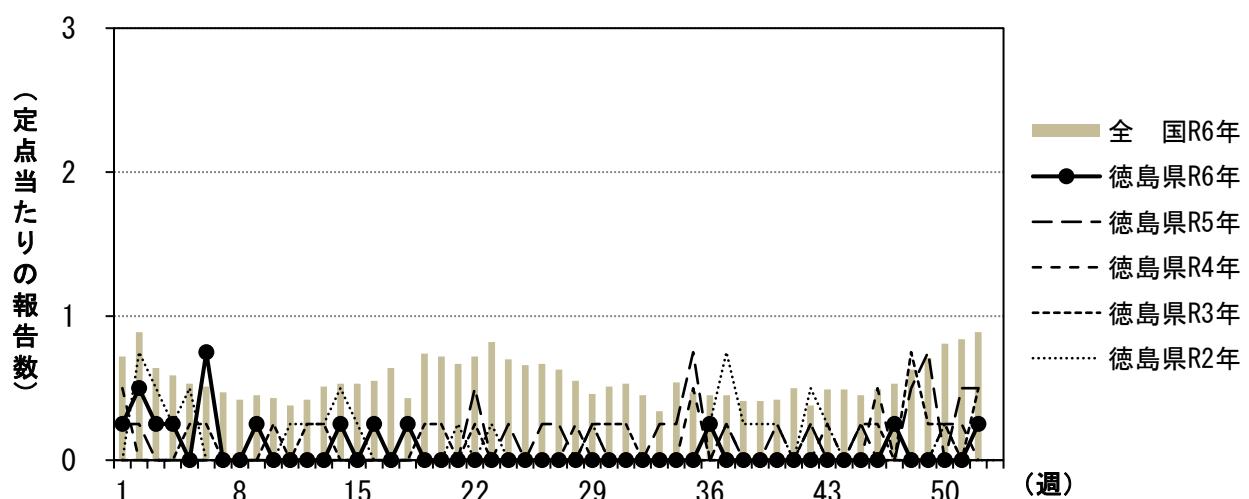


⑭ 流行性角結膜炎

年間報告数は15人であり、前年（26人）から減少した。過去10年間では、令和4年（11人）に次いで2番目に少ない報告数であった。

年齢別報告数は、20歳未満1人（6.7%）、20歳代2人（13.3%）、30歳代5人（33.3%）、40歳代5人（33.3%）、50歳代2人（13.3%）であった。30歳代および40歳代が全体の約7割を占め、これらの年齢層が多かった。

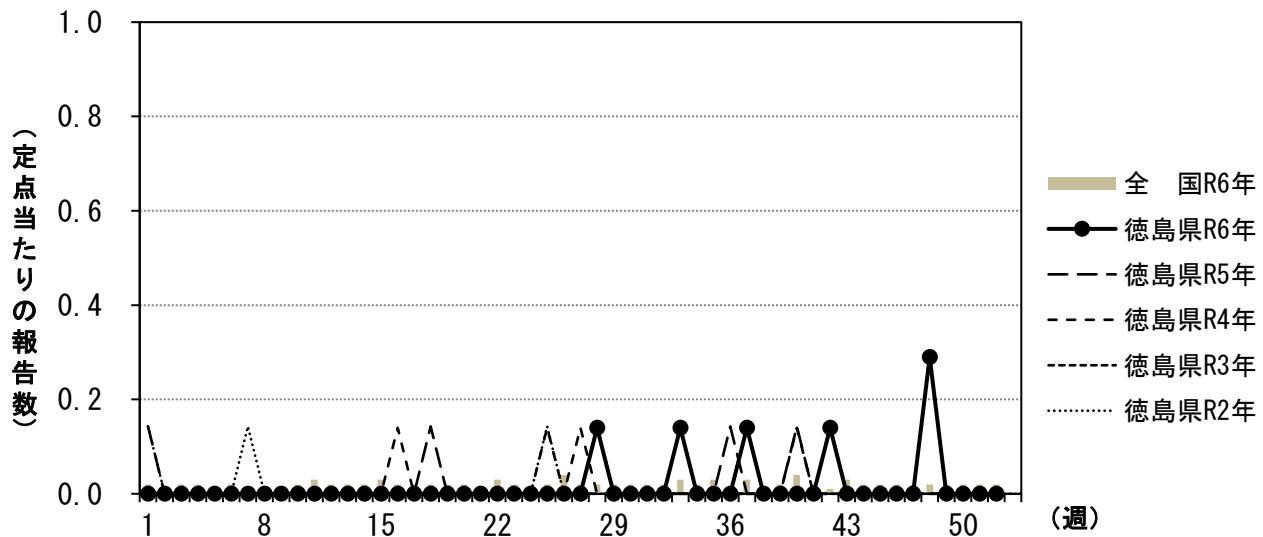
【流行性角結膜炎の週別患者報告状況】



⑯ 細菌性髄膜炎（髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く）

年間報告数は6人であった。過去5年間の報告数は、毎年1～5人で推移している。年齢別の内訳は、6か月未満1人、40歳代1人、50歳代1人、60歳代1人、70歳代2人であった。

【細菌性髄膜炎の週別患者報告状況】

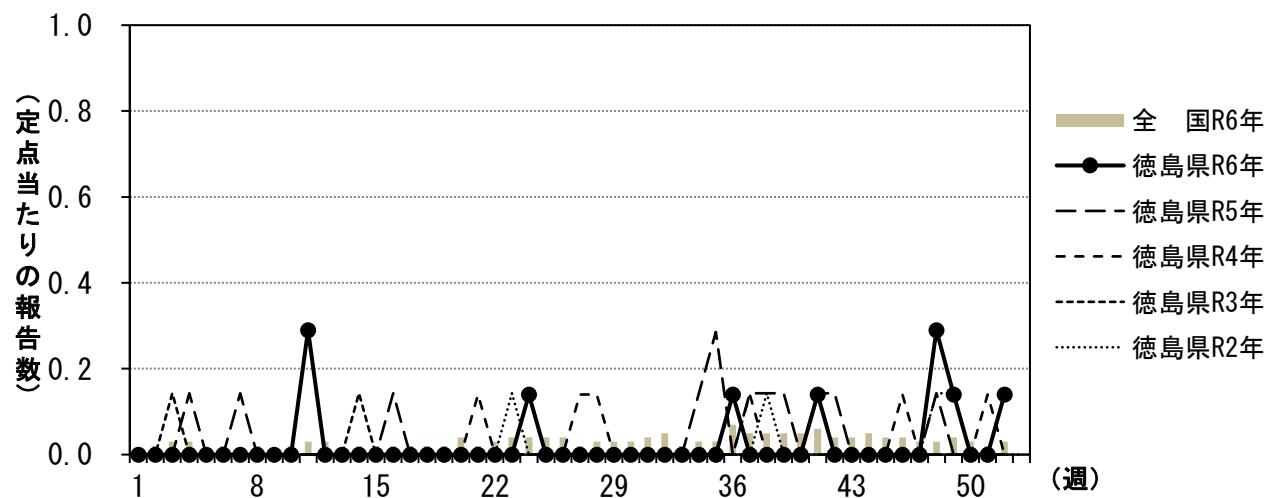


⑯ 無菌性髄膜炎

年間報告数は9人（前年12人）であり、過去10年間では、前年に次いで2番目に多い報告数であった。

年齢別報告数は、6か月未満1人、10歳代1人、20歳代2人、30歳代2人、40歳代3人であった。

【無菌性髄膜炎の週別患者報告状況】



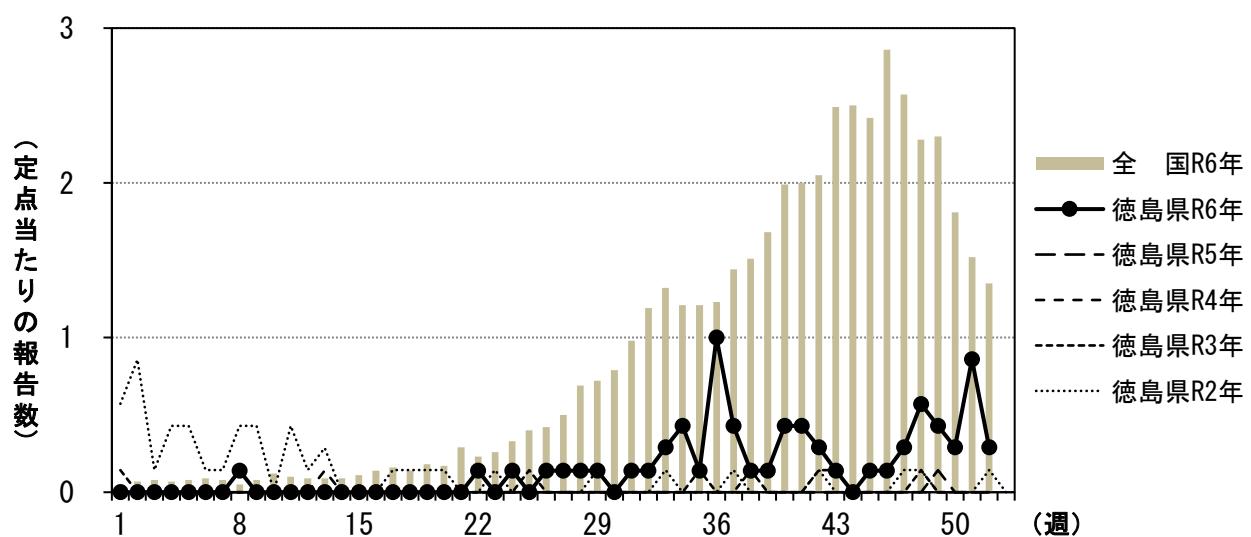
⑯ マイコプラズマ肺炎

年間報告数は 57 人であり、前年（1 人）から大きく増加した。本疾患は、年間を通して発生するが、秋から春にかけてやや多くなるとされる。令和元年から令和 2 年にかけて流行が見られたが、令和 3 年以降は目立ったピークはなく、低水準（0.14 人／定点以下）で推移していた。

本年は、5 月下旬（第 22 週）から報告が続き、第 36 週に 1.0 人／定点と最も多くなった。その後も、増減しながらも報告がやや多い状況が続いた。

年齢別報告数は、10 歳未満 20 人（35.1%）、10 歳代 16 人（28.1%）、20 歳代 8 人（14.0%）、30 歳代 6 人（10.5%）、40 歳代 2 人（3.5%）、70 歳以上 5 人（8.8%）であった。

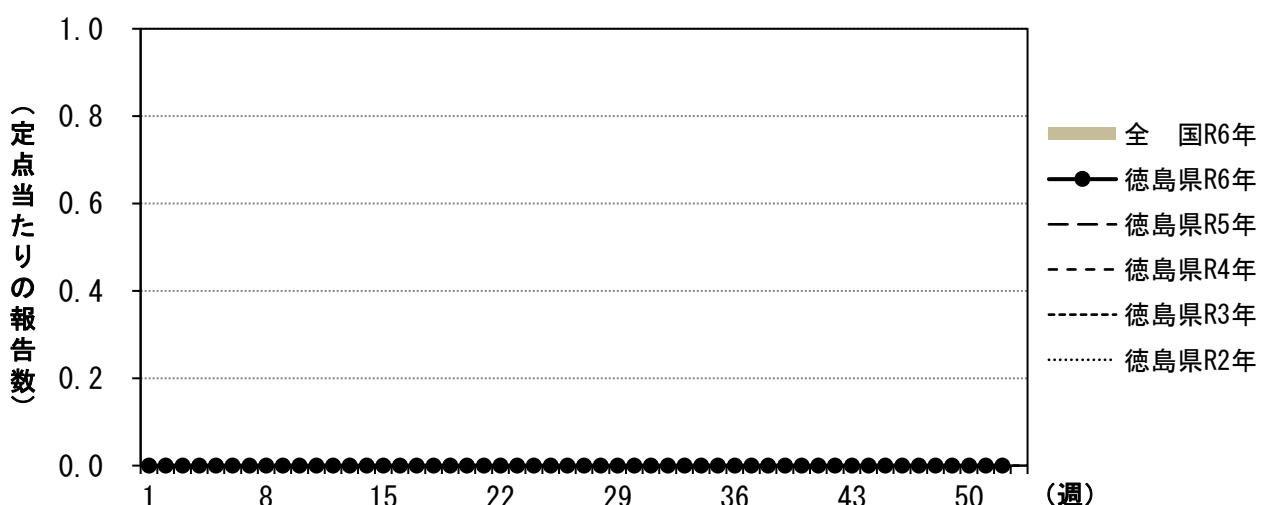
【マイコプラズマ肺炎の週別患者報告状況】



⑰ クラミジア肺炎（オウム病を除く）

前年に引き続き、本年も報告はなかった。

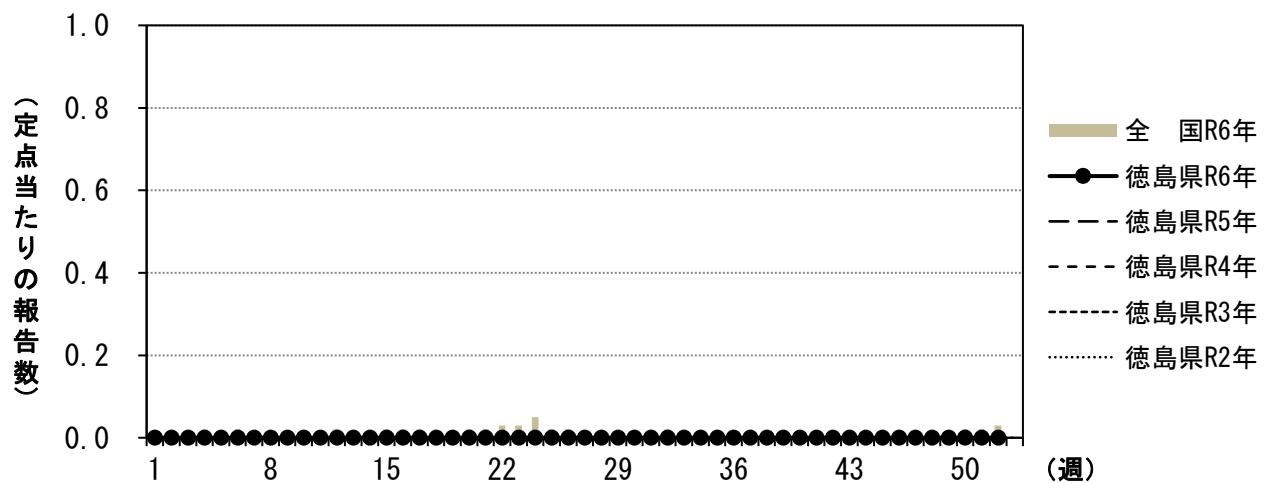
【クラミジア肺炎の週別患者報告状況】



⑯ 感染性胃腸炎（ロタウイルス）

前年に引き続き、本年も報告はなかった。

【感染性胃腸炎（ロタウイルス）の週別患者報告状況】



4. 定点把握対象感染症患者報告状況（月報）

（1）過去5年間の報告状況

疾患名	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
性器クラミジア感染症	255	274	260	286	241
性器ヘルペスウイルス感染症	178	177	117	147	152
尖圭コンジローマ	75	65	60	68	54
淋菌感染症	47	55	60	42	30
性感染症報告数 小計	555	571	497	543	477

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	269	209	252	253	254
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	2	-	1	1	1
薬剤耐性菌感染症報告数 小計	272	209	253	254	255

（2）性感染症患者報告状況

性感染症の総報告数は477人であり、前年（543人）から減少した。性別では、男性287人（前年371人）、女性190人（前年172人）であり、男性は減少したが、女性は増加した。

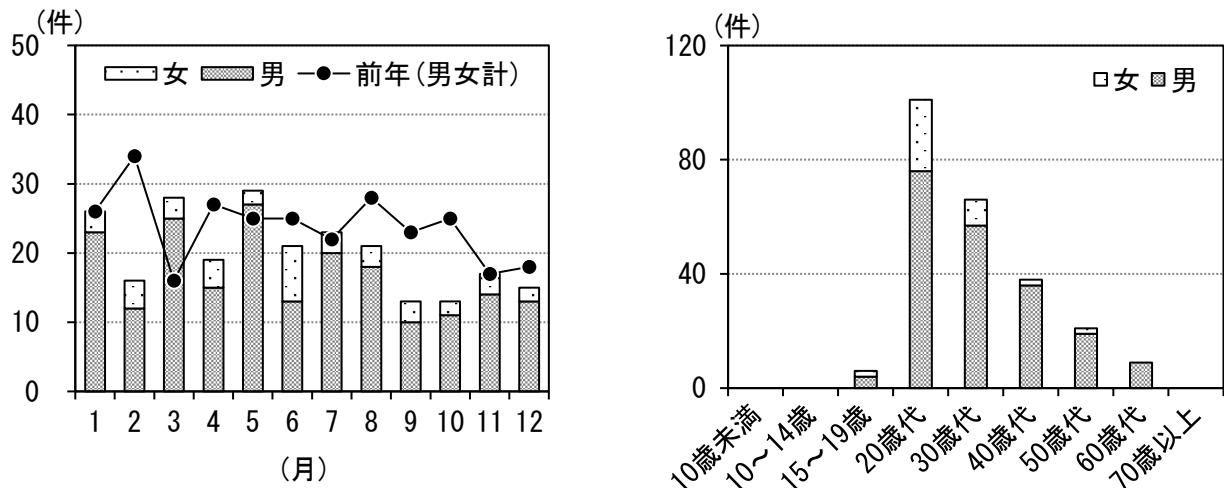
疾患別では、性器クラミジア感染症（50.5%）が約半数を占め、次いで性器ヘルペスウイルス感染症（31.9%）、尖圭コンジローマ（11.3%）、淋菌感染症（6.3%）の順に多かった。

① 性器クラミジア感染症

年間報告数は241人であり、前年（286人）から減少した。男性は201人（前年253人）と減少し、全体の約83%を占めた。一方、女性は40人（前年33人）と増加した。

月別報告数では、男性は5月が最多で27人、9月が最少で10人であった。女性では6月が最多で8人であった。年齢別報告数では、10歳代2.5%、20歳代41.9%、30歳代27.4%、40歳代15.8%、50歳以上12.4%であり、20歳代からの報告が最多であった。

【性器クラミジア感染症の月別患者報告数と年齢別患者報告数】



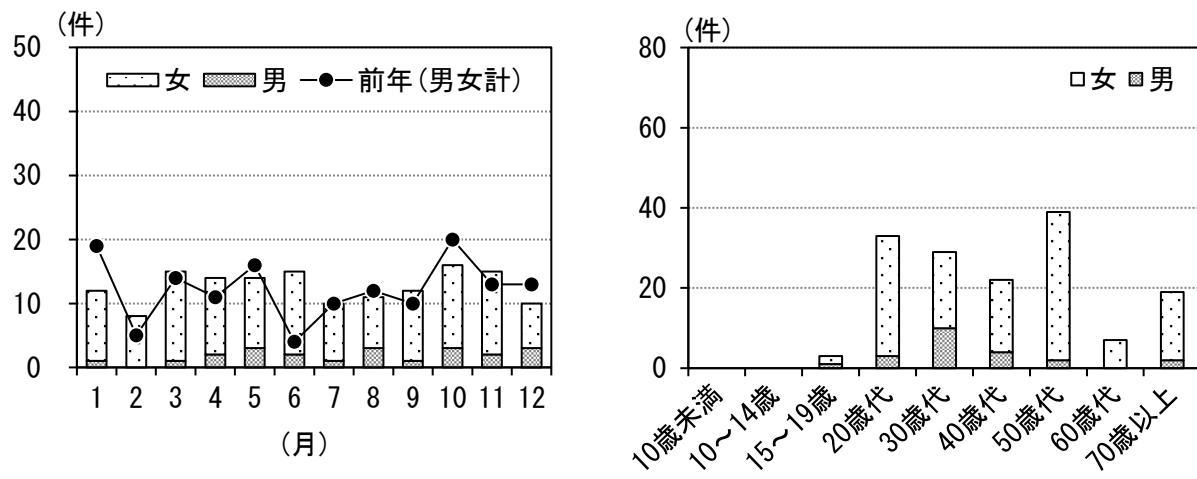
② 性器ヘルペスウイルス感染症

年間報告数は152人（前年147人）とわずかに増加した。性別内訳は男性22人（前年19人）、女性130人（前年128人）であった。性感染症全体では男性の報告数が多いが、本疾患は女性が全体の約86%を占めており、他の疾患に比べ女性の割合が高いのが特徴である。

月別報告数では、月ごとの増減はあったものの季節性は認められず、年間を通じて発生した。

年齢別報告数は、10歳代2.0%、20歳代21.7%、30歳代19.1%、40歳代14.5%、50歳代25.7%、60歳代4.6%、70歳以上12.5%であった。20～50歳代が全体の約8割を占め、この層を中心に幅広い年齢層で発生した。

【性器ヘルペスウイルス感染症の月別患者報告数と年齢別患者報告数】

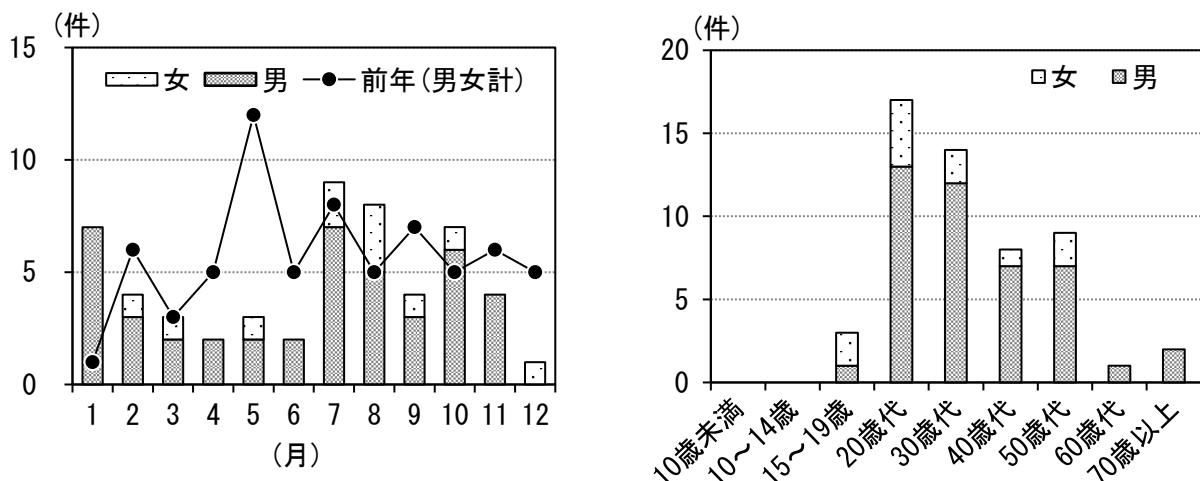


③ 尖圭コンジローマ

年間報告数は54人と、前年（68人）から減少した。性別では、男性が43人と前年（61人）から減少し、女性は11人と前年（7人）から増加した。

年齢別報告数では、10歳代5.6%、20歳代31.5%、30歳代25.9%、40歳代14.8%、50歳代16.7%、60歳代1.9%、70歳以上3.7%と、20～50歳代からの報告が多かった。

【尖圭コンジローマの月別患者報告数と年齢別患者報告数】

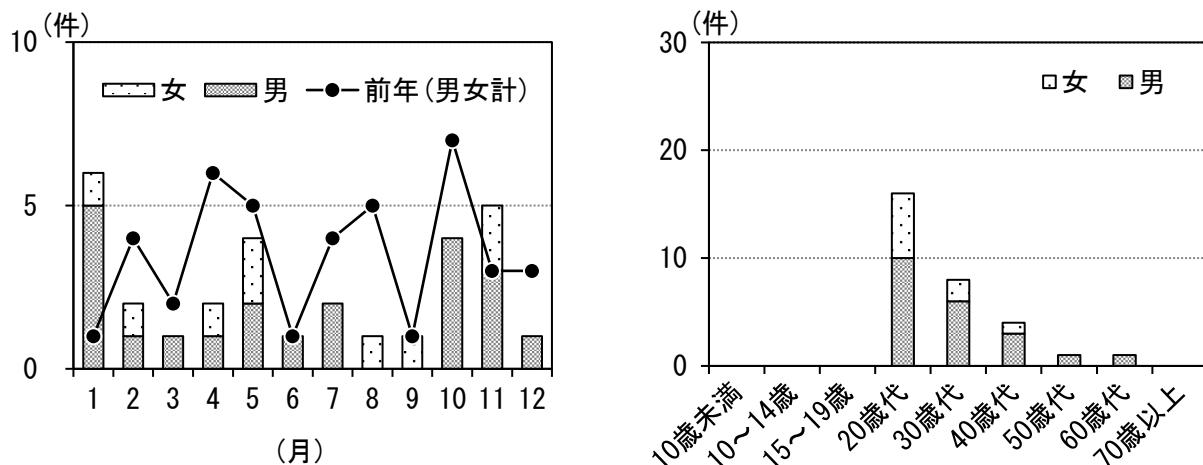


④ 淋菌感染症

年間報告数は30人で、前年（42人）から減少した。性別内訳では、男性21人（前年38人）、女性9人（前年4人）であり、性器クラミジアや尖圭コンジローマと同様に、男性が全体の70%を占めた。

年齢別報告数では、20歳代が53.3%と最も多く、次いで30歳代26.7%、40歳代13.3%、50歳代3.3%、60歳代3.3%の順であった。特に20歳代と30歳代で全体の8割を占めている。

【淋菌感染症の月別患者報告数と年齢別患者報告数】



(3) 薬剤耐性菌感染症患者報告状況

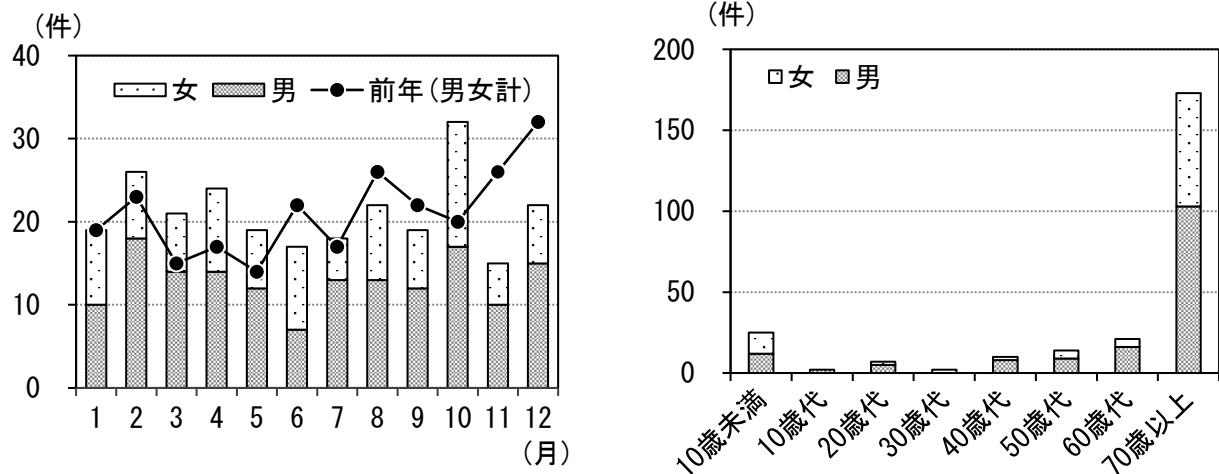
薬剤耐性菌感染症の総報告数は255人で、前年（254人）と同程度であった。疾患別では、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が99.6%と大部分を占めた。

① メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

年間報告数は254人で、前年（253人）と同程度であった。性別では、男性155人（前年145人）、女性99人（前年108人）と、男性が多かった。月別では、月による増減はみられたものの明確な季節性は認められず、年間を通じて発生がみられた。

年齢別報告数は、10歳未満9.8%、10歳代0.8%、20歳代2.8%、30歳代0.8%、40歳代3.9%、50歳代5.5%、60歳代8.3%、70歳以上68.1%であり、70歳以上が全体の約7割を占め最多であった。

【メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の月別患者報告数と年齢別患者報告数】



② ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

前年に引き続き、本年も報告はなかった。なお、過去5年間の報告数は0～3人で推移している。

③ 菌剤耐性緑膿菌感染症

年間報告数は1人（前年1人）であった。報告された1人は、70歳以上であった。なお、過去5年間の報告数は0～3人で推移している。

5. 病原体検査検出結果

(1) ウイルス検査結果

ア 四類感染症の病原体

【ダニ媒介感染症（日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群（SFTS））】

県内医療機関から、日本紅斑熱等のダニ媒介感染症疑いとして搬入された患者検体 29 例（日本紅斑熱 21 例 42 検体、SFTS 8 例 8 検体）について検査を実施した。日本紅斑熱疑い 21 例のうち、遺伝子検査を行った 13 例中 7 例から *Rickettsia japonica* 遺伝子が検出された。また、抗体検査を行った 8 例中 1 例から IgM 抗体及び IgG 抗体の上昇が認められた。一方、SFTS 疑い患者 8 例については遺伝子検査を実施したが、いずれも陰性であった。

【蚊媒介感染症（デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症）】

県内医療機関からデング熱等の蚊媒介感染症疑いとして搬入された患者 1 例（2 検体）について検査を実施したが、デングウイルス遺伝子、チクングニアウイルス遺伝子、ジカウイルス遺伝子、デングウイルス NS1 抗原、抗デングウイルス IgG/IgM 抗体はいずれも検出されなかった。

イ 五類感染症（全数把握対象）の病原体

【麻しん・風しん】

県内医療機関から麻しん又は風しん疑いとして搬入された患者 10 例（29 検体）について遺伝子検査を実施したが、麻しんウイルス遺伝子及び風しんウイルス遺伝子はいずれも検出されなかった。

【後天性免疫不全症候群（HIV）】

県内保健所の迅速検査で陽性又は判定保留となり、当センターに搬入された 1 検体について抗体検査を実施したが、HIV-1 抗体及び HIV-2 抗体はいずれも検出されなかった。

【梅毒】

搬入された患者 154 件について抗体検査を実施した結果、RPR 法で 2 例が陽性、TPPA 法で 8 例が陽性、1 例が判定保留であった。

【急性脳炎】

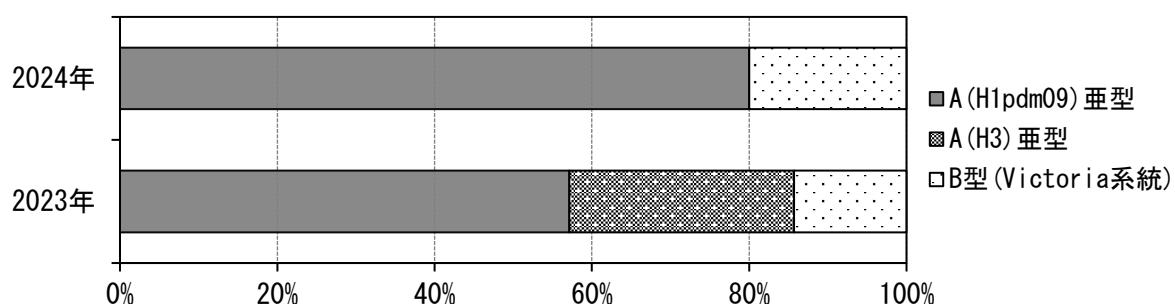
県内医療機関から急性脳炎として搬入された患者 2 例（6 検体）について遺伝子検査を実施した結果、1 例から単純ヘルペスウイルス 1 型が、別の 1 例から EB ウィルスが検出された。

ウ 五類感染症（定点把握対象）の病原体（病原体定点医療機関からの搬入検体）

【インフルエンザ】

インフルエンザと診断された 5 検体について遺伝子検査を実施した。その結果、B 型（Victoria 系統）が 1 件、A（H1pdm09）亜型が 4 件検出された。

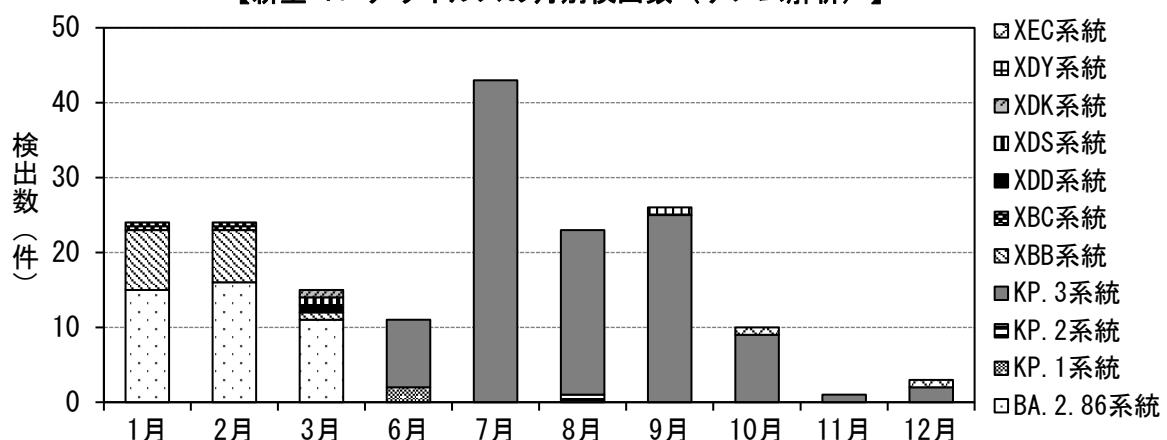
【インフルエンザウイルスの型別検出状況】



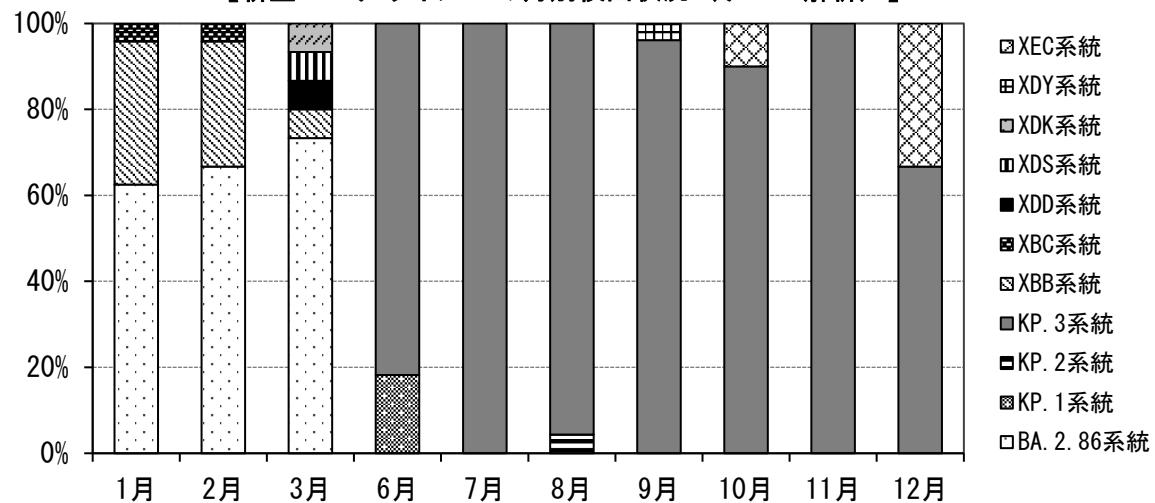
【新型コロナウイルス感染症】

新型コロナウイルス感染症と診断された 352 検体について遺伝子検査を実施した結果、新型コロナウイルスが 341 件検出された。このうちゲノム解析が可能であった 180 件の内訳は、オミクロン株が 156 件、組換株が 24 件であり、オミクロン株が約 87%と大部分を占めた。また、オミクロン株 (156 件) のうち KP.3 系統が約 71%を占め、組換株 (24 件) では XBB 系統が約 67%を占めた。

【新型コロナウイルスの月別検出数（ゲノム解析）】



【新型コロナウイルスの月別検出状況（ゲノム解析）】



【感染性胃腸炎】

感染性胃腸炎と診断された 3 検体について遺伝子検査を実施した。その結果、ライノウイルスが 2 件、ヒトパレコウイルス 1 型が 1 件検出された。

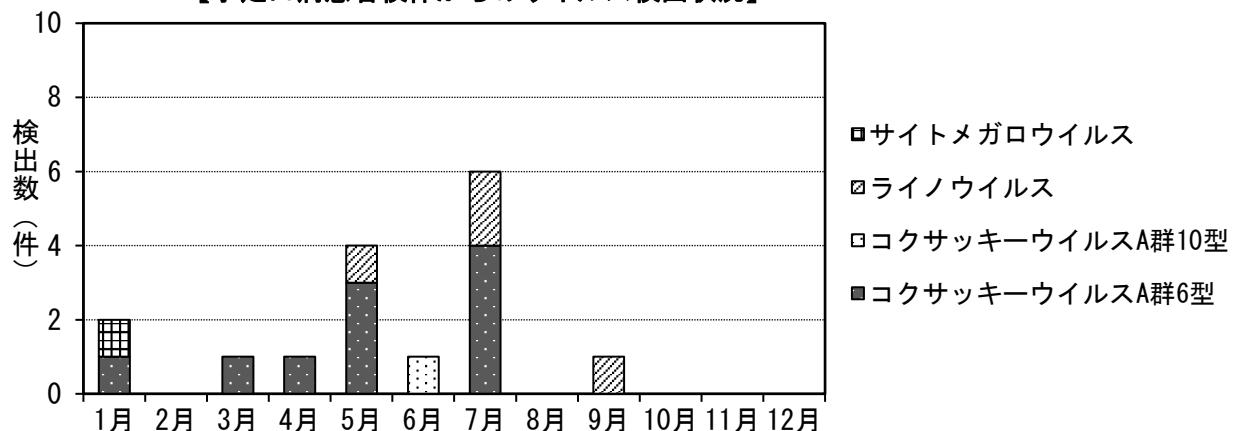
【水痘】

水痘と診断された 1 検体について遺伝子検査を実施したが、水痘・帯状疱疹ウイルスは検出されなかった。

【手足口病】

手足口病と診断された 13 検体について遺伝子検査を実施した。検出されたウイルスの内訳は、コクサッキーウイルス A 群 6 型が 10 件、コクサッキーウイルス A 群 10 型が 1 件、ライノウイルスが 4 件、サイトメガロウイルスが 1 件であった（重複検出を含む）。

【手足口病患者検体からのウイルス検出状況】



【伝染性紅斑】

伝染性紅斑と診断された 3 検体について遺伝子検査を実施したが、ヒトパルボウイルス B19 は検出されなかった。

【流行性耳下腺炎】

流行性耳下腺炎と診断された 4 検体について遺伝子検査を実施した。その結果、ヒトヘルペスウイルス 6B 型が 1 件、ヒトヘルペスウイルス 7 型が 2 件、パラインフルエンザウイルス 3 型が 1 件、EB ウィルスが 1 件検出された（重複検出を含む）。

【無菌性髄膜炎】

無菌性髄膜炎と診断された 15 検体について遺伝子検査を実施した。その結果、サイトメガロウイルスが 1 件、単純ヘルペスウイルス 1 型が 1 件検出された。

【インフルエンザ様疾患】

インフルエンザ様疾患と診断された 7 検体について遺伝子検査を実施した。その結果、アデノウイルス 3 型が 1 件、ライノウイルスが 2 件、ヒトヘルペスウイルス 7 型が 1 件、ヒトパレコウイルス 6 型が 2 件検出された（重複検出を含む）。

【不明発しん症】

不明発しん症と診断された 6 検体について遺伝子検査を実施した。その結果、ヒトヘルペスウイルス 6B 型が 2 件、ライノウイルス及びサイトメガロウイルスが 1 件ずつ検出された（重複検出を含む）。

【その他】

その他の感染症と診断された 18 検体について遺伝子検査を実施した。その結果、ライノウイルスが 8 件、サイトメガロウイルスが 3 件、EB ウィルスが 2 件、ヒトメタニューモウイルスが 2 件、パラインフルエンザウイルス 1 型が 1 件、パラインフルエンザウイルス 3 型が 2 件、RS ウィルス B 型が 1 件、インフルエンザウイルス B 型（Victoria 系統）が 1 件、ヒトパレコウイルス 1 型が 1 件、ヒトパレコウイルス 6 型が 1 件検出された（重複検出を含む）。

(2) 細菌検査結果

ア 三類感染症の病原体

【腸管出血性大腸菌感染症】

県内で腸管出血性大腸菌感染症として届出がされ搬入された菌株 19 株について、分離菌株の確認検査や Multiple-locus variable-number tandem repeat analysis (MLVA) 法による遺伝子型別を実施した。

No.	診断月	管轄保健所	血清型	VT 型別	MLVAtype ¹⁾	疫学情報など
1	2月	徳島	0157:H7	VT1/VT2	24m0041 (23c017)	(県外株と集積あり)
2	5月	吉野川	0111:H-/Hg8	VT1	24m3017	
3	6月	徳島	0157:H7	VT2	23m0079	
4	7月	徳島	0111:H8	VT1	24m3025	
5	7月	徳島	0111:H8	VT1	24m3025	N0. 4 の接触者
6	7月	徳島	0157:H7	VT1/VT2	24m0320	
7	7月	徳島	0103:H2	VT1	24m4018	
8	8月	吉野川	0111:H-/Hg8	VT1/VT2	24m3035	(県外株と集積あり)
9	8月	徳島	0157:H7	VT2	24m0321	
10	8月	吉野川	0157:H7	VT2	24m0322	(県外株と集積あり)
11	8月	吉野川	0157:H7	VT2	24m0323	N0. 10 の接触者
12	8月	徳島	0157:H-	VT1/VT2	24m0307	
13	8月	徳島	0157:H7	VT2	22m0163	(県外株と集積あり)
14	8月	徳島	0157:H-	VT1/VT2	24m0307	
15	9月	阿南	0157:H-	VT1/VT2	24m0307	N0. 14 の接触者
16	9月	徳島	0121:H19	VT2	19m5007	
17	9月	徳島	0157:H7	VT1/VT2	24m0579	(県外株と集積あり)
18	10月	美波	0103:H-/Hg2	VT1	17m4006	
19	10月	徳島	0111:H-/Hg8	VT1	24m3066 (24c304)	(県外株と集積あり)

1) 国立感染症研究所により 17 種類の遺伝子座のリピート数で決定。番号が近いものが必ずしも似ているとは限らない。

イ 五類感染症（全数把握対象）の病原体

【カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症】

患者由来株 10 株が搬入された。菌株の内訳は、*Klebsiella aerogenes* 4 株、*Escherichia coli* 3 株、その他 3 株であった。PCR 法による β-ラクタマーゼ遺伝子の検出を実施した結果、IMP 型遺伝子を保有していた株が 3 株あった。一方、検査対象としたいずれの耐性遺伝子も保有しない株は 7 株であった。

【劇症型溶血性レンサ球菌感染症】

患者由来株 7 株が搬入され、Lancefield 分類による群別を行ったところ、A 群が 4 株、G 群が 3 株であった。A 群は、すべて *Streptococcus pyogenes* であり、G 群は *Streptococcus dysgalactiae* ssp. *equisimilis* (SDSE) であった。*S. pyogenes* の T 血清型別では、1 型が 2 株、12 型が 1 株、型別不能が 1 株であった。*S. pyogenes* 及び SDSE について、M タンパク又は M 様タンパクをコードする遺伝子により行う *emm*

型別では、*S. pyogenes* は、*emm* 1 型が 2 株、*emm* 12 型が 1 株、*emm* 49 型が 1 株であった。このうち *emm* 1 型 2 株は、M1_{UK} 株であった。SDSE では、stG485 型が 2 株、stG245 型が 1 株であった。

令和6年 臨床診断名別病原体検出状況

検出病原体		インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	インフルエンザ様疾患	不明発疹症	脳炎・脳症	その他	計
インフルエンザウイルス	A(H1pdm09)	4																4
	B(Victoria系統)	1																1 2
パラインフルエンザウイルス	1																	1 1
	3										1							2 3
ヒトメタニューモウイルス																		2 2
RSウイルス																		1 1
ライノウイルス					2		4								2	1		8 17
コクサッキーウイルスA群	6						10											10
	10						1											1
ヒトパレコウイルス	1				1													1 2
	6												2					1 3
アデノウイルス	3												1					1
単純ヘルペスウイルス	1												1					2
EBウイルス											1							1 2 4
サイトメガロウイルス							1						1		1			3 6
ヒトヘルペスウイルス	6										1					2		3
	7										2			1				3
合計		5			3		16				5		2	6	4	2	22	65

令和6年 月別病原体検出状況

検出病原体		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
インフルエンザウイルス	A(H1pdm09)							1		1		2		4
	B(Victoria系統)		1		1									2
パラインフルエンザウイルス	1					1								1
	3				1	1	1							3
ヒトメタニューモウイルス		1												1 2
RSウイルス					1									1
ライノウイルス		1		1	1	3		3	4	3				1 17
コクサッキーウイルスA群	6	1		1	1	3		4						10
	10						1							1
ヒトパレコウイルス	1								1		1			2
	6						1	1	1					3
アデノウイルス	3	1												1
単純ヘルペスウイルス	1					1	1							2
EBウイルス				1					2	1				4
サイトメガロウイルス		1			2	1			1				1	6
ヒトヘルペスウイルス	6	1		1	1									3
	7				1		2							3
合計		6	1	4	10	10	5	11	8	4	1	2	3	65

6. 資料

(1) 全数把握対象疾患の患者数

付表1：令和6年 全数把握対象疾患の月別患者数

付表2：令和6年 全数把握対象疾患の保健所別患者数

(2) 定点把握対象疾患（週報）の患者数

付表3：令和6年 定点把握対象疾患（週）の週別患者報告数

付表4：令和6年 定点把握対象疾患（週）の週別定点あたり患者報告数

付表5：令和6年 定点把握対象疾患（週）の保健所別患者報告数

付表6：令和6年 定点把握対象疾患（週）の保健所別定点あたり患者報告数

付表7：令和6年 定点把握対象疾患（週）の年齢階級別報告数

(3) 定点把握対象疾患（月報）の患者数

付表8：令和6年 定点把握対象疾患（月）の月別患者報告数

付表9：令和6年 定点把握対象疾患（月）の年齢階級・性別報告数

(4) 警報・注意報発生システムについて

付表1：令和6年 全数把握対象疾患の月別患者数

類型	疾患名 ／ 保健所名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計	前年
二類	結核	7	3	12	8	10	14	9	7	15	10	12	10	117	80
三類	腸管出血性大腸菌感染症		1		1	1	4	6	4	1	1			19	11
四類	A型肝炎							1						1	0
	日本紅斑熱								1	3	3	1		8	7
	レジオネラ症	3		1		4	2	4		5	2	2		23	14
五類	アメーバ赤痢						1	1					1	3	1
	ウイルス性肝炎（E型、A型を除く）	1												1	2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		2		1	1	1	1				3	1	10	1
	急性脳炎			1		1			2				1	5	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病												1	1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2			1	2	2						8	5
	後天性免疫不全症候群	1				1	1					2		5	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	1			1				3	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	1	1	1	2		2			2	1		13	2
	梅毒	3	1	7	5	9	6	9	4	9	6	4	4	67	78
	播種性クリプトコックス症		2			1			1		1			5	0
	百日咳	1	0	1	4	2	0	0	11	19	3	1	0	42	78

付表2：令和6年 全数把握対象疾患の保健所別患者数

類型	疾患名 ／ 保健所名	徳島	阿南	美波	吉野川	美馬	三好	総計
二類	結核	88	8	2	8	5	6	117
三類	腸管出血性大腸菌感染症	13	1	1	4			19
四類	A型肝炎	1						1
	日本紅斑熱	1	5	1			1	8
	レジオネラ症	8	8		6	1		23
五類	アメーバ赤痢	2			1			3
	ウイルス性肝炎（E型、A型を除く）	1						1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	6			3		1	10
	急性脳炎	3	1				1	5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1						1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8						8
	後天性免疫不全症候群	3	1				1	5
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3						3
	侵襲性肺炎球菌感染症	11	1	1				13
	梅毒	59	4			1	3	67
	播種性クリプトコックス症	4		1				5
	百日咳	41			1			42

付表3：令和6年 定点把握対象疾患（週）の週別患者報告数

週	期間	インフルエンザ ／新型コロナウイルス感染症定点		小児科定点									突発性発しん
		インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑			
1	1/1～	503	346	-	37	19	86	-	8	-	-	3	
2	1/8～	492	437	1	17	27	85	-	2	-	-	4	
3	1/15～	576	563	-	29	44	178	1	1	-	-	4	
4	1/22～	617	604	-	20	26	141	-	11	-	-	7	
5	1/29～	610	563	-	15	57	128	2	14	-	-	6	
6	2/5～	496	539	1	18	60	137	1	7	-	-	4	
7	2/12～	510	402	2	9	51	113	2	8	1	1	6	
8	2/19～	433	320	4	13	42	98	1	14	1	1	7	
9	2/26～	412	241	1	13	55	100	4	18	-	-	1	
10	3/4～	510	244	2	8	55	102	3	24	-	-	8	
11	3/11～	565	185	-	10	54	85	2	21	1	1	6	
12	3/18～	479	164	6	6	40	103	1	12	-	-	6	
13	3/25～	396	198	8	14	38	90	2	19	-	-	7	
14	4/1～	180	176	35	8	39	66	2	28	-	-	8	
15	4/8～	80	115	37	6	31	70	5	24	-	-	7	
16	4/15～	46	115	33	5	40	65	2	27	-	-	8	
17	4/22～	32	67	27	4	56	76	8	42	-	-	11	
18	4/29～	8	48	27	1	37	29	1	47	-	-	8	
19	5/6～	13	68	28	6	35	78	7	48	-	-	5	
20	5/13～	6	90	21	6	44	104	6	50	-	-	6	
21	5/20～	4	111	31	8	47	83	3	89	1	1	8	
22	5/27～	4	130	32	14	32	86	9	133	-	-	7	
23	6/3～	3	141	33	14	48	94	6	155	-	-	8	
24	6/10～	1	158	30	10	48	84	8	146	-	-	8	
25	6/17～	5	165	39	7	37	83	2	178	-	-	7	
26	6/24～	4	209	44	9	31	77	2	243	-	-	5	
27	7/1～	4	338	53	7	22	77	2	356	2	2	6	
28	7/8～	8	554	76	7	33	62	4	375	-	-	4	
29	7/15～	1	622	56	9	15	58	1	272	-	-	10	
30	7/22～	3	740	99	9	12	52	-	258	-	-	9	
31	7/29～	3	634	111	6	35	76	4	178	1	1	6	
32	8/5～	19	510	76	3	30	73	2	142	-	-	6	
33	8/12～	11	318	44	5	16	38	1	59	-	-	3	
34	8/19～	7	413	24	6	21	73	1	40	-	-	7	
35	8/26～	2	322	11	4	22	78	-	26	-	-	8	
36	9/2～	18	285	26	1	18	60	2	55	-	-	11	
37	9/9～	10	253	24	2	18	66	-	51	-	-	9	
38	9/16～	3	186	13	3	12	76	1	43	-	-	8	
39	9/23～	4	115	13	2	14	83	1	34	3	3	7	
40	9/30～	6	95	11	3	6	120	-	27	-	-	10	
41	10/7～	9	73	16	1	15	118	3	39	-	-	7	
42	10/14～	7	28	10	3	4	111	1	31	-	-	6	
43	10/21～	6	33	1	1	6	119	2	41	1	1	7	
44	10/28～	5	22	2	2	10	117	4	45	1	1	9	
45	11/4～	10	22	5	1	6	102	-	32	1	1	3	
46	11/11～	38	31	3	3	10	117	-	33	-	-	6	
47	11/18～	44	36	4	6	10	87	1	22	4	4	5	
48	11/25～	84	60	4	7	16	103	6	26	3	3	8	
49	12/2～	186	76	5	4	22	113	2	23	4	4	5	
50	12/9～	494	121	3	6	15	105	5	14	5	5	11	
51	12/16～	1,065	246	6	9	12	92	1	9	12	8	8	
52	12/23～	2,048	297	5	7	13	83	3	8	2	2	3	
合計		11,080	12,829	1,143	424	1,506	4,700	127	3,608	43	347		
男性		5,915	6,064	606	239	808	2,546	68	2,023	21	178		
女性		5,165	6,765	537	185	698	2,154	59	1,585	22	169		

週	期間	小児科定点		眼科定点		基幹定点				
		ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性結膜炎	無菌性結膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(口感染性胃腸炎) ウイルス
1	1/1~	2	-	-	1	-	-	-	-	-
2	1/8~	1	-	-	2	-	-	-	-	-
3	1/15~	-	-	-	1	-	-	-	-	-
4	1/22~	-	-	-	1	-	-	-	-	-
5	1/29~	-	1	-	-	-	-	-	-	-
6	2/5~	-	-	-	3	-	-	-	-	-
7	2/12~	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	2/19~	3	-	-	-	-	-	1	-	-
9	2/26~	1	-	-	1	-	-	-	-	-
10	3/4~	4	-	-	-	-	-	-	-	-
11	3/11~	5	1	-	-	-	2	-	-	-
12	3/18~	1	2	-	-	-	-	-	-	-
13	3/25~	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	4/1~	1	-	-	1	-	-	-	-	-
15	4/8~	3	-	-	-	-	-	-	-	-
16	4/15~	4	-	-	1	-	-	-	-	-
17	4/22~	1	2	-	-	-	-	-	-	-
18	4/29~	1	-	-	1	-	-	-	-	-
19	5/6~	2	-	-	-	-	-	-	-	-
20	5/13~	4	-	-	-	-	-	-	-	-
21	5/20~	7	-	-	-	-	-	-	-	-
22	5/27~	13	1	-	-	-	-	1	-	-
23	6/3~	8	-	-	-	-	-	-	-	-
24	6/10~	16	-	-	-	-	1	1	-	-
25	6/17~	14	-	-	-	-	-	-	-	-
26	6/24~	27	2	-	-	-	-	1	-	-
27	7/1~	26	-	-	-	-	-	1	-	-
28	7/8~	17	-	-	-	1	-	1	-	-
29	7/15~	19	-	-	-	-	-	1	-	-
30	7/22~	9	-	-	-	-	-	-	-	-
31	7/29~	9	-	-	-	-	-	1	-	-
32	8/5~	5	-	-	-	-	-	1	-	-
33	8/12~	12	-	-	-	1	-	2	-	-
34	8/19~	5	-	-	-	-	-	3	-	-
35	8/26~	7	-	1	-	-	-	1	-	-
36	9/2~	13	-	-	1	-	1	7	-	-
37	9/9~	6	-	-	-	1	-	3	-	-
38	9/16~	4	-	-	-	-	-	1	-	-
39	9/23~	4	1	-	-	-	-	1	-	-
40	9/30~	4	-	-	-	-	-	3	-	-
41	10/7~	7	-	-	-	-	-	1	3	-
42	10/14~	5	1	-	-	1	-	2	-	-
43	10/21~	4	-	-	-	-	-	1	-	-
44	10/28~	4	-	-	-	-	-	-	-	-
45	11/4~	4	1	-	-	-	-	1	-	-
46	11/11~	5	-	-	-	-	-	1	-	-
47	11/18~	1	-	-	1	-	-	2	-	-
48	11/25~	3	-	-	-	2	2	4	-	-
49	12/2~	10	1	1	-	-	1	3	-	-
50	12/9~	-	-	-	-	-	-	2	-	-
51	12/16~	2	-	-	-	-	-	6	-	-
52	12/23~	-	-	2	1	-	1	2	-	-
合計		303	13	4	15	6	9	57	-	-
男性		159	10	2	5	4	5	28	-	-
女性		144	3	2	10	2	4	29	-	-

付表4：令和6年 定点把握対象疾患（週）の週別定点あたり患者報告数

週	期間	インフルエンザ ／新型コロナウイルス感染症定点		小児科定点							
		インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん
1	1/1～	13.59	9.35	—	1.61	0.83	3.74	—	0.35	—	0.13
2	1/8～	13.30	11.81	0.04	0.74	1.17	3.70	—	0.09	—	0.17
3	1/15～	15.57	15.22	—	1.26	1.91	7.74	0.04	0.04	—	0.17
4	1/22～	16.68	16.32	—	0.87	1.13	6.13	—	0.48	—	0.30
5	1/29～	16.49	15.22	—	0.65	2.48	5.57	0.09	0.61	—	0.26
6	2/5～	13.41	14.57	0.04	0.78	2.61	5.96	0.04	0.30	—	0.17
7	2/12～	13.78	10.86	0.09	0.39	2.22	4.91	0.09	0.35	0.04	0.26
8	2/19～	11.70	8.65	0.17	0.57	1.83	4.26	0.04	0.61	0.04	0.30
9	2/26～	11.14	6.51	0.04	0.57	2.39	4.35	0.17	0.78	—	0.04
10	3/4～	13.78	6.59	0.09	0.35	2.39	4.43	0.13	1.04	—	0.35
11	3/11～	15.27	5.00	—	0.43	2.35	3.70	0.09	0.91	0.04	0.26
12	3/18～	12.95	4.43	0.26	0.26	1.74	4.48	0.04	0.52	—	0.26
13	3/25～	10.70	5.35	0.35	0.61	1.65	3.91	0.09	0.83	—	0.30
14	4/1～	4.86	4.76	1.52	0.35	1.70	2.87	0.09	1.22	—	0.35
15	4/8～	2.16	3.11	1.61	0.26	1.35	3.04	0.22	1.04	—	0.30
16	4/15～	1.24	3.11	1.43	0.22	1.74	2.83	0.09	1.17	—	0.35
17	4/22～	0.86	1.81	1.17	0.17	2.43	3.30	0.35	1.83	—	0.48
18	4/29～	0.22	1.30	1.17	0.04	1.61	1.26	0.04	2.04	—	0.35
19	5/6～	0.35	1.84	1.22	0.26	1.52	3.39	0.30	2.09	—	0.22
20	5/13～	0.16	2.43	0.91	0.26	1.91	4.52	0.26	2.17	—	0.26
21	5/20～	0.11	3.00	1.35	0.35	2.04	3.61	0.13	3.87	0.04	0.35
22	5/27～	0.11	3.51	1.39	0.61	1.39	3.74	0.39	5.78	—	0.30
23	6/3～	0.08	3.81	1.43	0.61	2.09	4.09	0.26	6.74	—	0.35
24	6/10～	0.03	4.27	1.30	0.43	2.09	3.65	0.35	6.35	—	0.35
25	6/17～	0.14	4.46	1.70	0.30	1.61	3.61	0.09	7.74	—	0.30
26	6/24～	0.11	5.65	1.91	0.39	1.35	3.35	0.09	10.57	—	0.22
27	7/1～	0.11	9.14	2.30	0.30	0.96	3.35	0.09	15.48	0.09	0.26
28	7/8～	0.22	14.97	3.30	0.30	1.43	2.70	0.17	16.30	—	0.17
29	7/15～	0.03	16.81	2.43	0.39	0.65	2.52	0.04	11.83	—	0.43
30	7/22～	0.08	20.00	4.30	0.39	0.52	2.26	—	11.22	—	0.39
31	7/29～	0.08	17.14	4.83	0.26	1.52	3.30	0.17	7.74	0.04	0.26
32	8/5～	0.51	13.78	3.30	0.13	1.30	3.17	0.09	6.17	—	0.26
33	8/12～	0.30	8.59	1.91	0.22	0.70	1.65	0.04	2.57	—	0.13
34	8/19～	0.19	11.16	1.04	0.26	0.91	3.17	0.04	1.74	—	0.30
35	8/26～	0.05	8.70	0.48	0.17	0.96	3.39	—	1.13	—	0.35
36	9/2～	0.49	7.70	1.13	0.04	0.78	2.61	0.09	2.39	—	0.48
37	9/9～	0.27	6.84	1.04	0.09	0.78	2.87	—	2.22	—	0.39
38	9/16～	0.08	5.03	0.57	0.13	0.52	3.30	0.04	1.87	—	0.35
39	9/23～	0.11	3.11	0.57	0.09	0.61	3.61	0.04	1.48	0.13	0.30
40	9/30～	0.16	2.57	0.48	0.13	0.26	5.22	—	1.17	—	0.43
41	10/7～	0.24	1.97	0.70	0.04	0.65	5.13	0.13	1.70	—	0.30
42	10/14～	0.19	0.76	0.43	0.13	0.17	4.83	0.04	1.35	—	0.26
43	10/21～	0.16	0.89	0.04	0.04	0.26	5.17	0.09	1.78	0.04	0.30
44	10/28～	0.14	0.59	0.09	0.09	0.43	5.09	0.17	1.96	0.04	0.39
45	11/4～	0.27	0.59	0.22	0.04	0.26	4.43	—	1.39	0.04	0.13
46	11/11～	1.03	0.84	0.13	0.13	0.43	5.09	—	1.43	—	0.26
47	11/18～	1.19	0.97	0.17	0.26	0.43	3.78	0.04	0.96	0.17	0.22
48	11/25～	2.27	1.62	0.17	0.30	0.70	4.48	0.26	1.13	0.13	0.35
49	12/2～	5.03	2.05	0.22	0.17	0.96	4.91	0.09	1.00	0.17	0.22
50	12/9～	13.35	3.27	0.13	0.26	0.65	4.57	0.22	0.61	0.22	0.48
51	12/16～	28.78	6.65	0.26	0.39	0.52	4.00	0.04	0.39	0.52	0.35
52	12/23～	55.35	8.03	0.22	0.30	0.57	3.61	0.13	0.35	0.09	0.13
合計		299.46	346.73	49.70	18.43	65.48	204.35	5.52	156.87	1.87	15.09

週	期間	小児科定点		眼科定点		基幹定点				
		ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性結膜炎	無菌性結膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(口感染性胃腸炎) (口タウイルス)
1	1/1~	0.09	-	-	0.25	-	-	-	-	-
2	1/8~	0.04	-	-	0.50	-	-	-	-	-
3	1/15~	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-
4	1/22~	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-
5	1/29~	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-
6	2/5~	-	-	-	0.75	-	-	-	-	-
7	2/12~	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	2/19~	0.13	-	-	-	-	-	0.14	-	-
9	2/26~	0.04	-	-	0.25	-	-	-	-	-
10	3/4~	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-
11	3/11~	0.22	0.04	-	-	-	0.29	-	-	-
12	3/18~	0.04	0.09	-	-	-	-	-	-	-
13	3/25~	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	4/1~	0.04	-	-	0.25	-	-	-	-	-
15	4/8~	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
16	4/15~	0.17	-	-	0.25	-	-	-	-	-
17	4/22~	0.04	0.09	-	-	-	-	-	-	-
18	4/29~	0.04	-	-	0.25	-	-	-	-	-
19	5/6~	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-
20	5/13~	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-
21	5/20~	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-
22	5/27~	0.57	0.04	-	-	-	-	0.14	-	-
23	6/3~	0.35	-	-	-	-	-	-	-	-
24	6/10~	0.70	-	-	-	-	0.14	0.14	-	-
25	6/17~	0.61	-	-	-	-	-	-	-	-
26	6/24~	1.17	0.09	-	-	-	-	0.14	-	-
27	7/1~	1.13	-	-	-	-	-	0.14	-	-
28	7/8~	0.74	-	-	-	0.14	-	0.14	-	-
29	7/15~	0.83	-	-	-	-	-	0.14	-	-
30	7/22~	0.39	-	-	-	-	-	-	-	-
31	7/29~	0.39	-	-	-	-	-	0.14	-	-
32	8/5~	0.22	-	-	-	-	-	0.14	-	-
33	8/12~	0.52	-	-	-	0.14	-	0.29	-	-
34	8/19~	0.22	-	-	-	-	-	0.43	-	-
35	8/26~	0.30	-	0.25	-	-	-	0.14	-	-
36	9/2~	0.57	-	-	0.25	-	0.14	1.00	-	-
37	9/9~	0.26	-	-	-	0.14	-	0.43	-	-
38	9/16~	0.17	-	-	-	-	-	0.14	-	-
39	9/23~	0.17	0.04	-	-	-	-	0.14	-	-
40	9/30~	0.17	-	-	-	-	-	0.43	-	-
41	10/7~	0.30	-	-	-	-	0.14	0.43	-	-
42	10/14~	0.22	0.04	-	-	0.14	-	0.29	-	-
43	10/21~	0.17	-	-	-	-	-	0.14	-	-
44	10/28~	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-
45	11/4~	0.17	0.04	-	-	-	-	0.14	-	-
46	11/11~	0.22	-	-	-	-	-	0.14	-	-
47	11/18~	0.04	-	-	0.25	-	-	0.29	-	-
48	11/25~	0.13	-	-	-	0.29	0.29	0.57	-	-
49	12/2~	0.43	0.04	0.25	-	-	0.14	0.43	-	-
50	12/9~	-	-	-	-	-	-	0.29	-	-
51	12/16~	0.09	-	-	-	-	-	0.86	-	-
52	12/23~	-	-	0.50	0.25	-	0.14	0.29	-	-
合計		13.17	0.57	1.33	5.00	1.00	1.50	9.50	-	-

付表5：令和6年 定点把握対象疾患（週）の保健所別患者報告数

疾患名	保健所名	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	合計
インフルエンザ	徳島	4	7	-	1	3	3	4	7	2	17	10	2	1	4	8	4	2	5	7	34	33	55	120	318	701	1312	7053
	阿南	-	1	1	1	-	6	5	-	-	1	-	-	-	1	-	2	3	-	-	2	1	5	9	29	95	195	828
	美波	-	-	-	-	-	10	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	31	84	497	
	吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	1	-	-	-	-	-	8	12	20	39	171	1008
	美馬	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	4	15	49	88	130	743
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	3	1	1	8	22	39	77	156	951	
新型コロナ ウイルス感染症	徳島	194	304	336	408	348	272	181	246	183	170	126	91	57	54	36	9	17	14	13	16	20	30	43	90	161	182	7283
	阿南	46	84	68	78	54	62	29	47	50	28	31	27	22	15	11	12	5	3	2	-	-	5	9	11	19	24	1560
	美波	32	41	51	60	33	20	14	27	10	13	10	11	6	1	2	-	3	-	1	-	-	6	4	4	10	16	668
	吉野川	25	36	70	82	69	55	33	35	33	15	18	18	8	8	2	-	1	3	5	10	10	9	8	3	22	37	1162
	美馬	11	32	44	39	50	36	46	28	29	25	16	14	7	10	10	2	-	-	1	2	4	2	3	5	12	15	839
	三好	30	57	53	73	80	65	15	30	17	34	52	25	15	7	12	5	7	2	-	3	2	8	9	8	22	23	1317
RS ウイルス感染症	徳島	42	42	38	56	61	32	20	18	6	21	10	10	8	3	8	8	1	2	5	2	2	1	3	3	3	1	711
	阿南	-	7	3	10	7	2	5	1	3	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	63	
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	
	吉野川	7	12	15	19	19	34	10	4	2	1	5	1	1	3	2	2	-	-	1	2	3	1	-	3	4	210	
	美馬	1	9	-	4	17	6	6	1	-	3	6	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	67		
	三好	3	6	-	10	7	2	3	-	-	1	1	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85		
咽頭結膜熱	徳島	5	5	8	5	3	2	4	4	4	1	1	1	1	2	1	2	-	2	1	2	2	5	2	1	6	3	284
	阿南	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	1	2	46
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	
	吉野川	2	1	1	4	2	1	1	2	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	3	1	2	5	2	2	81	
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2		
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3		
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	徳島	14	19	10	9	20	24	10	16	17	12	13	9	8	3	11	4	5	7	6	6	8	14	17	11	7	10	1088
	阿南	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	2	-	1	1	1	2	1	1	1	1	23
	美波	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	29
	吉野川	2	5	2	1	4	-	-	2	-	2	1	3	4	3	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	113
	美馬	1	-	-	-	-	2	1	3	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	30	
	三好	4	9	2	2	9	4	3	3	3	3	2	-	2	-	-	1	-	-	1	-	1	3	2	1	2	223	
感染性胃腸炎	徳島	54	47	40	39	48	44	24	49	49	45	41	57	63	106	93	78	93	94	77	90	52	73	89	75	62	63	3221
	阿南	3	4	2	-	5	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	2	1	-	1	1	-	2	1	3	-	-	112
	美波	8	1	4	5	9	9	-	4	3	2	5	3	3	5	14	14	10	10	8	5	6	4	1	5	-	1	367
	吉野川	2	-	-	-	1	1	4	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	3	1	11	6	-	6	7	1	120
	美馬	6	6	5	5	6	14	10	5	11	7	10	11	9	7	6	11	11	10	9	12	11	9	12	10	13	10	528
	三好	4	4	7	3	8	5	3	11	10	6	9	5	4	2	3	4	4	3	4	8	7	9	10	6	10	8	352
水痘	徳島	-	4	1	-	3	1	1	-	-	2	-	1	1	-	1	1	2	4	-	-	3	1	3	-	-	90	
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6		
	吉野川	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10		
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8		
	三好	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	
手足口病	徳島	217	233	190	174	115	87	38	26	12	31	27	28	20	21	24	17	23	32	17	22	20	19	20	9	6	5	2261
	阿南	12	13	17	15	13	7	3	-	1	-	1	1	-	1	-	2	-	1	-	1	1	2	-	1	-	115	
	美波	27	29	7	14	10	18	6	7	3	7	8	5	-	-	4	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	185	
	吉野川	40	45	24	14	10	19	7	3	5	7	5	-	8	-	2	1	1	-	2	-	2	-	-	-	444		
	美馬	39	32	11	23	14	6	5	2	2	8	7	7	4	4	6	2	8	6	8	4	-	4	1	2	1	2	321
	三好	21	23	23	18	16	5	-	2	3	2	3	2	2	2	6	7	4	7	5	4	1	-	-	1	1	1	282
伝染性紅斑	徳島	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	2	38
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0		
	吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0		
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4		
突発性発しん	徳島	3	3	7	6	4	6	3	4	6	8	7	7	5	8	4	4	5	7	2	4	4	6	4	10	6	3	263
	阿南	1	1	1	1	-	-	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	16	
	美波	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	1	-	-	-	-	13		
	吉野川	1	-	-	1	1	-	-	1	-	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	27			
	美馬	-	-	2	-	-	-	2	1	1	-	-	-	1	2	-	-	1	-	1	-	2	-	-	1	-	23	
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5		
ヘルパンギーナ	徳島	21	12	16	7	4	3	6	2	4	7	4	3</td															

疾患名	保健所名	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
眼科 定点	急性出血性結膜炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	徳島	-	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		阿南	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		美波	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基 幹 定 点	細菌性結膜炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無細菌性結膜炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基 幹 定 点	マイコプラズマ肺炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		吉野川	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	
		美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基 幹 定 点	クラミジア肺炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基 幹 定 点	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾患名	保健所名	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	合計
急性出血性結膜炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	4
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
流行性角結膜炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
細菌性結膜炎	徳島	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
無細菌性結膜炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	6
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
マイコプラズマ肺炎	徳島	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	5	1	1	-	-	1	-	-	1	-	-	2	4	-	-	1	19
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	3	
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	吉野川	-	1	1	-	1	-	2	2	-	2	2	-	1	1	1	-	-	1	1	-	-	3	1	2	1	27	
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	3	1	6	
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
クラミジア肺炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	

付表6：令和6年 定点把握対象疾患（週）の保健所別定点あたり患者報告数

警報

注意報

疾患名	保健所名	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	合計		
インフルエンザ	徳島	0.20	0.35	—	0.05	0.15	0.15	0.20	0.35	0.10	0.85	0.50	0.10	0.05	0.20	0.40	0.20	0.10	0.25	0.35	1.70	1.65	2.75	6.00	15.90	35.05	65.60	352.65		
	阿南	—	0.25	0.25	0.25	—	1.50	1.25	—	—	0.25	—	—	0.25	—	0.50	0.75	—	—	0.50	0.25	1.25	2.25	7.25	23.75	48.75	207.00			
	美波	—	—	—	—	—	—	5.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.00	15.50	42.00	248.50		
	吉野川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.20	0.60	—	—	0.20	—	—	—	—	1.60	2.40	4.00	7.80	14.60	34.20	201.60		
	美馬	—	—	—	0.33	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.33	—	—	0.33	0.33	1.33	5.00	16.33	29.33	43.33	247.67		
	三好	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.33	0.33	—	—	1.00	0.33	0.33	2.67	7.33	13.00	25.67	52.00	317.00		
新型コロナ ウイルス感染症	徳島	9.70	15.20	16.80	20.40	17.40	13.60	9.05	12.30	9.15	8.50	6.30	4.55	2.85	2.70	1.80	0.45	0.85	0.70	0.65	0.80	1.00	1.50	2.15	4.50	8.05	9.10	364.15		
	阿南	11.50	21.00	17.00	19.50	13.50	15.50	7.25	11.75	12.50	7.00	7.75	6.75	5.50	3.75	2.75	3.00	1.25	0.75	0.50	—	—	1.25	2.25	2.75	4.75	6.00	390.00		
	美波	16.00	20.50	25.50	30.00	16.50	10.00	7.00	13.50	5.00	6.50	5.00	5.50	3.00	0.50	1.00	—	1.50	—	0.50	—	—	3.00	2.00	2.00	5.00	8.00	334.00		
	吉野川	5.00	7.20	14.00	16.40	13.80	11.00	6.60	7.00	6.60	3.00	3.60	3.60	1.60	1.60	0.40	—	0.20	0.60	1.00	2.00	2.00	1.80	1.60	0.60	4.40	7.40	232.40		
	美馬	3.67	10.67	14.67	13.00	16.67	12.00	15.33	9.33	9.67	8.33	5.33	4.67	2.33	3.33	3.33	0.67	—	—	0.33	0.67	1.33	0.67	1.00	1.67	4.00	5.00	279.67		
	三好	10.00	19.00	17.67	24.33	26.67	21.67	5.00	10.00	5.67	11.33	17.33	8.33	5.00	2.33	4.00	1.67	2.33	0.67	—	1.00	0.67	2.67	3.00	7.33	7.67	439.00			
RS ウイルス感染症	徳島	3.23	3.23	2.92	4.31	4.69	2.46	1.54	1.38	0.46	1.62	0.77	0.77	0.62	0.23	0.62	0.62	0.08	0.15	0.38	0.15	0.15	0.08	0.23	0.23	0.23	0.08	54.69		
	阿南	—	3.50	1.50	5.00	3.50	1.00	2.50	0.50	1.50	—	—	0.50	1.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31.50			
	美波	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00	—	—	—	—	5.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.00			
	吉野川	2.33	4.00	5.00	6.33	6.33	11.33	3.33	1.33	0.67	0.33	1.67	0.33	0.33	1.00	0.67	0.67	—	—	0.33	0.67	1.00	0.33	—	1.00	1.33	70.00			
	美馬	0.50	4.50	—	2.00	8.50	3.00	3.00	0.50	—	1.50	3.00	—	1.00	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33.50			
	三好	1.50	3.00	—	5.00	3.50	1.00	1.50	—	—	0.50	0.50	1.00	0.50	0.50	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42.50			
咽頭膜熱	徳島	0.38	0.38	0.62	0.38	0.23	0.15	0.31	0.31	0.31	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.15	0.08	0.15	0.15	0.15	0.15	0.38	0.15	0.15	0.08	0.46	0.23	21.85		
	阿南	—	0.50	—	—	0.50	—	—	—	—	—	0.50	—	—	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.50	1.00	23.00
	美波	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.00	
	吉野川	0.67	0.33	0.33	1.33	0.67	0.33	0.33	0.67	—	—	0.33	—	0.33	—	—	0.33	0.33	—	—	1.00	0.33	0.67	1.67	0.67	0.67	27.00			
	美馬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00		
	三好	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.50		
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	徳島	1.08	1.46	0.77	0.69	1.54	1.85	0.77	1.23	1.31	0.92	1.00	0.69	0.62	0.23	0.85	0.31	0.38	0.54	0.46	0.46	0.62	1.08	1.31	0.85	0.54	0.77	83.69		
	阿南	0.50	—	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.50	—	—	1.00	—	0.50	0.50	0.50	1.00	0.50	0.50	0.50	11.50	
	美波	—	—	—	—	—	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.00		
	吉野川	0.67	1.67	0.67	0.33	1.33	—	—	0.67	—	0.67	0.33	1.00	1.33	1.00	0.33	—	—	—	0.33	0.33	—	—	0.33	—	—	37.67			
	美馬	0.50	—	—	—	—	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.50	—	—	—	—	—	—	—	15.00		
	三好	2.00	4.50	1.00	1.00	4.50	2.00	1.50	1.50	1.50	1.50	1.00	—	1.00	—	—	—	—	0.50	—	—	0.50	1.50	1.00	0.50	1.00	111.50			
感染性胃腸炎	徳島	4.15	3.62	3.08	3.00	3.69	3.38	1.85	3.77	3.77	3.46	3.15	4.38	4.85	8.15	7.15	6.00	7.15	7.23	5.92	6.92	4.00	5.62	6.85	5.77	4.45	247.77			
	阿南	1.50	2.00	1.00	—	2.50	—	—	—	—	—	0.50	—	2.00	—	1.00	1.00	0.50	—	0.50	0.50	—	1.00	0.50	1.50	—	—	56.00		
	美波	8.00	1.00	4.00	5.00	9.00	9.00	—	4.00	3.00	2.00	5.00	3.00	3.00	5.00	14.00	14.00	10.00	10.00	8.00	5.00	6.00	4.00	1.00	5.00	—	—	367.00		
	吉野川	0.67	—	—	—	—	0.33	0.33	1.33	1.67	—	—	—	—	—	—	—	0.67	—	—	1.00	0.33	3.67	2.00	—	2.00	2.33	0.33	40.00	
	美馬	3.00	3.00	2.50	2.50	3.00	7.00	5.00	2.50	5.50	3.50	5.00	5.50	4.50	3.50	3.00	5.50	5.50	5.00	4.50	6.00	5.50	4.50	6.00	5.00	6.00	5.00	264.00		
	三好	2.00	2.00	3.50	1.50	4.00	2.50	1.50	5.50	5.00	3.00	4.50	2.50	2.00	1.00	1.50	2.00	2.00	4.00	3.50	4.50	5.00	3.00	5.00	4.00	4.00	176.00			
水痘	徳島	—	0.31	0.08	—	0.23	0.08	0.08	—	0.15	—	0.08	0.08	—	0.08	0.08	0.15	0.31	—	—	—	0.23	0.08	0.23	—	—	6.92			
	阿南	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00		
	美波	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.00		
	吉野川	0.67	—	—	—	—	0.33	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.33		
	美馬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.00		
	三好	—	—	—	—	—	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.50	
手足口病	徳島	16.69	17.92	14.62	13.38	8.85	6.69	2.92	2.00	0.92	2.38	2.08	2.15	1.54	1.62	1.85	1.31	1.77	2.46	1.31	1.69	1.54	1.46	1.54	1.54	0.69	0.46	0.38	173.92	
	阿南	6.00	6.50	8.50	7.50	6.50	3.50	1.50	—	0.50	—	0.50	0.50	—	—	0.50	—	1.00	—	0.50	—	0.50	0.50	1.00	—	0.50	—	57.50		
	美波	27.00	29.00	7.00	14.00	10.00	18.00	6.00	7.00	3.00	7.00	8.00	5.00	—	—	—	—	4.00	3.00	—	1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	185.00	
	吉野川	13.33	15.00	8.00	4.67	3.33	6.33	2.33	1.00</																					

疾患名	保健所名	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週		
急性出血性結膜炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	徳島	-	0.50	0.50	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	阿南	1.00	1.00	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-		
	美波	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性結膜炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無細菌性結膜炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	1.00	1.00	
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

警報

注意報

疾患名	保健所名	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	合計
急性出血性結膜炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	2.00	4.00
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	5.00
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00
細菌性結膜炎	徳島	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無細菌性結膜炎	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.00
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
マイコプラズマ肺炎	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
	徳島	0.50	-	-	-	0.50	-	-	0.50	2.50	0.50	0.50	-	0.50	-	-	0.50	-	-	-	1.00	2.00	-	-	0.50	-	19.00	
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
クラミジア肺炎	吉野川	-	1.00	1.00	-	1.00	-	2.00	2.00	-	2.00	2.00	-	1.00	1.00	1.00	-	-	-	1.00	1.00	-	-	3.00	1.00	2.00	1.00	27.00
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.00
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	阿南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	美波	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	吉野川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	美馬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三好	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

警報



注意報



付表7：令和6年 定点把握対象疾患（週）の年齢階級別報告数

定点	インフルエンザ／新型コロナウイルス感染症定点		小児科定点										眼科定点		基幹定点				
	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性皰膜炎	無菌性皰膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎（ロタウイルス）
疾患名																			
～5ヶ月	34	109	140	4	2	30	1	20	-	-	8	-	-	-	1	1	-	-	-
～11ヶ月	97	167	159	33	8	249	2	198	-	85	17	-	-	-	-	-	-	-	-
1歳	252	267	440	138	71	698	4	1031	2	214	96	-	-	-	-	-	2	-	-
2歳	310	173	229	69	97	549	3	809	5	32	57	-	-	-	-	-	4	-	-
3歳	323	199	110	46	137	482	4	559	4	13	50	2	-	-	-	-	-	-	-
4歳	395	164	36	37	173	354	5	384	9	2	24	-	-	-	-	-	-	-	-
5歳	505	187	22	35	213	350	4	263	6	-	22	3	-	-	-	-	1	-	-
6歳	621	186	-	19	201	287	15	135	6	-	11	4	-	1	-	-	3	-	-
7歳	686	174	3	10	116	217	10	66	5	1	6	2	-	-	-	-	4	-	-
8歳	764	176	2	14	130	200	15	41	1	-	4	1	-	-	-	-	5	-	-
9歳	731	187	-	3	110	190	23	25	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
10～14歳	2466	983	1	6	176	490	32	46	3	-	7	1	2	-	-	-	14	-	-
15～19歳	737	644	-	-	20	140	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-
20歳代*	460	926	1	10	52	464	5	26	-	-	-	-	1	2	-	2	8	-	-
30歳代	661	1146											-	5	-	2	6	-	-
40歳代	747	1434											1	5	1	3	2	-	-
50歳代	516	1381											-	2	1	-	-	-	-
60歳代	306	1287											-	-	1	-	-	-	-
70歳代*	268	1534											-	-	2	-	2	-	-
80歳代以上	201	1505											-	-	-	3	-	-	-
合計	11,080	12,829	1,143	424	1,506	4,700	127	3,608	43	347	303	13	4	15	6	9	57	-	-

(* 小児科定点については、20歳代を20歳以上に、眼科定点については、70歳代を70歳以上とよみかえる。)

付表8：令和6年 定点把握対象疾患（月）の月別患者報告数

【性感染症】

疾患名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
性器クラミジア感染症	合計	26	16	28	19	29	21	23	21	13	13	17	15	241
	男	23	12	25	15	27	13	20	18	10	11	14	13	201
	女	3	4	3	4	2	8	3	3	3	2	3	2	40
性器ヘルペスウイルス感染症	合計	12	8	15	14	14	15	10	11	12	16	15	10	152
	男	1	-	1	2	3	2	1	3	1	3	2	3	22
	女	11	8	14	12	11	13	9	8	11	13	13	7	130
尖圭コンジローマ	合計	7	4	3	2	3	2	9	8	4	7	4	1	54
	男	7	3	2	2	2	2	7	5	3	6	4	-	43
	女	-	1	1	-	1	-	2	3	1	1	-	1	11
淋菌感染症	合計	6	2	1	2	4	1	2	1	1	4	5	1	30
	男	5	1	1	1	2	1	2	-	-	4	3	1	21
	女	1	1	-	1	2	-	-	1	1	-	2	-	9

【薬剤耐性菌感染症】

疾患名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	合計	19	26	21	24	19	17	18	22	19	32	15	22	254
	男	10	18	14	14	12	7	13	13	12	17	10	15	155
	女	9	8	7	10	7	10	5	9	7	15	5	7	99
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
薬剤耐性緑膿菌感染症	合計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	

付表9：令和6年 定点把握対象疾患（月）の年齢階級・性別報告数

【性感染症】

年齢区分	性器クラミジア 感染症			性器ヘルペス ウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症		
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女
0歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1～4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19歳	6	4	2	3	1	2	3	1	2	-	-	-
20～24歳	57	42	15	17	2	15	8	5	3	10	6	4
25～29歳	44	34	10	16	1	15	9	8	1	6	4	2
30～34歳	37	31	6	19	7	12	8	6	2	6	4	2
35～39歳	29	26	3	10	3	7	6	6	-	2	2	-
40～44歳	18	18	-	12	1	11	5	4	1	2	1	1
45～49歳	20	18	2	10	3	7	3	3	-	2	2	-
50～54歳	12	11	1	25	1	24	9	7	2	1	1	-
55～59歳	9	8	1	14	1	13	-	-	-	-	-	-
60～64歳	6	6	-	2	-	2	1	1	-	-	-	-
65～69歳	3	3	-	5	-	5	-	-	-	1	1	-
70歳以上	-	-	-	19	2	17	2	2	-	-	-	-
合計	241	201	40	152	22	130	54	43	11	30	21	9

【薬剤耐性菌感染症】

年齢区分	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症			薬剤耐性緑膿菌 感染症		
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女
10歳未満	25	12	13	-	-	-	-	-	-
10歳代	2	2	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	7	5	2	-	-	-	-	-	-
30歳代	2	-	2	-	-	-	-	-	-
40歳代	10	8	2	-	-	-	-	-	-
50歳代	14	9	5	-	-	-	-	-	-
60歳代	21	16	5	-	-	-	-	-	-
70歳以上	173	103	70	-	-	-	1	-	1
合計	254	155	99	-	-	-	1	-	1

【警報・注意報発生システムについて】

国立感染症研究所感染症疫学センターから提供されているもので、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、データに何らかの流行現象が見られることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起するものです。

保健所ごとに、1週間の定点あたりの報告数が基準値以上の場合に発せられ、警報レベルは大きな流行が発生又は継続しつつあることを意味し、注意報レベルは流行の発生前であれば、今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があること、流行の発生後であれば流行が終息していない可能性が疑われる意味を意味しています。

「警報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値（開始基準値）以上で開始し、別の基準値（終息基準値）未満で終息します。「注意報レベル」は1週間の定点あたりの報告数がある基準値以上の場合は、これまでの感染症発生動向調査データから、次のとおり定められています。

対象疾患	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	
感染性胃腸炎	20	12	
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	
伝染性紅斑	2	1	
ヘルパンギーナ	6	2	
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	
流行性角結膜炎	8	4	

(参考資料)

徳島県感染症発生動向調査事業要綱

第1 目的

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号。以下「感染症法」という。)が成立し、平成11年4月から施行されたことに伴い、法に基づく施策として感染症発生動向調査事業が位置づけられた。

本事業は、医師等の医療関係者の協力のもと、感染症の発生情報の正確な把握と分析、その結果の県民や医療関係者への迅速な提供・公開により、感染症に対する有効かつ的確な予防・診断・治療に係る対策を図り、多様な感染症の発生及び蔓延を防止するとともに病原体情報を収集、分析することで、流行している病原体の検出状況及び特性を確認し、適切な感染症対策を立案することを目的として、本事業を実施する。

第2 対象感染症

本事業の対象とする感染症は、次のとおりとする。

1 全数把握の対象

ア 一類感染症

(1)エボラ出血熱、(2)クリミア・コンゴ出血熱、(3)痘そう、(4)南米出血熱、(5)ペスト、(6)マールブルグ病、(7)ラッサ熱

イ 二類感染症

(8)急性灰白髄炎、(9)結核、(10)ジフテリア、(11)重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)、(12)中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)、(13)鳥インフルエンザ(H5N1)、(14)鳥インフルエンザ(H7N9)

ウ 三類感染症

(15)コレラ、(16)細菌性赤痢、(17)腸管出血性大腸菌感染症、(18)腸チフス、(19)パラチフス

エ 四類感染症

(20)E型肝炎、(21)ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)、(22)A型肝炎、(23)エキノコックス症、(24)エムポックス、(25)黄熱、(26)オウム病、(27)オムスク出血熱、(28)回帰熱、(29)キャサヌル森林病、(30)Q熱、(31)狂犬病、(32)コクシジオイデス症、(33)ジカウイルス感染症、(34)重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)、(35)腎症候性出血熱、(36)西部ウマ脳炎、(37)ダニ媒介脳炎、(38)炭疽、(39)チクングニア熱、(40)つつが虫病、(41)デング熱、(42)東部ウマ脳炎、(43)鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)、(44)ニパウイルス感染症、(45)日本紅斑熱、(46)日本脳炎、(47)ハンタウイルス肺症候群、(48)Bウイルス病、(49)鼻疽、(50)ブルセラ症、(51)ベネズエラウマ脳炎、(52)ヘンドラウイルス感染症、(53)発しんチフス、(54)ボツリヌス症、(55)マラリア、(56)野兎病、(57)ライム病、(58)リッサウイルス感染症、(59)リフトバレー熱、(60)類鼻疽、(61)レジオネラ症、(62)レプトスピラ症、(63)ロッキー山紅斑熱

オ 五類感染症(全数)

(64)アメーバ赤痢、(65)ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)、(66)カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、(67)急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)、(68)急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)、(69)クリプトスボリジウム症、(70)クロイツフェルト・ヤコブ病、(71)劇症型溶血性レンサ球菌感染症、(72)後天性免疫不全症候群、(73)ジアルジア症、(74)侵襲性インフルエンザ菌感染症、(75)侵襲性髄膜炎菌感染症、(76)侵襲性肺炎球菌感染症、(77)水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。)、(78)先天性風しん症候群、(79)梅毒、(80)播種性クリプトコックス症、(81)破傷風、(82)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(83)バンコマイシン耐性腸球菌感染症、(84)百日咳、(85)風しん、(86)麻しん、(87)薬剤耐性ア

シネトバクター感染症
カ 新型インフルエンザ等感染症
(113)新型インフルエンザ、(114)再興型インフルエンザ、(115)新型コロナウイルス感染症、
(116)再興型コロナウイルス感染症
キ 指定感染症
該当なし

2 定点把握の対象

五類感染症（定点）

(88) R S ウイルス感染症、(89) 咽頭結膜熱、(90) インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）(91) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(92) 感染性胃腸炎、(93) 急性出血性結膜炎、(94) クラミジア肺炎（オウム病を除く。）、(95) 細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。）(96) 新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。）、(97) 水痘、(98) 性器クラミジア感染症、(99) 性器ヘルペスウイルス感染症、(100) 尖圭コンジローマ、(101) 手足口病、(102) 伝染性紅斑、(103) 突発性発しん、(104) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(105) ヘルパンギーナ、(106) マイコプラズマ肺炎、(107) 無菌性髄膜炎、(108) メチシリソ耐性黄色ブドウ球菌感染症、(109) 薬剤耐性緑膿菌感染症、(110) 流行性角結膜炎、(111) 流行性耳下腺炎、(112) 淋菌感染症

法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症（定点）

(117) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。

3 法第14条第8項の規定に基づく把握の対象

(118) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものであって、当該感染症にかかった場合の病状の程度が重篤であるものが発生し、又は発生するおそれがあると判断し、都道府県知事が指定届出機関以外の病院又は診療所の医師に法第14条第8項に基づき届出を求めたもの。

第3 実施主体

実施主体は、徳島県とする。

第4 実施体制

1 徳島県感染症情報センター

県域における患者情報及び病原体情報を収集・分析し、全国情報と併せて、これらを速やかに徳島県保健福祉部感染症対策課（以下、感染症対策課という。）及び医師会等の関係機関に提供・公開するため、徳島県感染症情報センター（以下、感染症情報センターという。）を徳島県立保健製薬環境センター（以下、保健製薬環境センターという。）内に置く。

2 指定届出機関及び指定提出機関（定点）

ア 県は、定点把握対象の五類感染症について、患者及び当該感染症により死亡した者（法第14条第1項の厚生労働省令で定める五類感染症に限る。）の情報及び疑似症情報を収集するため、法第14条第1項に規定する指定届出機関として、患者定点及び疑似症定点をあらかじめ

選定する。

イ 県は、定点把握対象の五類感染症について、患者の検体又は当該感染症の病原体（以下「検体等」という。）を収集するため、病原体定点をあらかじめ選定する。なお、法施行規則第7条の3に規定する五類感染症については、法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として、病原体定点を指定する。

3 分析班

感染症対策課、感染症情報センター、徳島県医師会感染症対策委員会、その他必要に応じた関係機関で、電話及びファクシミリ等により協議し、情報分析を行う。

4 徳島県感染症対策連携協議会

情報の収集、分析の効果的・効率的な運用を図るため、徳島県感染症対策連携協議会に対し、調査の在り方、今後の活用等について諮ることとする。

5 検査施設

徳島県における本事業に係る検体等の検査については、保健製薬環境センターにおいて実施する。保健製薬環境センターは、別に定める検査施設における病原体等検査の業務管理要領（以下「病原体検査要領」という。）に基づき検査を実施し、検査の信頼性確保に努めることとする。

また、県は県内における検査が適切に実施されるよう検査体制の整備を図る。

第5 事業の実施

1 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（第2の(75)、(85)及び(86)）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症

（1）調査単位及び実施方法

ア 診断又は検査した医師

一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（第2の(75)、(85)及び(86)）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症を届出基準等通知に基づき診断した場合及び当該感染症により死亡した者（当該感染症により死亡したと疑われる者を含む。）の死体を検査した場合は、別に定める基準に基づき直ちに最寄りの保健所に届出を行う。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により行って差し支えない。

また、保健所から依頼を受けた場合にあっては、協力可能な範囲において、当該患者の病原体検査のための検体又は病原体情報について、保健所の協力を得て行政検査依頼書を添付して保健製薬環境センターに送付する。

イ 保健所

（ア）上記アの届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、当該届出が感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医師からの届出である場合には、直ちに感染症サーベイランスシステムに届出内容を入力するものとする。

また、原則として保健所は、当該患者又は保護者の同意を得た上で、当該患者（マラリアを除く。）を診断した医師に対して、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の保健製薬環境センターへの提供について、行政検査依頼書を添付して依頼するものとする。

（イ）保健所は、感染症情報センターから提供された患者情報及び病原体情報について、市町村、市町村教育委員会、管内医師会、感染症指定医療機関、指定届出機関等の関係機関に対し、地域の実情に応じた分析を加え、情報提供する。なお、保健所において上記アの届出について、地域の特性に応じた適切な方法を用いて、届出があった事実（個人情報に關

する事項を除く。)を前記のうち適当な機関に迅速に連絡する。

ウ 保健製薬環境センター

- (ア) 保健製薬環境センターは、行政検査依頼書及び検体又は病原体情報が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健所、感染症対策課、感染症情報センター又は中央感染症情報センター等と情報共有する。
- (イ) 検査のうち、保健製薬環境センターにおいて実施することが困難なもの等については、必要に応じて国立感染症研究所等に検査を依頼(検体を送付)する。
- (ウ) 保健製薬環境センターは、患者が一類感染症と診断されている場合、県域を超えた集団発生があった場合等の緊急の場合にあっては、検体を国立感染症研究所に送付する。

エ 感染症対策課

感染症対策課は、管内の患者情報について、保健所等からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

なお、(1)アの届出があった場合には、適切な方法を用いて、届出があった事実(個人情報に関する事項を除く。)を関係機関に迅速に連絡する。

オ 感染症情報センター

- (ア) 感染症情報センターにあっては、保健製薬環境センターから報告された病原体情報について、直ちに中央感染症情報センターに報告する。
- (イ) 感染症情報センターは、県域内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、感染症対策課及び関係各課、保健所、市町村、県及び郡市医師会、感染症指定医療機関、指定届出機関、指定提出機関等関係機関に提供・公開する。

カ 情報の報告等

- (ア) 知事は、その管轄する区域外に居住する者について法第12条第1項の規定による届出を受けたときは、当該届出の内容を、その居住地を管轄する都道府県知事、保健所を設置する市又は特別区の長(以下「都道府県知事等」という。)に通報する。
- (イ) 知事は、他の都道府県知事等が管轄する区域内における感染症のまん延を防止するため必要な場合は、法第15条の規定による積極的疫学調査の結果を、当該他の都道府県知事等に通報する。
- (ウ) (ア)及び(イ)の報告等について、感染症サーベイランスシステムにより相互に情報を閲覧できる措置を講じた場合には、当該報告したものとみなす。

2 全数把握対象の五類感染症(第2の(75)、(85)及び(86)を除く。)

(1) 対象とする感染症の状態

各々の全数把握対象の五類感染症(第2の(75)、(85)及び(86)を除く。)について、届出基準を参考とし、当該疾病の患者と診断される場合とする。

(2) 調査単位及び実施方法

ア 診断又は検査した医師

上記(1)に該当する患者を診断した又は当該感染症により死亡した者(当該感染症により死亡したと疑われる者を含む。)の死体検査した医師は、別に定める基準に基づき診断後7日以内に最寄りの保健所に届出を行う。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により行って差し支えない。また、保健所から依頼を受けた場合にあっては、協力可能な範囲において、当該患者の病原体検査のための検体又は病原体情報について、保健所の協力を得て保健製薬環境センターに送付する。

イ 保健所

- (ア) 上記アの届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、当該届出が感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医師からの届出である場合には、直ちに感染

症サーベイランスシステムに届出内容を入力するものとする。また、保健所は、アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）、急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、先天性風しん症候群、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、百日咳、風しん、麻しん、薬剤耐性アシнетバクター感染症の患者を診断した医師に対して、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の保健製薬環境センターへの提供について、行政検査依頼書を添付して依頼するものとする。

（イ）保健所は、感染症情報センターから提供された患者情報及び病原体情報について、市町村、市町村教育委員会、管内医師会、感染症指定医療機関、指定届出機関等の関係機関に対し、地域の実情に応じた分析を加え、情報提供を行う。なお、管内の患者情報等に特異な傾向が見られる場合には、感染症対策課と協議の上、その情報について前記のうち適当な機関に提供する。

ウ 保健製薬環境センター

（ア）保健製薬環境センターは、行政検査依頼書及び検体又は病原体情報が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健所、感染症対策課、感染症情報センター又は中央感染症情報センター等と情報共有する。

（イ）検査のうち、保健製薬環境センターにおいて実施することが困難なもの等については、必要に応じて国立感染症研究所等に検査を依頼（検体を送付）する。

（ウ）保健製薬環境センターは、県域を超えた集団発生があった場合等の緊急の場合にあっては、検体を国立感染症研究所に送付する。

エ 感染症対策課

感染症対策課は、管内の患者情報について、保健所等からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

オ 感染症情報センター

（ア）感染症情報センターにあっては、保健製薬環境センターから報告された検査情報について、直ちに中央感染症情報センターに報告する。

（イ）感染症情報センターは、県域内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報）等として公表される全国情報と併せて、感染症対策課及び関係各課、保健所、市町村、県及び郡市医師会、感染症指定医療機関、指定届出機関、指定提出機関等関係機関に提供・公開する。

3 定点把握対象の五類感染症

（1）対象とする感染症の状態

各々の定点把握対象の五類感染症について、届出基準を参考とし、当該疾病の患者と診断される場合及び当該感染症により死亡した者（当該感染症により死亡したと疑われる者を含む。）の死体と検案される場合とする。

（2）定点の選定

ア 患者定点

定点の種別、担当すべき医療機関の条件、対象疾患、調査単位及び報告様式は別表1のとおりとし、定点把握対象の五類感染症の発生状況を地域的に把握するため、徳島県医師会の協力を得て、医療機関の中から患者定点を選定し、感染症法第14条第1項に基づき指定する。

なお、患者定点の数は、保健所管内人口等を勘案し、別表2のとおりとする。

イ 病原体定点

病原体の分離等の検査情報を収集するため、患者定点として選定された医療機関の中から病原体定点を選定し、依頼するものとする。

(3) 調査単位

ア 患者定点

小児科定点、内科定点、眼科定点及び基幹定点（第2の（104）、（108）及び（109）に関する患者情報を除く。）により選定された患者定点に関するものについては、1週間（月曜日から日曜日）を調査単位として、性感染症定点及び基幹定点（第2の（104）、（108）及び（109）に関する情報のみ）に選定された患者定点に関するものについては各月を調査単位とする。

イ 病原体定点

インフルエンザ病原体定点に関するものについては、第2の（90）に掲げるインフルエンザの流行期（患者定点当たりの患者発生数が都道府県単位で1を超えた時点から1を下回るまでの間）には1週間（月曜日から日曜日）を調査単位とし、非流行期には各月を調査単位とする。その他病原体定点に関するものについては、各月を調査単位とする。

(4) 実施方法

ア 患者定点

（ア）患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時における届出基準により、患者発生状況の把握を行うものとする。

（イ）（2）のアにより選定された定点把握の対象の指定届出機関においては、届出基準に従い、それぞれ調査単位の患者発生状況等の届出を行う。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により行って差し支えない。

（ウ）（イ）の届出に当たっては、法施行規則第7条に従い行うものとする。

イ 病原体定点

（ア）病原体定点として選定された医療機関は、別に定める病原体検査指針により、微生物学的検査のために検体を採取し、感染症検査票（病原体）を添えて、搬送を担当する専門業者または管轄の保健所を介して保健製薬環境センターに送付する。

（イ）小児科病原体定点においては、第2の（88）、（89）、（91）、（92）、（97）、（101）から（103）まで、（105）及び（111）の対象感染症のうち、調査単位ごとに、概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体を送付するものとする。

（ウ）インフルエンザ病原体定点においては、第2の（90）に掲げるインフルエンザ（インフルエンザ様疾患を含む。）について、調査単位ごとに、少なくとも1検体を送付するものとする。

ウ 保健所

（ア）届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医療機関からの届出である場合には、患者定点から得られた患者情報が、週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の3日までに、感染症サーベイランスシステムに入力するものとし、併せて、対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報については、感染症対策課へ報告する。

（イ）保健所は、感染症情報センターから提供された患者情報及び病原体情報について、週報（月単位の場合は月報）として、市町村、市町村教育委員会、管内医師会、感染症指定医療機関、患者定点等の関係機関に配布する。なお、管内の患者情報等に特異な傾向が見られる場合には、感染症対策課と協議の上、その情報について前記のうち適当な機関に提供する。

エ 保健製薬環境センター

(ア) 保健製薬環境センターは、病原体定点から検体が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を病原体情報として病原体定点に通知するとともに、感染症情報センターに報告するものとする。

(イ) 検査のうち、必要な場合には、国立感染症研究所等に検査を依頼（検体を送付）する。

(ウ) 保健製薬環境センターは、県域を超えた集団発生があった場合等の緊急の場合にあっては、厚生労働省健康局結核感染症課からの依頼に基づき、検体を国立感染症研究所等に送付する。

オ 感染症対策課

感染症対策課は、管内の患者情報について、保健所等からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

カ 感染症情報センター

(ア) 感染症情報センターは、保健製薬環境センターから報告された病原体情報について、直ちに中央感染症情報センターに報告する。

(イ) 感染症情報センターは、県域内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報）等として公表される全国情報と併せて、感染症対策課及び関係各課、保健所、市町村、県及び都市医師会、感染症指定医療機関、指定届出機関、指定提出機関等関係機関に提供・公開する。

4 法第14条第1項に規定する疑似症（定点）

(1) 対象とする疑似症

各々の疑似症について、別に定める届出基準を参考とし、当該疑似症の患者と診断される場合とする。

(2) 定点の選定

ア 疑似症定点

疑似症の発生状況を地域的に把握するため、徳島県医師会等の協力を得て定点を選定する。定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案しつつ、できるだけ県全体の疑似症の発生状況を把握できるよう考慮すること。

イ 対象となる医療機関

疑似症定点の届出医療機関は、以下の医療機関のうちから、ア) からウ) の順に優先順位をつけ、別に定める基準を踏まえて選定すること。

ア) 診療報酬に基づく特定集中治療室管理料（1～4）、小児特定集中治療室 管理料又はハイケアユニット入院医療管理料（1～2）の届出をしている医療機関

イ) 法に基づく感染症指定医療機関

- ・法に基づく第一種感染症指定医療機関
- ・法に基づく第二種感染症指定医療機関

ウ) マスギャザリング（一定期間に限られた地域において同一目的で集合した多人数の集団）

において、疑似症定点として選定することが疑似症発生状況の把握に有用な医療機関

（例：大規模なスポーツ競技大会等において、観客 や大会運営関係者等が受診する可能性のある医療機関）

なお、感染症対策課は、疑似症定点と疑似症定点以外の医療機関との連携体制をあらかじめ構築するよう取組むこととし、疑似症定点以外の医療機関においても別に定める届出基準に該当すると判断される患者については、疑似症定点や管内の保健所等に相談できるよう予め疑似症定点に指定されている医療機関名や相談先を示すなどの配慮を行い、疑似症の迅速かつ適切な把握に努めること。

(3) 実施方法

ア 疑似症定点

(ア) 疑似症定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、診療時における別に定める届出基準により、直ちに疑似症発生状況の把握を行うものとす

る。

(イ) (2) により選定された定点把握の対象の指定届出機関においては、別に定める基準に従い、直ちに疑似症発生状況等を記載する。なお、当該疑似症の届出については、原則として感染症サーベイランスシステムへの入力により実施することとする。

(ウ) (イ) の届出に当たっては、法施行規則第7条に従い行うものとする。

イ 保健所

(ア) 保健所は、疑似症定点において感染症サーベイランスシステムへの入力を実施することができない場合は、当該疑似症定点から得られた疑似症情報を、直ちに、感染症サーベイランスシステムに入力するものとし、また、対象疑似症についての集団発生その他特記すべき情報については、感染症対策課へ報告する。

(イ) 保健所は、疑似症の発生状況等を把握し、必要に応じて市町村、市町村教育委員会、管内医師会、感染症指定医療機関、患者定点等の関係機関に発生状況等を提供し連携を図る。

ウ 感染症対策課

感染症対策課は、管内の疑似症情報について、保健所等からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

エ 感染症情報センター

(ア) 感染症情報センターは、県域内の全ての疑似症情報を収集、分析する。

(イ) 感染症情報センターは、中央感染症情報センターから週報等として公表される全国情報と

(ア) の結果を併せて、感染症対策課及び関係各課、保健所、市町村、県及び都市医師会、感染症指定医療機関、指定届出機関、指定提出機関等関係機関に提供・公開する。

5 積極的疫学調査

(1) 積極的疫学調査とは、法第15条に規定する感染症の発生の状況、動向及び原因の調査をいう。

(2) 積極的疫学調査が行われる場合としては、①一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症又は指定感染症が発生した場合、②五類感染症等に係る感染症発生動向調査において通常と異なる傾向が認められた場合等が考えられるが、個別の事例に応じ、感染症対策課と協議の上、保健所において適切に判断する。また、保健所が積極的疫学調査を行う場合にあっては、関係者の理解と協力を得つつ、関係機関と密接な連携を図ることにより、地域における流行状況や原因不明の感染症等の迅速な把握を進めていく。

第6 その他

本実施要綱に定める事項以外の内容については、必要に応じて別途定めることとする。

附 則

この実施要綱は、平成15年3月20日から施行する。

附 則

この実施要綱の改正は、平成15年9月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成15年11月5日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成19年12月21日から施行し、同年4月1日から適用する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成20年1月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成20年5月12日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成20年7月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成23年2月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成23年5月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成23年9月5日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成25年2月22日から施行し、同年3月4日から適用する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成25年3月7日から施行し、同年4月1日から適用する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成25年5月6日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成25年10月14日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成26年7月26日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成26年9月19日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成27年1月21日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成27年5月21日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成28年4月1日から施行する。ただし、第2の1の対象感染症の追加に係る改正については、平成28年2月15日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成30年1月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成30年3月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成30年5月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和元年5月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和2年2月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和2年5月29日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和3年2月13日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和4年10月31日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和5年5月8日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和5年5月26日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和5年9月25日から施行する。